

## はじめに

近年、盛んに“地方の時代”、“地方自治の確立”が唱えられています。地域の豊かで多様な自然が、歴史や生活の多様性を生み出し、それぞれの地域に固有の特性をもたらしてきたことに対して、十分に目を向けなければなりません。

地域の振興に向けての鍵となるのは、各地域に所在する歴史・考古・民俗などの幅広い資料とその地域の歴史を育んできた自然環境に求められると考えます。その地域の歴史・文化を掘り起こし、活用する中心的役割を担うのが博物館です。

博物館の最大の特色は、学術資料・情報の収集・整理・保存、調査・研究そして提供という一連の機能を有することにあります。そして、これらの要素が有機的に関連し合い、なおかつ社会と深く関わりを持つことで、独創的研究とその成果の公開を推進することができるのです。

平成19年度はこうした博物館の持つ理念を実現させるために、当館独自の評価制度を定め、目指すべき方向性が指し示された年でした。今後、当館は本制度に掲げた博物館のもつ総合的機能を十分に発揮できるよう努めてまいりたいと思います。

あらためて昨年度の活動を振り返りますと、展示面ではNHK大河ドラマに関連した特別展「信玄・謙信、そして伝説の軍師」展を開催しました。山梨ゆかりの人物が主人公となったドラマだけに、県内外の大勢の皆様にご覧を楽しんでいただきました。

調査・研究面では、「古代の交易と道」等をはじめ県内外の研究者と共同研究を実施し、大きな成果を得ることができました。

『平成19年度山梨県立博物館年報』は、こうした当館における諸々の活動と成果をまとめたものです。

山梨県立博物館は、地域の博物館としての責務を果たすよう、館員一同、前進していきたいと思っております。ご支援ご協力をお願い致します。

山梨県立博物館

館長 平川 南

# 目次

## はじめに

### 第 編 山梨県立博物館の目指すところ

第 1 章 県立博物館の評価制度	1
(1) みんなでつくる博物館協議会の検討状況	1
(2) 県立博物館の使命	1
(3) 県立博物館の評価制度について	2
第 2 章 通信簿ツアーの実施	7
(1) 通信簿ツアーの内容	7
(2) 通信簿ツアーの結果	9
第 編 事業・諸活動	
第 1 章 運営・ミュージアムサービス	15
(1) 運営・ミュージアムサービスの方針	15
(2) 平成19年度利用者状況一覧	15
第 2 章 調査・研究	19
(1) 総合調査・研究「富士山と人々の歴史」	19
(2) 共同調査・研究	19
(3) 個別調査・研究	22
(4) 調査・研究成果の公表	23
第 3 章 資料の収集・保管・活用	26
(1) 資料収集の方針	26
(2) 資料の収集	26
(3) 資料の整理・目録(データ)化	27
(4) 資料の修復・管理	27
(5) 資料の活用	28
第 4 章 展示	29
(1) 常設展示	29
(2) 企画展・シンボル展	33
(3) 刊行物	50

第 5 章 企画交流事業	51
(1) 生涯学習サービス事業	51
(2) 博学連携事業	52
(3) 博物館同士のネットワーク	55
(4) 広報	56
第 6 章 施設の整備・管理	57
(1) 安全快適な施設づくり	57
(2) 施設開放	57
第 7 章 情報の発信と公開	58
(1) 資料閲覧室の利用状況	58
(2) 博物館総合情報システム	59
(3) 博物館ホームページ	60
第 8 章 県民参画	61
(1) NPOとの連携	61
(2) 博物館協会の(ボランティア)との連携	62
第 9 章 組織・人員	63
(1) 職員の資質向上	63
(2) 第三者委員会	63
第10章 外部支援と連携	65
(1) 外部支援	65
(2) 外部との連携	65

### 第 編 各種資料

1 組織・職員等名簿	66
2 平成19年度改正分の関連法規	67
3 平成19年度予算額	69
4 年間日誌	69

#### 凡例

- ・各事業の経緯・方針・関連法規等については平成17年度年報を参照。
- ・各種委員等の名簿における勤務先・役職等については、断りなき限り、全て平成19年度におけるものである。
- ・断りなき限り、各種名簿の順序は順不同である。
- ・敬称は略している。
- ・「県立博物館」と表記されているものは、全て当山梨県立博物館館のことを指す。

## 第 編 山梨県立博物館の目指すところ

### 第 1 章 県立博物館の評価制度

#### (1) みんなでつくる博物館協議会の検討状況

県立博物館の評価制度については、平成18年度に引き続き、みんなでつくる博物館協議会（以下「みんなつく」）において検討を行い、評価制度案を決定した。

みんなでつくる博物館協議会委員名簿（平成19年8月31日まで）

氏 名	勤務先・役職等	
数 野 妙 子	甲府市立伊勢小学校教諭	
竹 川 和 彦	山梨連合教育会会長	
栗 田 真 司	山梨大学教育人間科学部助教授	
小 澤 龍 一	元7やまなし文化学習協会生涯学習推進センター所長	
北 村 誠	山梨県文化協会連合会会長	
齋 藤 康 彦	山梨郷土研究会理事	
谷 口 一 夫	甲斐黄金村・湯之奥金山博物館館長	
新 海 一 男	山梨県中小企業団体中央会常務理事	
牛 澤 正 博	山梨県農業協同組合中央会専務理事	
八 田 知 子	石和温泉観光協会副理事	
中 村 徳 行	富士五湖観光連盟副会長	
古 屋 栄 和	社会福祉法人山梨県社会福祉協議会会長	
山 本 育 夫	特定非営利活動法人つなく理事長	
古 屋 弘 和	長期計画審議会	
柴 田 彩 子	長期計画審議会	

勤務先・役職等は平成17年9月の委員委嘱当時におけるものである。

みんなでつくる博物館協議会会議一覧

開催日時	名 称	開催場所
平成19年6月28日（水）	平成19年度 第1回みんなでつくる博物館協議会全体会	県立博物館

第2回以降のみんなつく協議会は第 編第9章参照。

#### (2) 県立博物館の使命

平成19年度第1回みんなつく協議会により、次のとおり決定した。

#### 県立博物館の使命

##### 使命1

山梨県立博物館は「山梨の自然と人との関わりの歴史を学ぶこと」を目指します。

山梨県の歴史の特色は豊かで多様な自然に育まれた人々の個性あふれる暮らしの歴史である、とまとめられます。だからこそ「山梨の自然と人との関わりの歴史を学ぶこと」は、現在よりもより未来へ開く扉の鍵を探ることにつながるのです。

山梨県立博物館ではその一例として、本県の特色ある生業や富士山への向き合い方、武田氏の動向等々について総合的に資料の収集・調査・研究を行います。そして、その最新の成果を「山梨県の精神の拠り所」として絶えず利用者の皆様に問いかけ、共に考え続けます。

##### 使命2

山梨県立博物館は「交流」のセンターを目指します。

山梨県は、周囲の高い山々によって閉じられた地域という印象を持たれています。ですが、四方を高い山々に囲まれた地域だからこそ、山梨の先人達は昔から活発な「交流」を求めてきました。

こうした歴史にふさわしく、山梨県立博物館では、県内各地の様々な文化施設・史跡・自然はもとより、

県内外の多くの皆様と活発に交流を行います。「交流」のセンターとして、当館を起点に県内各地へと多くの人々の誘導を図り、本県の活性化に絶えず努めます。

### (3) 県立博物館の評価制度について

平成19年度「みんつく」での議論の結果、県立博物館評価制度の具体像案として次のとおりまとめられた。このみんつくでの検討結果については、平成19年9月19日（水）に開催された第8回山梨県立博物館運営委員会（以下「運営委員会」第 編第9章参照）に付議をして了承を得、平成19年10月10日（水）に館長決裁を行い、正式に県立博物館の評価制度として決定したものである。

#### 県立博物館の評価制度の基本方針

県立博物館の使命を実現させるためには、評価制度の基本方針として次の3点を満たすものとする。

- ・ 県立博物館の活動総体を県内外に周知し、館の運営をより良い方向へと推し進めるための評価であることを第一の目標とする。
- ・ 評価にあたっては県民参画型の方法を導入し、また、外部有識者など第三者を交えた客観性を保った評価方法とする。
- ・ 館の運営の実情に合わせ、柔軟に変化・対応させていくといういわば「成長する評価」とする。

#### 評価方法

評価方法の具体像については、A「数値評価」、B「自己診断」、C「通信簿ツアー」という複数の評価方法を導入し、それぞれの方法の長所と短所を補いあうものとする。開館5周年年度（平成22年度）までの運営実績に基づき、平成23年度にA～Cそれぞれの観点を踏まえて総合評価を実施する。

##### ・ A「数値評価」...

県立博物館の事業について、その実績を数値化し得る評価項目については数値目標をたて、その達成を目指す。年度ごとにその成果を年報に記載し、公開する。目標値の設定については次項「目標値の算出」(3頁)参照。

##### ・ B「自己診断」...

県立博物館の事業について、数値化し得ない評価項目については、年度ごとにその成果を年報に記載し、公開する。

##### ・ C「通信簿ツアー」...

利用者が主体的に評価項目の作成、評価の実施、評価に基づく改善まで取り組むという方法。毎年、評価項目の設定を利用者とともに検討し、その都度、内容を更新する。詳細は第 編第2章参照。

A～Cそれぞれの評価方法に対応する評価項目については「評価項目」(6頁)を参照

##### ・ 総合評価...

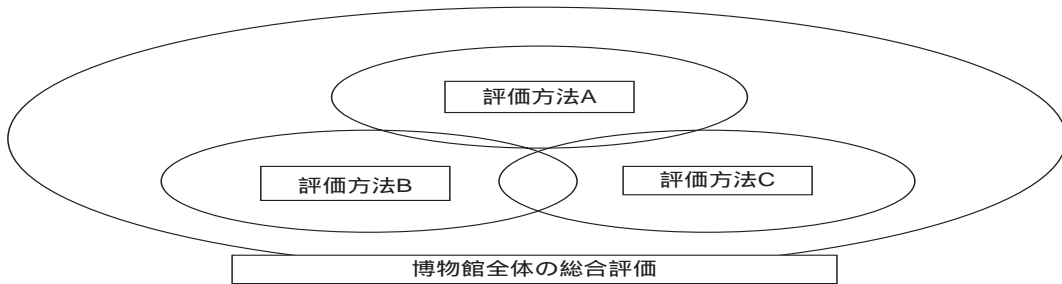
開館5周年目における上記A～C各年度の成果を集約し、運営委員会において運営全体における達成点と課題点についてとりまとめたものを総合評価報告書とし公開するものとする。

総合評価を運営委員会が実施するのは次の理由による。第一に、運営委員会の構成員は第三者の外部有識者から構成され、客観的に県立博物館を評価し得る立場にあること。第二に、運営委員会構成員には県民の代表たる「みんつく」の委員長、また、学術的立場から資料情報関係について審議する県立博物館資料・情報委員会委員長（第 編第3章参照）が加わっている。県民の立場から、また、学術的立場から県立博物館の運営について総合的に評価を行い得る立場にあるということからである。

また、総合評価の対象として開館5周年年度に設定したのは次の理由による。第一に、県立博物館の主要活動分野である調査・研究の進展と、その成果が展示として実現されるには一定程度の時間を必要とすること。第二に、全国の博物館の実績からしても、開館当初は開館ラッシュによって利用者数が異常値を示し、館運営の実情を把握するには利用者数が落ち着くおよそ開館5周年段階におけるものが適当と判断されたことからである。

評価の体系図

評価方法	評価主体	評価対象	目標到達度を測る基準	評価の客観性	改善の方向
A 数値評価	博物館	数値化可能な項目	目標数値に対する実際の達成度	数値そのものが客観的指標	目標数値
B 自己診断		数値化にならない項目	目標達成に向けて何を行ったか一覧化	博物館による自己点検。運営委員会からの意見がある場合にはそれを記載	運営委員会の意見を踏まえた改善策の実施
C 通信簿ツアー	利用者	目	利用者から見た評価点と改善点の一覧化	利用者の立場からの客観評価	利用者自身によって改善
博物館の総合評価	運営委員会	A～Cの結果に基づき、総合的に評価		県民の立場から、また学術的立場から運営委員会において客観的に評価	運営委員会の意見を踏まえた改善策の実施



評価項目によっては、目標達成のために、複数の評価方法によって検討した方がより効果的な項目もある。

目標値の算出

i 山梨県と他県博物館との比較

目標値を算出するにあたり、まず山梨県立博物館とほぼ同性格、同規模館のある県を比較することとした。具体的には香川県（香川県歴史博物館）・宮城県（東北歴史博物館）・愛媛県（愛媛県歴史文化博物館）・新潟県（新潟県立歴史博物館）が挙げられる。これらの県と山梨県とを県人口・県面積・人口密度で比較すると、本県は他県のおよそ6割（58.1%）程度でしかない。また、博物館の規模にしても、山梨県立博物館は他県の館のおよそ6割（55.8%）である。総じて、山梨県は他県のおよそ6割程度である。

ii 他県博物館の展示観覧者数から算出した目標値について

他県博物館との比較において、同一の基準で算出し得るのは展示観覧者数のみである。

山梨県の規模からすれば、単純に他県の平均値を目標とすることは不適當である。目標値の設定にあたり、本県は他県の6割程度であることを考慮に入れた数値とすべきである。

	他県博物館の実績... (A)	(A) × 他県の6割... (B)	山梨県立博物館における実績... (C)
開館年	86,636人	51,981人	98,578人
開館1周年	167,709人	100,625人	124,182人

上記他県の実績 (A) に、他県の6割という本県の規模を乗算した場合 (B)、山梨県立博物館の実績 (C) は優に当該数値 (B) を凌駕している。

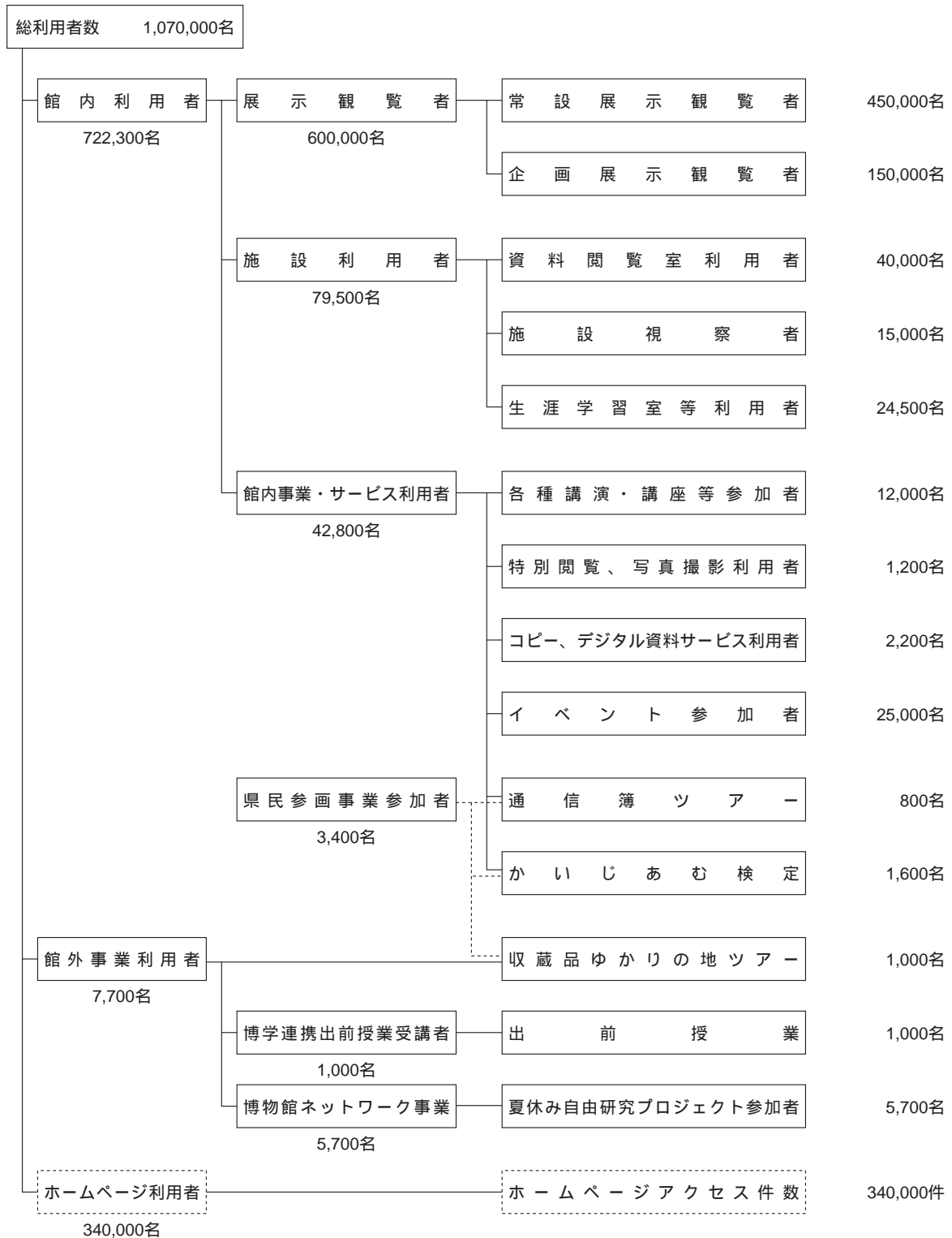
したがって、他県の6割 (B) を目標とすると、現時点ではハードルが低いと思われる。そこで、館運営にあたっての「意気込み」を一層高めるため、目標値を高水準に設定し、他県平均値の9割を目標とする。

iii 県立博物館の目標値の算出

県立博物館の総合評価の対象となるのは開館5周年度までの実績である。他県における開館5周年度目における展示観覧者数の平均は682,052人。そこで、他県平均値の9割を目標とすると、山梨県立博物館の開館5周年度目（平成22年度）には613,847人が目指すべき目標値となる。

## 県立博物館開館5周年目における各活動分野の目標値

博物館の利用者とは、博物館の施設、提供するサービスを利用した者および博物館の事業・活動に参加したすべての対象者をさす。なお、一部の利用については、重複して統計に表れる性質がある。



この目標値を達成させるためには、年間の展示観覧者数およそ100,000人（102,307人）という計算となる。本数値を基準とし、さらに各活動分野における平成17・18年度の実績を勘案して当館における各活動分野の目標値を示したのが「県立博物館開館5周年目における各活動分野の目標値」（4頁）である。

#### 評価項目

県立博物館の全ての事業活動は「県立博物館の使命」の実現に向けて実施される。それぞれの事業活動は使命の実現に向けて活動目標（目指すところ）が定められ、その達成度を測るために評価項目・評価方法が設定されている。それぞれの対応関係を示したものが次表（6頁）である。

表の縦軸方向は県立博物館が行う事業活動の一覧であり、（1）運営（ミュージアムマネジメント）及びミュージアムサービス、（2）調査・研究、（3）資料の収集・保管・活用、（4）展示、（5）企画交流事業、（6）施設の整備・管理、（7）情報の発信と公開、（8）県民参画、（9）組織・人員、（10）外部支援という10の分野から成る（それぞれの事業活動間については第 編第1章16頁参照）。

表の横軸方向では、それぞれの事業活動ごとに上・下段、左・右列に分かれている。

上段は各事業における県立博物館の使命実現に向けての活動目標（目指すところ）、下段はその活動目標の達成度を図るための評価項目（指標）が設定されている。

左・右列はそれぞれ県立博物館の使命1と使命2に対応した活動目標と評価項目が設定されている。なお、左・右列にまたがる事業活動分野は使命1・2の双方に関わる活動目標・評価項目であることを示している（（1）運営（ミュージアムマネジメント）及びミュージアムサービス・（10）外部支援）。

以上の関係を総合的に捉えることで、「県立博物館の使命」達成度を測る指標とする。

#### 評価結果の公開

A～Cについての年度ごとの実績については県立博物館でとりまとめ、各年度の年報において記載する。総合評価については、数値評価の目標として設定した開館5周年度（平成22年度）までの実績に基づき、平成23年度に運営委員会にて総合的に評価を行い、評価報告書としてとりまとめるものとする。

以上のとおり、事業活動全般にわたって恒常的に自己点検を行い、外部からの評価を取り入れることで、県立博物館の活動総体をより良い方向へと推し進めていく。

第 編 山梨県立博物館の目指すところ

	使命 1	使命 2
博物館の活動分野	使命 1 に対応した活動目標	使命 2 に対応した活動目標
	活動目標に対応した評価項目	活動目標に対応した評価項目

山梨県立博物館の使命	使命 1：山梨県立博物館は「山梨の自然と人との関わりの歴史を学ぶこと」を目指します。	使命 2：山梨県立博物館は「交流」のセンターを目指します。
(1) 運営（ミュージアムマネジメント）及びミュージアムサービスについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>山梨県立博物館が整備されて良かったと思われ、思われる博物館づくりを目指して、当館が提供するあらゆるサービスの利用者数の増加に努めます。具体的には開館 5 周年目で107万人の総利用者数を目標とします。</li> <li>山梨県立博物館どのような使命を持って整備されたのかを分かりやすく明示し、職員・利用者ともに共通の理解を得られるように努めます。</li> <li>博物館の使命がどの程度達成できたかを館内外に明らかにするために、利用者の視点に立った活動目標を設定し、その実現に向けて最善の努力をします。</li> <li>博物館が提供するあらゆるサービスについて多くの利用者に御満足いただけるよう、絶えず改善し続ける博物館づくりに館に携わる全ての人々が一丸となって努めます。そのために、常に博物館全体の活動について自己点検を行い、また利用者の側からの評価の声を受け入れ、その結果を公開します。</li> <li>かいじあむ検定を実施し、県立博物館及び山梨県への興味・関心が深められるように努めます。</li> </ul>	
(2) 調査・研究について	<ul style="list-style-type: none"> <li>総利用者数（評価方法 A）</li> <li>館員及び利用者を対象として、博物館使命がどの程度認知されているのかの調査（評価方法 C）</li> <li>利用者の視点に立った目標を設定しているか？（評価方法 B）</li> <li>目標の達成状況については、自己及び他者評価を行い、その結果を公開しているか？（評価方法 B・C）</li> <li>かいじあむ検定参加者数及び合格者数（評価方法 A）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査・研究の最新成果を展示や諸講座等の機会をととして積極的に公開し、利用者の知的好奇心を満足できるように努めます。</li> </ul>
(3) 資料の収集、保存及び活用について	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料保存機関としての博物館という魅力を高めるために、「山梨の自然と人との関わりの歴史」を明らかにする上で必要な資料の収集・保存・活用に努めます。</li> <li>資料の収集点数（評価方法 A）</li> <li>年間の展示資料点数（どれだけ展示替えを行っているのか？）（評価方法 A）</li> <li>個々の資料について適切に資料保存・修復措置を行っているか？（評価方法 B）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>収集及び保管・調査資料の利用体制の充実化をはかります。これら資料の目録化（データベース化）を進め、館内外の人々にとって共に積極的な活用が可能となるように努めます。</li> </ul>
(4) 展示について	<ul style="list-style-type: none"> <li>展示をとおして魅力あふれる「山梨の自然と人との関わりの歴史」像を積極的に多くの人々に向けて発信し続けます。具体的目標としては、開館 5 周年目で60万人の利用者数を目標とします。</li> <li>常設展示の利用者数（評価方法 A）</li> <li>常設展示の印象に関わるアンケート調査（評価方法 C または B）</li> <li>企画展示利用者数（評価方法 A）</li> <li>企画内容や展示手法の満足度に関するアンケート調査（評価方法 C または B）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育の現場との連携を深め、子ども達が楽しみながら山梨の歴史や文化を学ぶことのできる展示を作り続けます。具体的には開館 5 周年目で46000人の学校利用者数を目標とします。</li> </ul>
(5) 企画交流活動について	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内外に対し、「山梨の自然と人との関わりの歴史」像の浸透に資する効果的な企画交流活動の立案・実行に努めます。</li> <li>年間における企画交流活動数及びその参加者数（評価方法 A）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育の現場と密接に交流し、博学連携の強化に努めます。</li> <li>県内各地の文化施設・史跡・自然と密接に連携し、多くの利用者を県内各地へと誘導する企画交流活動の立案・実行に努めます。具体的には開館 5 周年目で7700人の人々を県内各地に誘導することを目指します。</li> </ul>
(6) 施設の整備・管理について	<ul style="list-style-type: none"> <li>山梨の歴史や文化について、人々が快適に学ぶ環境を整えるために、人にとっても安全かつ快適な施設・整備の管理に努めます。</li> <li>魅力あふれる「山梨の自然と人との関わりの歴史」を知ることが出来る貴重な資料を永く後世に伝えていくために、資料にとって安全かつ快適な施設・設備の管理に努めます。</li> <li>地震・火災等の緊急事態に対して、職員の研修をはじめとした対応を行っているのか？（評価方法 B）</li> <li>緊急の傷病者への対応に関して、職員の研修をはじめとした対応を行っているのか？（評価方法 B）</li> <li>バリアフリー対策を行っているか？（評価方法 B）</li> <li>資料保存について措置を講じているか？（評価方法 B）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者への施設開放（例えば生涯学習室の貸し出しなど）を積極的に行うことで、県民に親しまれる博物館づくりを推進し、開館 5 周年目で9700人の利用者数を目標とします。</li> </ul>
(7) 情報の発信と公開について	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者が「山梨の自然と人との関わりの歴史を学ぶ」ことについて支援することに努め、レファランスをとおして開館 5 周年目で7000人が知的好奇心を満足できるように努めます。</li> <li>レファランス対応件数（評価方法 A）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>山梨県立博物館の活動全般について、県内外の人々に対して積極的に P R 活動をするように努め、例えば H P をとおした場合は34万件的アクセス数を目標とします。</li> </ul>
(8) 市民参画について	<ul style="list-style-type: none"> <li>N P O やボランティアなどとの協力を得た事業活動の実施し、共同事業では開館 5 周年目で3400人と交流できるように努めます。</li> <li>N P O や協会（ボランティア）との協働事業開催件数及び参加者数（評価方法 A）</li> <li>協会（ボランティア）の登録者数（評価方法 A）</li> <li>協会（ボランティア）ではどのような活動を実施したのか一覧表がなされているか？（評価方法 B）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の視点から博物館の評価を行い、その成果を博物館の運営改善に向けて反映するよう努めます。</li> </ul>
(9) 組織・人員について	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員各自の資質向上ができる環境整備に努めます。</li> <li>職員各自の資質向上に関わる研修を実施したか？（評価方法 B）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第三者機関の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映するよう努めます。</li> </ul>
(10) 外部支援について	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続的に質の高い博物館活動に資するよう、外部支援体制の導入に努めます。</li> <li>館の運営のために外部支援体制の導入に努めたか？（評価方法 B）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第三者機関（運営会議、みんつく、資料情報委員会など）の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映できるよう工夫がなされたか？（評価方法 B）</li> </ul>



## 第2章 通信簿ツアーの実施

### (1) 通信簿ツアーの内容

平成19年度における通信簿ツアーの特徴

平成19年8月19日(日)に、県民参画事業(第 編第8章参照)の一環として「通信簿ツアー」を実施した。これは利用者とともに県立博物館を評価する(県立博物館の「通信簿」を付ける)という利用者参加型の評価方法である(本事業の概要は平成18年度県立博物館年報第 編第2章参照)。

平成19年度の特徴は次のとおりである。

評価項目数について、参加者負担の軽減のために、平成18年の項目数(約100問)の6割程度(60問強)とした。

- ・評価項目の内容について新規に「J03 年間パスポートについて」、「J04 開館時間・開館日の変更について」、「J06 博物館の変化について」を加えた。
- ・当日の参加者数は120名となった。平成18年度の参加者は博物館の専門家が混じったこともあり、専門的立場からの意見が目立ったのに対し、平成19年度は一般からの参加が多く、一般の利用者が当館をどのように捉えているのかがより明瞭となった。
- ・通信簿ツアーについてマスコミ取材も受け、NHKでは関東甲信越のニュース枠の中で本事業を紹介した。他県博物館からも問い合わせを受け、県立博物館の評価制度が着実に全国の注目を集める結果となった。

通信簿ツアー評価項目

A 博物館に到着するまでの、道のりは順調でしたか？

1. 最寄り駅はJR石和温泉駅なのだけど、まちがえた方はいませんか？
2. お店やホテルの人たち、駅員さんやタクシーの運転手さんは、博物館のことを知っていましたか？ 紹介してくれましたか？
3. 車の方、案内標識や看板はわかりやすいですか？ インターチェンジで迷いませんでしたか？

B いよいよ館内に入ります。

1. エントランス(入り口)の雰囲気はどうですか？
2. 受付(総合案内)の対応はいかがでしたか？
3. 案内パンフレットは使いやすいですか？
4. 入場料が必要なところと、そうでないところの区別はすぐわかりましたか？
5. 途中で一回館外に出ても、当日なら再入場できますが、そのことはすぐわかりましたか？
6. 館内マップやサイン(案内表示)はわかりやすいですか？

C 館内は快適ですか？

1. 館内はきれいですか？ 見た目だけでなく、匂いなどはいかがですか？ 不快に感じられることはありませんか？
2. 館内の空調はちょうど良いですか？
3. 就学前の小さな子どもを連れてきても大丈夫そうですか？ 小さな子が楽しめそうなところやサービスはありましたか？
4. 視聴覚障害者向けサービス(点字板などによる案内、音声ガイド、字幕付き映像など)は充実していますか？ 設備の使い勝手はいかが？ サービスに工夫が必要だと思う点がありますか？ 手話のできるスタッフがいることに気づきましたか？
5. 外国人のお友達を案内しても、十分に楽しめそうですか？
6. 館内でしていいこと、悪いことが何なのか、禁止事項の表示はわかりやすいですか？
7. 館内に休憩できるスペースや椅子は充分ありますか？ 足りないとしたら、どこに置いてほしいですか？
8. 館内でお気に入りや、おすすめのスペースが見つかりましたか？ 逆に、「このスペースはもったいない」と思う空間があったら、その使い方について良い提案がありますか？

D さて、展示室です。展示は楽しめましたか？ 何かを学ぶことができましたか？

展示室は「常設展示(鑑賞学習型展示と体験型展示)」と「企画展示」とに分かれています。お好きなところから、スタートしてください。

常設展示 d-Xへ 企画展示 d-Yへ 展示全体 d-Zへ

d-X 常設展示について

常設のうち、「鑑賞学習型展示」はこちらへ

1. まず目に入るのは、巨大な山梨の衛星写真（「山梨の舞台」）。どんなふうを楽しみましたか？ それとも通り過ぎてしまいましたか？
2. 展示室内のどのテーマから見てもいいのですが、どこに何があるか、自分がどこにいるか、わかりましたか？ どのあたりがわかりにくいですか？ 順路を指定した方がいいと思いますか？
3. 江戸時代の村や城下町を再現したジオラマ展示（情景模型）を、どう感じましたか？ ジオラマの中の人形は、それぞれがいろいろなドラマを演じているらしいのですが、その魅力は伝わってきましたか？ どうすればもっと魅力が伝わると思いますか？
4. とときどき室内が暗くなることに気がつきましたか？ 実はその時こそが、この「城下町ジオラマ」の一番の「みもの」。感想を聞かせてください。
5. ジオラマの展示台の下にある引き出し型ケース。「学びの引き出し」というのだけれど、開けてみましたか？
6. 室内にあるタッチパネル式の映像モニターは、試してみましたか？
7. 「鑑賞学習型展示」は、17個のテーマ別展示になっています。特に興味や関心をもった展示を一つ選んで、選んだ理由や感想を教えてください。

常設のうち、「体験型展示」はこちらへ

8. このコーナーには、実際に資料に触ったり、ゲーム感覚で楽しめる展示（ハンズオン展示）がたくさんあります。実際に体験してみましたか？ 混雑などなく、快適に利用できましたか？
9. 体験の仕方はわかりましたか？ スタッフにすすめられないと、自分からは体験しにくいですか？
10. 楽しい体験展示ですが、自分の知識をより深めることにも役立ちましたか？
11. 「体験展示」もテーマ別です。11個のテーマのうち、特に興味や関心をもった展示・体験を一つ選んで、選んだ理由や感想を教えてください。

d-Y企画展示について（9月2日まで、「人と動物の昭和誌」を開催中です。）

12. 今回の企画展は面白かったですか？ 具体的にどんなところが？ 感想を聞かせてください。
13. 今後、どんな企画展を希望しますか？

d-Z展示全体について

14. 展示品のキャプションや解説類、文字の読みやすさや内容のわかりやすさはいかがでしょう？ 古文書の読み方や内容はわかりましたか？
15. 展示は、歴史を勉強していない子どもたちでも、楽しめると思いますか？ 中学生や高校生、大学生はどうですか？ あるいは子ども中心と感じますか？ 大人も楽しみましたか？
16. 子ども向けのパンフレットや、展示クイズは楽しめましたか？ 使ってみた大人の方の感想も、教えてください。
17. 展示理解の手助けとなる解説グッズ類は、充実していると思いますか？ たとえば「旅行の歴史」を知る面白解説冊子『ぶるる』や、視覚障害者のための「触ることのできるジオラマ人形」など、試してみた方はご感想を。
18. 懐中電灯やペンライト、虫眼鏡や双眼鏡をもっていたら、展示室内で使ってみたいですか？
19. 常設展示室には、ジオラマの下の引き出し式展示やタッチパネルの映像など、ユニークな仕掛けがいろいろあります。触ってみましたか？ 一番印象的なものはどれでしたか？
20. 視覚障害者用に音声解説が流れる「音声ジャケット」の貸し出しがあります。障害のない人も、常時使える音声ガイドがあるといいと思いますか？
21. 展示を見ながら、誰かと何か話したいと思った方、どんなことを話したいと思いましたか？ お話ししてもいい雰囲気でしたか？
22. 展示を通じ、自分が知らなかった山梨の一面を知ることができましたか？ どのような発見がありましたか？
23. 県外から来た方も楽しめましたか？ 山梨の歴史に興味が持てましたか？
24. 展示を見て、何か調べてみよう、知りたいなど、「向学心」がわきましたか？ どのようなことに興味をもちましたか？
25. リピーターの方、展示室の展示資料は変化していると思いますか？ 気がついた変化はどのようなものでしょう。

E 「資料閲覧室」や「地域インデックス」の充実度は？

もっと知識を深めたい方は、「資料閲覧室」へ。

1. 資料閲覧室は自由に使えるのですが、使ってみましたか？
2. 博物館で収蔵している実物の古文書を見たい方、閲覧手続きの方法はわかりやすいですか？
3. 「甲州文庫」も収めたデジタル・アーカイブ、充実度はいかがですか？ 閲覧方法や印刷の手続・料金などにご意見がありますか？

山梨県をもっと幅広く楽しみたい方は、「地域インデックス」へ。

4. 博物館周辺のおすすめスポットや、県内各所の観光案内など、情報は充実していますか？ 発信してほしい地域情報はありますか？
- F ショップやレストラン、お庭散策も楽しめました？
1. ショップはどんな感じですか？ 目玉商品をわかりやすくする工夫などもありましたか？ レジの対応はいかがで

- しょう？
2. 買ったもの、買いたいものはありましたか？ どのようなオリジナルグッズや地方名産があればいいと思いますか？
  3. 館内の完全攻略本『山梨県立博物館ガイドブック』には、おすすめ見学コースが掲載されています。このガイドブック、買って帰りたいですか？
  4. レストランの雰囲気やサービス、メニューやお味、お値段など、総合してどう思いますか？ 今後、レストランで出してほしいメニューはありますか？
  5. 建物のまわりの広いお庭と植栽は、博物館の自慢です。散歩をしたくなりましたか？ 植物の説明板や開花情報などは、役立ちましたか？ お庭にこういうものがあつたら、というような意見はありますか？
- G イベントや普及プログラムに興味がありますか？
1. 館で行われているイベントプログラムは、参加しやすいですか？ 参加した方、ご意見を。
  2. イベントに参加したいのにできなかった方、できない理由って何でしょう？
  3. こんなプログラムがあれば参加したい、というものはありますか？
  4. 学校連携の一環として、たとえば、「かいじあむ紙芝居」などの学習用教材キットの貸し出しや、ワークシートの作成もしています。利用したことのある方、ご感想を。
  5. 博物館と県内市町村を結ぶための「歴史ウォークツアー」(ガイドブックをショップで販売中です)に興味がありますか？ 参加した方、ご感想を。
- H 館で働く人たちと交流できましたか？
1. 館内スタッフの案内や誘導は上手ですか？ スタッフや学芸員に話しかけたり、質問したりしやすいですか？ 逆に、館のスタッフのほうから話しかけてもらいましたか？
  2. 説明はわかりやすかったですか？ 面白い話を聞けましたか？
  3. 館内には、「協力員」と呼ばれる「ボランティア・スタッフ」がいます。あなたもなってみたいですか？ どうしたらなれるか知っていますか？
- I 博物館に行く前に、情報は入手できましたか？
1. 県立博物館のホームページを見たことがありますか？ 内容やデザイン、更新状況をどう思いますか？ こんな情報をのせてほしい、これはのせておくべきだ(!)という要望はありますか？
  2. 博物館がメールマガジンなどを発信していたら読んでみたいですか？
- J 最後に、これもぜひお聞きしたいところです。
1. 館の愛称は、「かいじあむ」。知っていましたか？ 使っていますか？ 「かいじあむ」のマークやキャッチコピーに親しみを感じていますか？
  2. 入館料(常設展、企画展)は適当ですか？ 展覧会によって一概にはいえないうにせよ、高い、あるいは安いと思いますか？
  3. 一年間、何回でも博物館を利用することのできる年間パスポートの存在をご存じでしたか？ 値段は安い、あるいは高いと思いますか？
  4. 現在は午後5時まで開館ですが、開館時間の延長を希望しますか？ 延長できるとしたら、いつ、そして何時までを希望しますか(たとえば、「何曜日に何時まで」とか、「夏休み中は何時まで」とか)？ できればその理由も教えてください。ところで来年度(2008年/平成20年4月)から休館日が月曜から火曜に変わることをご存じでしたか？
  5. 県博はみんなが親しみやすい、学びやすい、楽しめる博物館だと思いますか？
  6. 以前に来館したことがある方、博物館に変化がありましたか？ 以前よりよくなっていると思ったところがありますか？
  7. 県内の人・県外の人に関係なく、博物館にきたことでもっと山梨県を歩いてみたい、観光してみたいと思いましたか？
  8. もう一度、この館に来たいですか？ 今日はワクワクしましたか？ それはなぜでしょう？ 今度、来るとしたら誰といっしょに来たいですか？

## (2) 通信簿ツアーの結果

### 通信簿ツアー評価結果抜粋

通信簿ツアーの結果については、その全文を県立博物館ホームページ上で公開し、PDFファイル形式でダウンロードをすることが可能である。URLは次のとおり。

[http://www.museum.pref.yamanashi.jp/3nd\\_event\\_waiwai\\_070819\\_1.htm](http://www.museum.pref.yamanashi.jp/3nd_event_waiwai_070819_1.htm)

なお、評価結果全文はA4版で60頁以上にも及ぶものであり、紙幅の都合上、ここでは評価結果の一部を抜粋という形で掲載することとする。

A		博物館に到着するまでの、道のりは順調でしたか？	
	A02	お店やホテルの人たち、駅員さんやタクシーの運転手さんは、博物館のことを知っていましたか？ 紹介してくれましたか？	
	A02	(お店やホテルの人たちについて)いいえ。	085
	A02	聞きませんでした。	067
	A03	車の方、案内標識や看板はわかりやすいですか？ インターチェンジで迷いませんでしたか？	
	A03	20号を勝沼方面から着ましたが、看板が小さめでした。「 m先」なども書いてあると分かりやすいと思います。	060
	A03	標識や看板が少し小さいかも。慣れてる人は問題ないけれど、初めての人は見逃してしまう可能性があるかもしれません。	079
B		いよいよ館内に入ります。	
	B01	エントランス(入り口)の雰囲気はどうか？	
	B01	明るく良い雰囲気。博物館の薄暗いというイメージをなくしてくれる。	076
	B01	開放感があって良い。	067
	B01	案内の方がトイレや常設入り口までの案内をしてくれていた。他館では見られない、ホテルのコンセルジェのような感じがして好感が持てた。さらに磨きをかけて欲しいです。入り口のところで記念写真を撮影する方の手伝いなどもされていてなかなかいい感じでした。	119
	B02	受付(総合案内)の対応はいかがでしたか？	
	B02	対応は素晴らしかった。県営とは思えない、民営の接客でした。	046
	B04	入場料が必要などところと、そうでないところの区別はすぐわかりましたか？	
	B04	館内に入れば区別はすぐ分かる。しかし無料のエリアがある事が外に向けてあまりアピールできていない気がする。閲覧室だけなどを利用したいという人も多くいると思うので、無料ということアピールすればもっと利用者が増えると思う。	076
	B04	資料室が無料なのは分からなかった。	067
	B05	途中で一回館外に出ても、当日なら再入場できますが、そのことはすぐわかりましたか？	
	B05	出口側にしか表示が無かったので分かりにくかった。入口の方にも表示をすればもっと良いと思う。	076
	B05	もっと一見してわかるようにするといいかも。	011
	B04	石和温泉宿泊者には割引があるというが、表示があれば助かる。入場料を払うところに見やすく、各割引の一覧があると良いかも。	048
	B06	館内マップやサイン(案内表示)はわかりやすいですか？	
	B06	位置が分かりにくかったです。	062
	B06	トイレが分かりにくい。	058
C		館内は快適ですか？	
	C01	館内はきれいですか？ 見た目だけでなく、匂いなどはいかがですか？ 不快に感じられることはありましたか？	
	C01	快適でした。親切な説明を所々でしていただけたので、展示がより楽しめました。	039
	C01	とてもきれいで、何度も来たくなる。不快に感じることはなかった。	103
	C01	とてもきれいで清潔感あふれた建物でした。	077
	C02	館内の空調はちょうど良いですか？	
	C02	よい。快適な温度と風景。	118
	C02	外から入ったときは涼しく感じましたが、長くいるとちょっと肌寒く感じました。28度設定ですか(地球温暖化を防止)？	113
	C03	就学前の小さな子どもを連れてきても大丈夫そうですか？ 小さな子が楽しめそうなところやサービスはありましたか？	
	C03	タッチパネルと体験工房で盛り上がっている小さな子どももいたので、楽しめる要素はあると思います。	079
	C03	図書コーナーの前の絵本が見られる場所、なかなかユニークです。できれば定期的にここで絵本の読み聞かせなどしてくださると嬉しいです。	119
	C04	視聴覚障害者向けサービス(点字板などによる案内、音声ガイド、字幕付き映像など)は充実していますか？ 設備の使い勝手はいかが？ サービスに工夫が必要だと思う点がありますか？ 手話のできるスタッフがいることに気づきましたか？	
	C04	他の博物館に比べて平面展示が多く楽に観賞することができた。	025
	C04	障害者用トイレを利用させていただきました。清潔できれいに完備されていて感激しました。ありがとうございます。	025
	C04	ハンデのある方へのサービスが充実していることはとても良いと思います。	002
	C04	その様なサービスがあることが分かりにくい。	076

	C05	外国人のお友達を案内しても、十分に楽しめそうですか？	
	C05	音声ガイドがあるということなので、ある程度は楽しむことができるのではないだろうか。	080
	C05	見るだけなら楽しめると思いますが、詳しく学ぶのは日本語ができないと厳しいと思います。	060
D		さて、展示室です。展示は楽しめましたか？ 何かを学ぶことができましたか？	
d - X		常設展示について	
	D01	まず目に入るのは、巨大な山梨の衛星写真（「山梨の舞台」）。どんなふうを楽しみましたか？ それとも通り過ぎてしまいましたか？	
	D01	スケールが大きくよく出来ていると思いますが、富士山頂ぐらいは表示があってもよい。	068
	D01	家を探したかったが、よく分からなかった。大きい建物や市の場所はかんたんに表示して欲しい。	071
d - X		常設のうち、「鑑賞学習型展示室」について	
	D02	展示室内のどのテーマから見てもいいのですが、どこに何があるか、自分がどこにいるか、わかりましたか？ どのあたりがわかりにくいですか？ 順路を指定した方がいいと思いますか？	
	D02	1、2度来たことがあるので、自分で適当に回った。順路が指定されなくて、気楽に回れる。でも、右に行ったり左に行ったりでややこしくなって、何か見逃したりしそうだと思った。	073
	D02	自分のいる場所はわかって、展示がそれぞれどこにあるか、というのが少々分かりづらいのかもしれない。楽しみ方は人それぞれなので、順路を指定する必要はないと思うが、見逃したものがあるなら勿体ない。	080
	D02	以前より順路の番号がよくわかるようになりました。去年よりかなり改善されてきていますが、一部の交流員の方の案内が不適切な印象を受けます。何よりも来館者が何を望んでいるかを正確に把握する力をつけて欲しいと思います。ただ注意しているだけの監視員みたいな方がいます。交流が売りだと聞いていますのでがんばってください。	119
	D02	順路がなく少しとまどいました。	077
	D02	順路を指定してあればスムーズに見れたかも知れないですね。	087
	D03	江戸時代の村や城下町を再現したジオラマ展示（情景模型）を、どう感じましたか？ ジオラマの中の人形は、それぞれがいろいろなドラマを演じているらしいのですが、その魅力は伝わってきましたか？ どうすればもっと魅力が伝わると思いますか？	
	D03	子どもが大変気に入り、ずっと見入っていました。すばらしいです。	116
	D03	人形はさまざまな表情で色々な事をやっていて見ていて楽しかった。タッチパネルだけでなく、近くで解説してくれる人がいると、もっと楽しめると思う。	076
	D04	ときどき室内が暗くなることに気がつきましたか？ 実はその時こそが、この「城下町ジオラマ」の一番の「みもの」。感想を聞かせてください。	
	D04	室内全体の雰囲気かわり、水の流れに音など、新しい一面も見られて良かった。	033
	D04	暗くなったが.....気付かず。もう一度見てみます。	105
	D04	（「みもの」）説明がなければわかりません。	099
	D04	ジオラマはいいけど、他の文字が見づらいという点もあった。	097
	D07	「鑑賞学習型展示」は、17個のテーマ別展示になっています。特に興味や関心をもった展示の一つを選んで、選んだ理由や感想を教えてください。	
		展示内で流れている映像をはじめてみました。画面が広すぎて、目で追うのがたいへんでしたが、迫力がありました。しかし、誰も見ている様子はありませんでした。もっと違うところで流したらどうでしょうか？ 企画展をしていない時にエントランスの空きスペースなどで。	012
	D07	他のお客さんを見ていると、メイン展示内の20分に1回出る壁の映像をあまり見ていないようだった。	073
d - X		常設のうち、「体験型展示」について	
	D08	このコーナーには、実際に資料に触ったり、ゲーム感覚で楽しめる展示（ハンズオン展示）がたくさんあります。実際に体験してみましたか？ 混雑などなく、快適に利用できましたか？	
	D08	入館した子供達が、実際に当時のものをさわったり、動かしたりできる博物館で感動的であった。昔、本で読んだ「ドイツの博物館では、子供たちが何でもさわれる」という事について日本の博物館は、どうしてその様にならないのか...と長い間思っていました。やっとそれができたな、と思いました。子どもたちの成長にとって、物をこわして育っていき事に力をおしんではいけないのでしょう。博物館とは、見るものではなく、自分の手でさわって、学ぶものだと思います。いい博物館です。	007
	D09	体験の仕方はわかりましたか？ スタッフにすすめられないと、自分からは体験しにくいですか？	
	D09	気軽に触れることができた。机のある所は入りづらい。	060
	D09	スタッフがすすめてなくても、体験しやすくしてほしい（やり方の説明がもっと目につくところにあるべき）。	099
d - Y		企画展示について （9月2日まで、「人と動物の昭和誌」を開催中です。）	
	D12	今回の企画展は面白かったですか？ 具体的にどんなところが？ 感想を聞かせてください。	
	D12	面白いのは写真に関する情報を募集し、それを掲載していること。机に座っていても絶対に知ることのできない、生の体験談を知ることができたのは貴重で良い。ただ、その情報を展示室の外ではなく、その情報と対応した写真のところに掲載すべきだと思う。外に出た後に情報を見ても対応する写真がどんなものだったか忘れてしまう。	073

	D12	面白かった。体験者からのフィードバックがかなり充実していた。これを採用し、改訂した図録が欲しい。	065
	D12	企画展を見に東京から大学院の友人たちと来ました。地域に残る写真を使って古いようで最近のことが分かる企画展で良かったと思います。とくに「情報提供用紙」の使い方がよく、帰るときに回答に見入ってしまいました。あの情報もきちんと公開してほしいです。だぶん、このままなくなってしまう貴重な情報なので、おじいさん、おばあさんの聞き取り調査が必要だと思いました。」	037
	D12	結局「昭和の写真展」という感じがした。博物館ならもっと実物/かいこの本物、桑の木、桑の実(定期的にムリか) うまやの再現、飼犬の実物(はくせい等)等々あって当然と思う(少しはありましたね)	098
	D12	せっかくの昭和展示、昭和の音楽を流したり思いでフォーラムを展示室内でゆったりといった、あたたかい交流があったらもっと話題になったはず。少し残念ですが、いい写真が多くて時の経つのを忘れるようでした。	119
	D13	今後、どんな企画展を希望しますか？	
	D13	今回のような、ただ展示を見るだけでなく、客も「参加」できる展示という形式をこれからも続けてください。	073
	d - Z	展示全体について	
	D15	展示は、歴史を勉強していない子どもたちでも、楽しめると思いますか？ 中学生や高校生、大学生はどうですか？ あるいは子ども中心と感じますか？ 大人も楽しみましたか？	
	D15	人形をかわいいと思うとか、ゲームをするとか、そういうところから博物館になじみになるのもいいと思います。やたらと「静かにしなさい」と言われる博物館ではなく、のびのび会話が楽しめる雰囲気も、子どもにはとてもいいと思います。そういう意味では成功しているのでは？ 中学生、高校生もそれぞれテーマがあれば、学習に使えますと思いますが、学校との連携が重要だと思います。もちろん大人も楽しみました。	120
	D15	郷土の歴史や生活の知恵がジオラマやパネルでよくわかりやすくなっている。自分自身興味があるから、また、田舎の生まれだから、こうした昔の情景になつかしさを感じる。今の子どもたちに口で伝えるよりも、こうして目で見て学ぶことも必要。また、外の空き地をつかって、実際に昔の道具をつかって、田畑の耕作や収穫を体験出来ると良いと思う。	101
	D21	展示を見ながら、誰かと何か話したいと思った方、どんなことを話したいと思いましたか？ お話ししてもいい雰囲気でしたか？	
	D21	館内の雰囲気は、堅苦しくない良い雰囲気だと思います。ですから人と話しながら展示を楽しめました。	079
	D21	話しても良い雰囲気だった。お年寄りの方々がジオラマを見て、あれこれ言っていたのが印象的。	080
	D21	うちのおじいちゃんと話してみたいと思った。家が昔から農家なので、ジオラマを見ながら詳しい内容が当時の話しをききたい。	033
	D22	展示を通じ、自分が知らなかった山梨の一面を知ることができましたか？ どのような発見がありましたか？	
	D22	山梨の歴史を語る時、常に武田信玄があり、信玄以外の歴史を学べて良いと思う。信玄さん以外も山梨にはあったのだなと、考えれば当然だが、気付かされた。	063
	D22	山梨の歴史は今まで、武田信玄のことが印象的でしたが、江戸時代の城下町のジオラマで城下町の人のことも知ることができた。江戸の町だけでなく山梨にもにぎわいがあったのですね。	010
	D22	高瀬舟など交通に関することはよく知らなかったので、新鮮。「県」には終始せず、その外側も含めた紹介というのは少ない例だと思うし、大事だと思う。	073
	D22	学校では支配者を中心に勉強するが、私たちと同じ一般民衆がどのように生活していたか勉強できる。	067
	D25	リピーターの方、展示室の展示資料は変化していると思いますか？ 気がついた変化はどのようなものでしょう。	
	D25	子供は、それなりに楽しみましたが、二、三度来るのには、また次回来ることがあるような展示があるといいのですが。その時代によっての暮らしがわかればいいのですが。	009
	D25	いつ展示替えをするのか、情報を教えても構わないのでは？	019
	E	「資料閲覧室」や「地域インデックス」の充実度は？	
		もっと知識を深めたい方は、「資料閲覧室」へ。	
	E01	資料閲覧室は自由に使えるのですが、使ってみましたか？	
	E01	資料閲覧室前の図書コーナーがとても魅力があります。こちらを訪ねるのは今日で3回目ですが(1度にすみずみまで見るのは大変なので)小学生の子どもも毎回それなりに興味を探し、あきずに見ています。(母)	110
	E02	博物館で収蔵している実物の古文書を見たい方、閲覧手続きの方法はわかりやすいですか？	
	E02	分かり易い。	063
	E02	一般の人は利用できるということを想像しないかもしれません。	067
	E03	「甲州文庫」も収めたデジタル・アーカイブ、充実度はいかがですか？ 閲覧方法や印刷の手続・料金などにご意見がありますか？	
	E03	デジタル・アーカイブ化はすごいと思います。利用しやすく、保存の面でも素晴らしいと思います。	067
	E03	以前パソコンで甲州文庫の文書を見たことがあるが、やはり簡単に文書そのものをインターネットで見られるのが良い。コピーができるというメリットがある。	073
	F	ショップやレストラン、お庭散策も楽しめましたか？	

F04	レストランの雰囲気やサービス、メニューやお味、お値段など、総合してどう思いますか？ 今後、レストランで出してほしいメニューはありますか？	
F04	奥すぎて、入ろうか入らないか雰囲気をうかがうことが難しい。	067
F05	建物のまわりの広いお庭と植栽は、博物館の自慢です。散歩をしたくなりましたか？ 植物の説明板や開花情報などは、役立ちましたか？ お庭にこういうものがあったら、というような意見はありますか？	
F05	竹がとってもきれいだった。	108
F05	敷地（外）が広くてもったいないかな？ 有効活用はないのか。	115
G	イベントや普及プログラムに興味がありますか？	
G05	博物館と県内市町村を結ぶための「歴史ウォークツアー」（ガイドブックをショップで販売中です）に興味がありますか？ 参加した方、ご感想を。	
G05	興味がある。地元の近辺で行われることがあったら、参加するかも。地元であっても知らないことは山ほどあるだろうから。	073
H	館で働く人たちと交流できましたか？	
H01	館内スタッフの案内や誘導は上手ですか？ スタッフや学芸員に話しかけたり、質問したりしやすいですか？ 逆に、館のスタッフのほうから話しかけてもらいましたか？	
H01	迷っていたらすぐに親切に教えていただきました。説明も興味深く話してくださったので、良かったです。声もかけやすかったです。	062
H01	スタッフの方と話しなかったが、スタッフの方はよく話しかけていたし、話しかけられていたと感じた。入り口からの案内まで行っていて、よくがんばっている。	073
H03	館内には、「協力員」と呼ばれる「ボランティア・スタッフ」がいます。あなたもなってみたいですか？ どうしたらなれるか知っていますか？	
H03	協力員になつてみたいです。どうしたらなれるか、わかりません。	094
I	博物館に行く前に、情報は入手できましたか？	
I01	県立博物館のホームページを見たことがありますか？ 内容やデザイン、更新状況をどう思いますか？ こんな情報をのせてほしい、これはのせておくべきだ（！）という要望はありますか？	
I01	館とHPのギャップがあり過ぎると思います。せっかく楽しいのに、HPが堅苦しく感じます。	062
I01	紀要について 学芸員の業績ないし専門は載せて欲しいと思った。デザインについてはこんなものだろうという印象を受けた。	063
I01	見たことはあります。分かりやすかったが、もう少し手作り感というか、博物館の才がみえる項目があればいいと思う。学芸員日記とか、また、ボランティアからみた博物館の魅力発見とか、また、利用者の声としていくつかアンケートに書かれていた感想をのせてもいいし、それに対する館スタッフのコメントを付してもいいと思う。	031
J	最後に、これもぜひお聞きしたいところです。	
J01	館の愛称は、「かいじあむ」。知っていましたか？ 使っていますか？ 「かいじあむ」のマークやキャッチコピーに親しみを感じていますか？	
J01	使っていません。普及していないので、あまり通じないと思います。	060
J02	入館料（常設展、企画展）は適当ですか？ 展覧会によって一概にはいえませんが、高い、あるいは安いと思いますか？	
J02	時間的に長くすごせる割りに安価（公立なので）。	101
J02	うーん。安くないとリピーターは見込めないかも。2回目から安くなるとか.....。	082
J03	一年間、何回でも博物館を利用することのできる年間パスポートの存在をご存じでしたか？ 値段は安い、あるいは高いと思いますか？	
J03	知りませんでした。年に何回もこないと思います。	060
J04	現在は午後5時まで開館ですが、開館時間の延長を希望しますか？ 延長できるとしたら、いつ、そして何時までを希望しますか（たとえば、「何曜日に何時まで」とか、「夏休み中は何時まで」とか）？ できればその理由も教えてください。ところで来年度（2008年/平成20年4月）から休館日が月曜から火曜に変わることをご存じでしたか？	
J04	少なくとも夏休み中などの人の多い時期は6時間開館でも良いかもしれない。その気になれば、のんびり1つ1つを見て回れるのがこの館の特徴だと思うので、タッチパネルや体験コーナーを制覇すれば、だいぶ時間が過ぎる。	073
J04	（休館日の変更は）しらなかった。何で？	101
J05	県博はみんなが親しみやすい、学びやすい、楽しめる博物館だと思いますか？	
J05	私は、そう思います。昔の生活の様子や風景など、実際に自分達でも体験することができるからです。あまりむずかしくないで、学習しやすいと思います。	103
J05	「みんなが」というと、まだそうではない気がします。今後、何年も先になったら県民に定着してくると思います。	079
J05	外観や内装デザインはすばらしい。博物館としては展示の仕方に工夫は見られるが、工夫をほどこしすぎて、学習しづらい。	099

J06	以前に来館したことがある方、博物館に変化がありましたか？ 以前よりよくなっていると思ったところがありますか？	
J06	「石舞台」の説明があったり、お庭情報が写真入りでボードに掲示されていたり、場所をしめすサインが増えていたり、インフォメーションは充実したなぁと思いました。あとは、前より博物館を使いこなしている感じのする利用者が、子どもを含め増えているように感じました。みんな、マイペースでそれぞれが好きなように博物館を楽しんでいる印象。生きた博物館という感じがして、よかったです。	120
J08	もう一度、この館に来たいですか？ 今日ワクワクしましたか？ それはなぜでしょう？ 今度、来るとしたら誰といっしょに来たいですか？	
J08	ひとりでも楽しめる内容だと思う。博物館は長く入ると足も目もつかれる。(文字が多いため)がここは長くいてもつかれないし、楽しめるものが沢山あった。	031
J08	常設展の変化を配信してくれれば、企画展だけでなくまた来たいと思います。	067
J08	今日は小学生の無料券があって、夏休みの宿題の参考にしたいことがあったので来ました。けれど、年間パスポートなどで来るか？という...わかりません。前回から今回まで1年あったので楽しめましたが、1年間のうちに何回もは来ないと思います。	021
J08	何かが足りない気がする。もう一度きたいとは思わない(良かったけど、1回で十分)	072
J08	あと5年はこない。	100

「評価者No.」は通信簿の提出者それぞれに機械的に付与した番号であり、同一番号は同一人物の回答によるものであることを示す。

### 評価結果の分析

回答の中から目立つ語句を分析すると、全体的に当館の持つ「強み」と「弱み」が明確となった。

強みとしては「明るい」「快適」「清潔」「開放感」という語句やまた、「博物館の薄暗いというイメージをなくしてくれる(B01)」「対応は素晴らしかった。県営とは思えない、民営の接客でした(B02)」という回答に代表されるとおり、従来の博物館のイメージを良い方向で裏切る博物館と捉えられていることが判明した。

一方、弱みとしては、有料ゾーンと無料ゾーンの区別について(B04)、当日における再入館サービス(B05)、体験型展示の各種使い方(D09)、協力会への加入方法(H03)等、当館の諸サービスの認知度が不足していること、また、地元との連携不足(A02)が明らかとなった。平成18年度の通信簿ツアーでも課題とされた利用者との距離が心理的にも物理的にも埋められていないという問題が引き続き課題として提起された。

以上のような「強み」と「弱み」から県立博物館が目指す方向性が明確化された。

まず、挙げられるのは、県立博物館は明るく開放的な博物館であるという「強み」を活かすことが利用者の満足度を高めることにつながるということである。それは、利用者からの「お年寄りの方々がジオラマを見て、あれこれ言っていたのが印象的。(D21)」「やたらと『静かにしなさい』と言われる博物館ではなく、のびのび会話が楽しめる雰囲気(D15)」という回答からも窺い知ることが出来る。

次に、利用者からの「ただ展示を見るだけでなく、客も『参加』できる展示という形式をこれからも続けてください(D13)」、「せっかくの昭和展示、昭和の音楽を流したり思いでフォーラムを展示室内でやったりといった、あたたかい交流があったらもっと話題になったはず(D12)」という回答にもあるとおり、県立博物館は利用者との交流が求められている。このことは交流型博物館という強みを前面に活かし事業展開、そのブランド化が県立博物館成否の鍵を握っていると結論づけられる。

#### 「山梨県立博物館の通信簿」をもとにした、館内改善ワークショップ

平成19年11月20日(火)に、県民参画事業わいわいミュージアムの一環として「『山梨県立博物館の通信簿』をもとにした、館内改善ワークショップ」を実施した。このイベントは利用者とともに、問題点をどのように改善できるか具体的な案をだし、試してみるというワークショップである。

当日、依然として博物館のサービスが十分に利用者に知られていないという「通信簿ツアー」の結果に基づき、NPOと協働して展示の楽しみ方が分かるクイズブックを配布することや、売店への案内看板などを作成・設置をし、利用者の誘導を図った。

利用者の視点からの博物館評価を実施し、改善するという取り組みは県立博物館独自のものであり、今後も順次改良を加えながら実施することとしたい。



# 第 編 事業・諸活動

## 第 1 章 運営・ミュージアムサービス

### (1) 運営・ミュージアムサービスの方針

県立博物館は、

- ・「調査・研究」(第 編第 2 章参照。以下、章のみ)
- ・「資料の収集と保存」(第 3 章)
- ・「展示」(第 4 章)
- ・「企画・交流活動」(第 5 章・第 8 章)

を柱とした事業・活動をとおして、県立博物館の使命の実現を目指している。16頁に掲げる「県立博物館事業体系図」のとおり、それぞれの事業・活動は密接に関連しあいながら、館の活動総体を高めていく。

県立博物館が提供するこれら諸サービスは、子どもから高齢者まで、誰もが気軽に学べ、何度来ても楽しめる博物館となることを基本方針とする。

そのためには常に、利用者が満足できる魅力あふれる事業・活動を企画・実行すること、快適に利用できる施設として整備すること(第 6 章) あわせて、情報化社会に対応した情報システムの充実・強化を図る(第 7 章)こととする。

また、博物館の各種事業は、専門的かつ高度な知識や技術が必要となることから、これらの知識を着実に蓄積することのできる創造性の高い組織作りを行う。同時にネットワークを生かし、外部支援も導入しながら開かれた博物館運営を行い、県民や利用者のニーズの変化に応えられるよう努めていく(第 9 章・第 10 章)。

### (2) 平成19年度利用者状況一覧

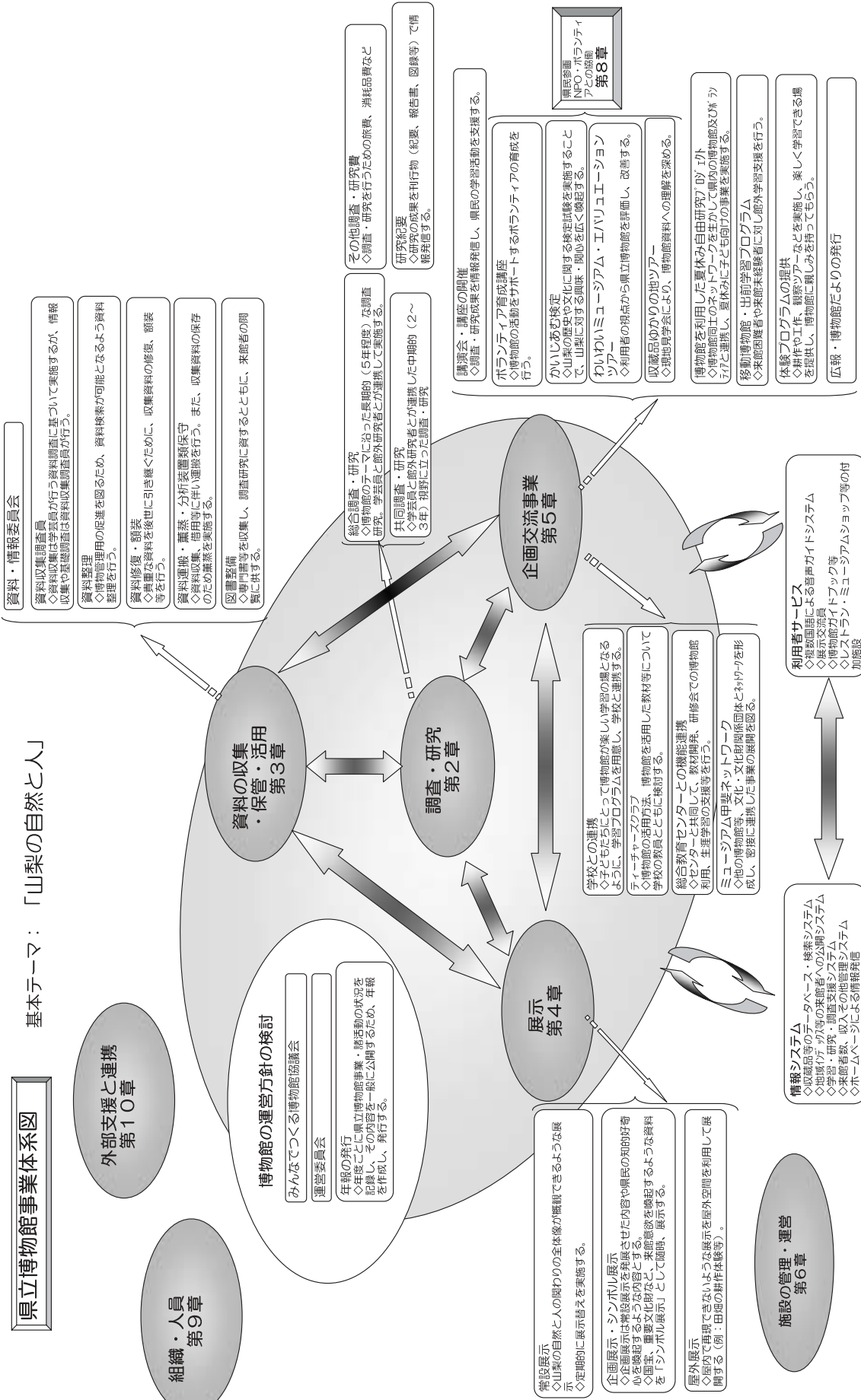
県立博物館の事業・諸活動は調査・研究、資料の収集・保管・活用、展示、企画交流活動、施設整備・管理、情報の発信と公開、県民参画事業など多岐にわたり、その成果をミュージアムサービスとして県民に還元しているところである。

これらミュージアムサービスについて、数値実績として表現できるものについて一覧化したものが17頁の「県立博物館利用状況一覧」である。県立博物館では、提供する諸サービスの総計を「総利用者数」として捉え、今後、総利用者数の増加を目指し、多くの人々に満足してもらえるミュージアムサービスを提供していくものである。

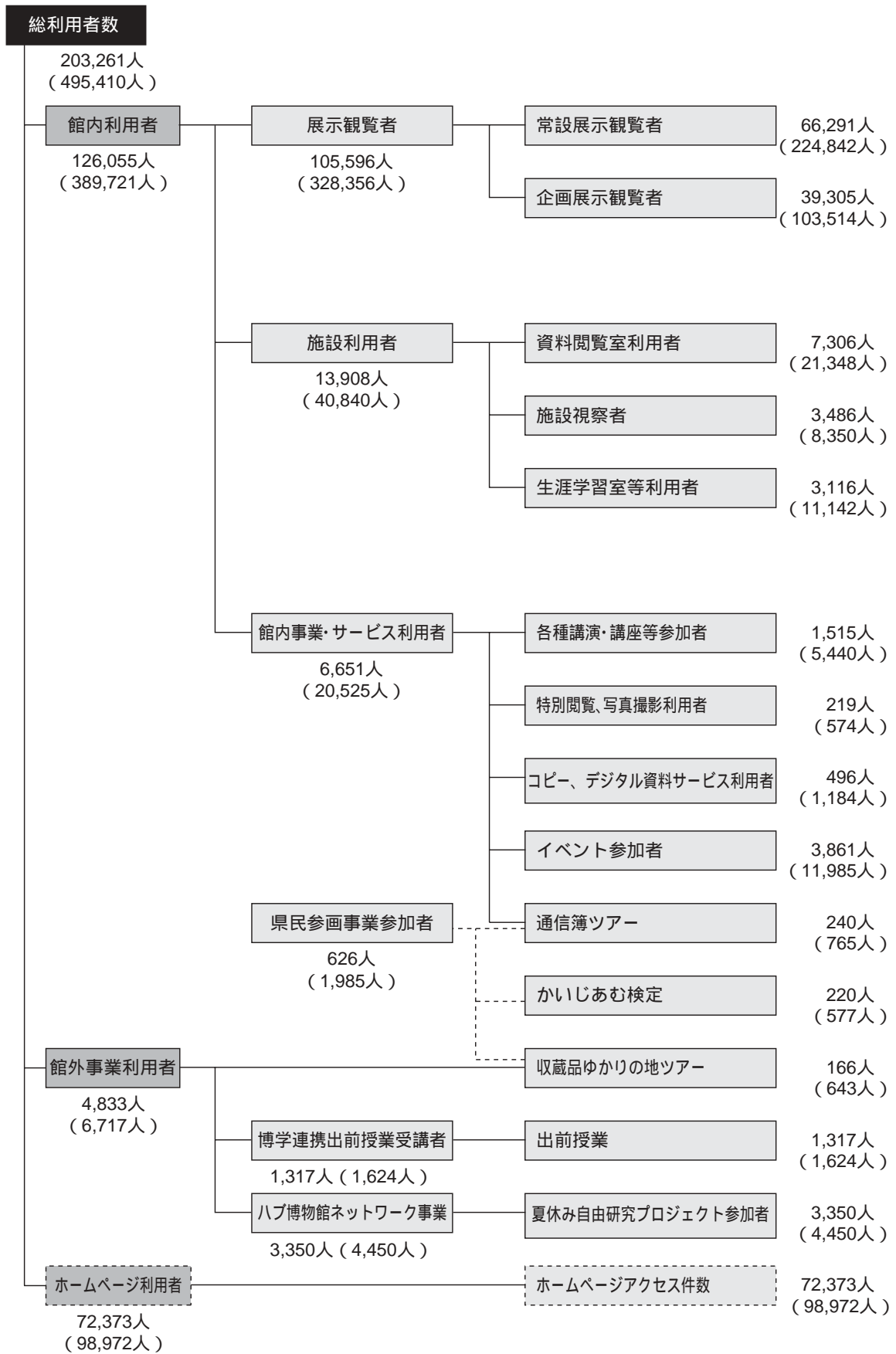
- 1 博物館の利用者とは、博物館の施設や提供する諸サービスを利用した者および博物館の事業・活動に参加したすべての対象者をさす。なお、一部の項目については、重複して統計に表れる性質がある。
- 2 一覧に示す利用者数は平成19年度分(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)の実績である。なお( )内の数値は平成17年度分から平成19年度分の実績数値を加えたものである。
- 3 県民参画事業のうち、交流拠点形成事業及びわいわいミュージアムは平成18年度で終了した。代わりに平成19年度からはかいじあむ検定、わいわいミュージアム・エバリュエーションツアーが新規に実施された(第 8 章)。このため、平成17~19年度までの実績を示すにあたり、かいじあむ検定の場合は平成18年度迄の交流拠点形成事業の実績を、わいわいミュージアム・エバリュエーションツアーの場合は平成18年度迄のわいわいミュージアムの実績をそれぞれ集計した。

基本テーマ：「山梨の自然と人」

県立博物館事業体系図



平成19年度 県立博物館利用者状況



開館年度（平成17年度）から平成19年度までの年度別統計

総利用者	館内利用者 (a + b + c)											館外利用者				ホームページ利用者					
	展示利用者 (a)			施設利用者 (b)			館内事業・サービス利用者 (c)					県民参画事業 収蔵品ゆかりの地ツアー	博士連携 出前授業 受講者	ハブ博物館 ネットワーク事業 (夏休み自由研究 プロジェクト)							
	常設展示 (発券数)	企画展示 (発券数)	資料閲覧室 利用者	施設 観察者	生涯学習室 等利用者	講座・特別 講演会 利用者	特別閲覧・ 写真撮影等	デジタル 展示・体験	イベント 参加者	E/0エージョ ツアー	E/0エージョ/ かいしあむ										
															常設展示 (発券数)		企画展示 (発券数)	資料閲覧室 利用者	施設 観察者	生涯学習室 等利用者	講座・特別 講演会 利用者
17年度	143,415	114,412	98,578	66,274	32,304	10,889	6,085	1,190	3,614	4,945	1,321	92	209	2,911	180	232	433	282	151	0	28,570
18年度	221,107	149,254	124,182	92,277	31,905	16,043	7,957	3,674	4,412	9,029	2,604	263	479	5,213	345	125	1,451	195	156	1,100	70,402
19年度	203,261	126,055	105,596	66,291	39,305	13,908	7,306	3,486	3,116	6,551	1,515	219	496	3,861	240	220	4,833	166	1,317	3,350	72,373
計	495,410	389,721	328,356	224,842	103,514	40,840	21,348	8,350	11,142	20,525	5,440	574	1,184	11,985	765	577	6,717	643	1,624	4,450	98,972

19年度 県立博物館利用者状況（月別集計）

総利用者	館内利用者 (a + b + c)											館外利用者				ホームページ利用者					
	展示利用者 (a)			施設利用者 (b)			館内事業・サービス利用者 (c)					県民参画事業 収蔵品ゆかりの地ツアー	博士連携 出前授業 受講者	ハブ博物館 ネットワーク事業 (夏休み自由研究 プロジェクト)							
	常設展示 (発券数)	企画展示 (発券数)	資料閲覧室 利用者	施設 観察者	生涯学習室 等利用者	講座・特別 講演会 利用者	特別閲覧・ 写真撮影等	デジタル 展示・体験	イベント 参加者	E/0エージョ ツアー	E/0エージョ/ かいしあむ										
															常設展示 (発券数)		企画展示 (発券数)	資料閲覧室 利用者	施設 観察者	生涯学習室 等利用者	講座・特別 講演会 利用者
4月	30,909	21,615	18,850	8,909	9,941	1,563	959	564	40	1,202	383	16	63	740	0	0	21	0	21	0	9,273
5月	33,933	25,096	20,770	10,706	10,064	2,381	1,241	674	466	1,945	169	22	69	1,685	0	0	25	0	25	0	8,812
6月	10,712	5,029	3,938	3,938	0	735	455	170	110	356	209	18	39	90	0	0	220	70	150	0	5,463
7月	15,397	8,046	6,452	5,310	1,142	1,328	583	289	456	266	90	10	51	115	0	0	1,166	0	166	1,000	6,185
8月	22,253	13,248	11,078	7,064	4,014	1,838	874	645	319	332	20	22	62	68	120	40	2,350	0	0	2,350	6,655
9月	11,700	6,263	5,134	4,818	316	860	586	59	215	269	80	16	33	140	0	0	22	0	22	0	5,415
10月	19,249	12,417	10,681	7,034	3,647	1,377	562	377	438	359	112	26	32	50	120	19	175	46	129	0	6,657
11月	20,902	14,598	12,593	6,883	5,710	1,315	674	361	280	690	106	18	31	524	0	11	328	50	278	0	5,976
12月	5,544	2,051	1,549	1,549	0	442	242	13	187	60	0	19	23	18	0	0	0	0	0	0	3,493
1月	13,095	7,970	6,790	3,395	3,395	673	415	70	188	507	209	14	33	251	0	0	435	0	435	0	4,690
2月	9,809	5,012	3,992	2,916	1,076	765	342	179	244	255	28	14	33	30	0	150	91	0	91	0	4,706
3月	9,758	4,710	3,769	3,769	0	631	373	85	173	310	109	24	27	150	0	0	0	0	0	0	5,048
計	203,261	126,055	105,596	66,291	39,305	13,908	7,306	3,486	3,116	6,551	1,515	219	496	3,861	240	220	4,833	166	1,317	3,350	72,373

## 第 2 章 調査・研究

平成19年度における県立博物館の調査・研究では、総合調査・研究として「富士山と人々の歴史」(平成17年度より継続)、共同調査・研究として「古代の交易と道」(平成17年度より継続、本年度で最終年度)、「歌川広重の甲州日記と甲府道祖神祭」(本年度のみ)、「甲斐の治水・利水と景観の変化」(平成21年度まで継続)の調査・研究事業が行われた。このうち「古代の交易と道」と「歌川広重の甲州日記と甲府道祖神祭」は、それぞれ山梨県立博物館調査・研究報告書2『古代の交易と道』、同3『歌川広重の甲州日記と甲府道祖神祭』を刊行した。

また、各博物館職員がそれぞれの専門分野に応じて個別調査・研究を行った。中でも本館と県立考古博物館、県埋蔵文化財センターが共同で進めている「中部地方における植物栽培の起源に関する研究」では、縄文時代中期中葉の土器から栽培ダイズの痕跡が検出され、国内における植物栽培の開始や農耕起源の問題解明に向けて全国的にも大きな注目を集めた。また、「甲斐金山遺跡における金製錬技術に関する研究」では、金山関係遺跡から出土した土器に金粒や鉛、ビスマスなどの不純物が付着していることが自然科学的調査によって明らかにされ、中世段階における金製錬技術の解明に向け大きな進展があった。

### (1) 総合調査・研究「富士山と人々の歴史」

#### 調査・研究の目的

富士山は山梨のみならず国内外に広く知られる名峰である。その自然景観は古来より山岳信仰の対象となり、文学や絵画に用いられる一方、雪代や火山活動などの災害は、人々の生活に大きな影響を与えてきた。

県立博物館では、富士山を巡る自然と人との関わりを歴史学、考古学、民俗学、美術史、文学、古環境学、地理学、動物学、植物学など多様な分野から総合的に解き明かし、それらの成果を広く国内外に情報発信していくこととした。

#### 県立博物館担当職員

中山 誠二(当館学芸課長)

高橋 修(当館学芸員)

植月 学(当館学芸員)

#### 共同調査・研究員

布施 光敏(富士吉田市歴史民俗博物館学芸員)

津村 宏臣(同志社大学講師)

#### 活動期録

平成18年5月14日(日) 共同調査・研究員と打合せを行い、今後の活動方針などを確認(於 県立博物館)。

### (2) 共同調査・研究

平成19年度の活動実績は次のとおりである。平成17年度から継続している共同研究 については、平成17年度、18年度の年報を参照。

#### 古代の交易と道

#### 県立博物館担当職員

平川 南(館長)

中山 誠二(学芸課長)

海老沼真治(学芸員)

#### 共同調査・研究員

大隅 清陽(山梨大学准教授)

杉本 悠樹(富士河口湖町教育委員会職員)

田尾 誠敏(東海大学講師)

平野 修(帝京大学山梨文化財研究所考古第3研究室長)

室伏 徹(甲州市教育委員会主幹)

#### 研究協力者

末木 健（県埋蔵文化財センター所長）  
新田 真也（山梨大学大学院）  
望月 秀和（笛吹市教育委員会職員）  
田中 大輔（南アルプス市教育委員会職員）  
保坂 和博（県埋蔵文化財センター文化財主事）  
森原 明廣（県学術文化財課主査）

#### 活動記録

- ・平成19年5月12日（土） 研究報告 平野「大坪遺跡から何が読み取れるか 古代の交易と道を遺跡から探る」、研究報告書の内容検討（於県立博物館）
- ・同 7月14日（土） 研究報告 室伏「大型建築からみた甲斐の古代」、平川南「古代の運送業者『馬道』『借馬』」（於県立博物館）
- ・同 9月29日（土） 研究報告 中山「弥生時代の交易と道」、研究報告書の内容検討（於県立博物館）
- ・同 11月25日（日） 研究報告 保坂「古墳時代の交易と道」、研究報告書の内容検討（於県立博物館）
- ・同 2月24日（日） 研究報告 田中「南アルプス市向第1遺跡～その調査と遺跡の立地～」、海老沼「若彦路再考」、共同研究のまとめ（於県立博物館）

また本共同研究と関連して、平成20年1月27日に、古代考古学フォーラム「古代地域社会の衢をめぐる諸問題」を帝京大学山梨文化財研究所と共催で開催した。

#### 活動内容と成果

本年度における活動では、「交易」の歴史を考察することが課題のひとつとして確認された。中山・保坂報告において弥生～古墳時代の交易について概観し、平野報告において奈良～平安時代の生産・流通遺跡に関する検討が行われた。また室伏報告により官衙推定遺跡と道との関連が指摘され、田中報告では、製塩土器の可能性のある出土資料と、遺跡の立地環境などが紹介された。

また研究報告書刊行のための検討・執筆を行い、平成20年3月に『山梨県立博物館調査・研究報告 古代の交易と道』を刊行した。

#### 目次

##### はじめに

##### 共同研究概要・活動記録

- 論考 平川 南「古代日本における交通と甲斐国」  
中山 誠二「弥生時代の甲斐の交易と道」  
大隅 清陽「ヤマトタケル酒折宮伝承の再検討 遠距離交通体系の視角から」  
田尾 誠敏「静岡県における甲斐型土器の流通」  
杉本 悠樹「古代甲斐国都留郡の様相」  
平野 修「考古学からみた古代地域社会における「市」 山梨県甲府市大坪遺跡から何が読み取れるか」  
室伏 徹「大型建築からみた甲斐の古代官衙と交通網」  
海老沼真治「古代・中世甲斐国交通関係文献史料の概要」

##### 資料編

- 新田 真也「古代甲斐国交易関係文献史料」  
海老沼真治「古代・中世甲斐国交通関係文献史料（稿本）」

事業としての共同研究は本年度をもって終了となるが、これまでの研究活動によって明確となった課題も存在すること、また将来的に本テーマによる企画展の開催を検討していることから、今後も自主的な研究活動を続けることとした。

## 「歌川広重の甲州日記と甲府道祖神祭」

県立博物館担当職員

井澤英理子（学芸員）

高橋 修（学芸員）

共同調査・研究員

市川 信也（那珂川町馬頭広重美術館 学芸員）

新津 健（山梨県立考古博物館 副館長）

活動記録

- ・平成19年 4月27日（金） 夢見山実地調査
- ・同 5月7日（月） 甲州旅行・甲州道中実地調査
- ・同 12月7日（金） 研究会
- ・同 12月21日（金） 研究会
- ・平成20年 1月18日（金） 広重写生帖調査（於 太田記念美術館）
- ・平成19年 6月26日（火）～ 7月29日（日）

山梨県立博物館シンボル展「歌川広重の甲州日記」開催

活動内容と成果

浮世絵師歌川広重が、天保12年（1841）に甲府道祖神祭の幕絵制作のために甲府に招かれた際に残した写生帳を軸として、広重の甲州旅行と甲府滞在、幕絵制作、さらには甲府道祖神祭についての調査研究を行った。その成果としてシンボル展の展示を行うとともに、報告書『歌川広重の甲州日記と甲府道祖神祭』を刊行した。以下は、『報告書』の内容構成と執筆者である。第一章では、近年アメリカで再発見された広重の甲州日記写生帳『旅中 心おほへ』のスケッチを読み解くとともに、関東大震災で焼失した甲州日記の前半部分を検証するなど広重の甲州日記そのものの考察、第二章では、当時の交通事情や広重の画業とスケッチの意義など広重の旅を考察、第三章では甲府道祖神祭と幕絵について考察を行った。

## 第一章 歌川広重の甲州日記

- ・『旅中 心おほへ』図版解説と翻刻
- ・『天保十二丑とし卯月、日々の記』翻刻と注釈
- ・「甲州日記」の研究史と原形について（井澤英理子）
- ・「甲州日記」の年代比定について（高橋修）

## 第二章 歌川広重の旅と写生

- ・天保年間の広重の画業と動静（市川信也）
- ・甲斐の道中案内と広重ルートの検証（新津健）
- ・広重のスケッチとその活用（井澤英理子）

## 第三章 甲府道祖神祭

- ・甲府道祖神祭礼と歌川広重の関わり（高橋修）
- ・甲府道祖神祭幕絵の制作（井澤英理子）

## 資料編

甲府道祖神祭関係史料、関係作品図版解説、甲州日記・甲府道祖神祭関係年表、甲州日記飲食リスト・狂歌リスト、広重の甲州旅行ルート、甲州日記・甲府道祖神祭関係参考文献

## 「甲斐の治水・利水と景観の変化」

県立博物館担当職員

西川 広平（学芸員）

共同調査・研究員

関間 俊明（韮崎市教育委員会）

数野 雅彦（山梨郷土研究会）

畑 大介（帝京大学山梨文化財研究所）

平山 優（山梨県教育委員会県史編さん室）

山下 孝司（韮崎市教育委員会）

活動記録

- ・平成19年11月3日(土) 研究会(於 県立博物館)  
調査・研究内容の検討
- ・同 12月2日(日) 研究会、資料調査(於 県立博物館)  
先行研究の再検討  
西川報告「戦国期の川除普請と村落」  
竜王信玄堤絵図の調査
- ・同 2月2日(土) 研究会、資料調査(於 県立博物館)  
西川報告「上条堰について」  
下川除絵図、将棋頭絵図の調査
- ・同 3月1日(日) 資料調査(於 県立博物館)  
検地帳、十六石絵図の調査
- ・同 3月6日(木) 資料調査(於 甲斐市役所敷島支所)  
敷島地区における地籍図の調査
- ・同 3月19日(水) 資料調査(於 甲斐市役所敷島支所)  
敷島地区における地籍図の調査

活動内容と成果

四方を山々に囲まれた甲斐国は、急峻な山地から盆地や谷筋に流れ込む河川により、古くから水害の影響を受けてきた。このため、信玄堤に代表されるような治水・利水事業や「甲州流治水」と呼ばれるその技術が盛んとなり、これまで数多くの研究が行われてきた。

本共同調査・研究は、河川流路の変遷や井堰の開発にともなう景観の変化を調査・研究することをおして、甲斐国の人々が、自然環境と向き合いながら営んできた開発の様子や、治水・利水技術の広がりを明らかにすることを目標に、平成19年度から新たに始まった事業である。

平成19年度は、本共同調査・研究の活動内容を下記のようにまとめ、実際に活動に着手した。

- a 信玄堤絵図(竜王信玄堤、下川除など)を分析し、描かれている内容や作成時期及び作成意図について考察する。
- b 先行研究で指摘されている釜無川の流路変遷を再検討するために、甲府盆地周辺における各年代の検地帳を分析して河川関係地名などを確認する。
- c 釜無川、荒川流域を灌漑する井堰(用水路)の引水地域を調査し、竜王信玄堤の築堤や釜無川、荒川の流路変遷が景観に及ぼした影響を確認する。

このうちaについては、竜王信玄堤(甲斐市)や下川除(同)、将棋頭(南アルプス市、韮崎市)、十六石(韮崎市)などを描いた県立博物館収蔵の絵図を調査した。bについては、検地帳から抽出するデータの内容を検討し、実際に作業に着手した。cについては、荒川右岸の旧敷島町地区を灌漑する一ノ堰(甲斐市)などの経路を確認するため、当該地域の地籍図を調査した。

(3) 個別調査・研究

職員の調査・研究成果

番号	調査・研究テーマ	概要	担当職員
1	館藏品「岩佐又兵衛様式曾我物語図屏風」に関する研究	岩佐又兵衛周辺で量産されたとみられる曾我物語図屏風について、制作された背景や特徴を考察する。	井澤英理子
2	山梨県における人と牛馬の関わり史	県内遺跡出土の牛馬骨を動物考古学的見地から再検討し、牛馬利用の諸側面とその変遷について明らかにする。	植月 学
3	内陸部における生業復元方法の研究	動植物遺存体の貧弱さを補う生業復元方法の開発や、海産物の流通からみた沿岸部との関わりなどの追究など、内陸部特有の生業研究の課題を解明する。	植月 学 中山誠二
4	博物館の環境整備に関する研究	博物館建設時からの環境整備について材料科学的な視点から調査研究を行う。	沓名貴彦
5	甲府城下町の道祖神祭礼と都市社会に関する研究	江戸時代の甲府城下町で催された道祖神祭礼の実態分析をおし、甲府城下町の特質を究明する。	高橋 修
6	中部高地における植物・穀物栽培の起源に関する研究	縄文時代の植物の痕跡を検出し、中部山岳地域の植物・穀物栽培の実態を明らかにする。	中山誠二
7	武田氏系図に関する研究	中世、近世につくられた甲斐源氏や武田氏に関する系図資料の成立状況を探るとともに、彼らの由緒がどのように形成され、受け継がれてきたのかを考察する。	西川広平



## 調査・研究活動

年 月 日	内 容	担当職員
平成19年4月23日(月)	大月市個人宅 上咲咲宿本陣関係資料6点を調査。	高橋 修
5月11日(金)	笛吹市個人宅 近世期の軍学書を調査。	高橋 修
5月13日(日)	笛吹市個人宅 「河野家資料」約3,000点を調査。資料整理中。	高橋 修
5月30日(水)	甲府市個人蔵 「萩原家資料」956点を調査。平成20年3月30日(日)まで整理を行い、目録を作成。	高橋 修
6月7日(木)	甲斐市常説寺所蔵の曼荼羅類34点を調査し、目録を作成(甲斐市教育委員会)。	高橋 修・井澤英理子
6月12日(火)	個人蔵「伝柳里卿画」を調査し、文字を解説。	高橋 修
6月13日(水)	山梨市個人蔵 「本朝相撲のおこり」を調査。	高橋 修
6月14日(木)	北杜市長坂町建岡神社及び千手観音堂の額2点を調査し、文字を解説。	高橋 修・沓名貴彦
6月14日(木)	北杜市個人蔵 「小澤家資料」98点を調査。平成19年8月28日(火)まで整理を行い、目録を作成。	高橋 修
7月19日(木) ～8月1日(水)	甲府市朝気遺跡出土馬骨の調査(甲府市教育委員会)。	植月 学
7月27日(金)	上野尻遺跡出土縄文土器の植物圧痕調査(福島県立博物館)。	中山誠二
8月1日(水)	甲府市個人蔵 「内藤家資料」2点を調査し、文字を解説。	高橋 修
8月9日(木)	東京都 思文閣東京支店 武田晴信書状等の調査。	西川広平
8月11日(土)	大月市個人蔵 「井上家資料」5点を調査し、文字を解説。	高橋 修
8月25日(土)	山梨市個人蔵 「向山家資料」283点を調査。平成20年3月11日(火)まで整理を行い、目録を作成。	高橋 修
8月28日(火)	中央市個人蔵 「小池家資料」を調査。	高橋 修
9月12日(水) ～9月15日(土)	南西諸島における稲作の起源に関する調査(東海大学共同調査)。	中山誠二
9月24日(月)	中央市個人蔵 「土橋家資料」3点を調査し、文字を解説。	高橋 修
9月29日(土)	韮崎市個人蔵 「伝葛西晴信誓詞」1点を調査し、文字を解説。	高橋 修
9月29日(土)	南アルプス市個人蔵 「内藤家資料」559点を調査。平成20年2月24日(日)まで整理を行い、目録を作成。	高橋 修
10月5日(金)	京都府古美術商 木喰書画の調査。	近藤暁子
10月11日(木)	南巨摩郡身延町 「地場家資料」3点を調査し、文字を解説。	高橋 修
11月6日(火) 11月7日(水)	奈良県大和郡山市 柳沢文庫 柳沢氏系図の調査。	西川広平
11月18日(日)	山形県酒田市 酒田市立資料館 「道祖神祭幕」を調査。	高橋 修
11月20日(火)	甲斐市間々下遺跡出土馬骨の調査(甲斐市教育委員会)。	植月 学
11月28日(木)	東京都 東京国立博物館 国絵図関係文献及び都市祭礼文献の調査。	高橋 修
12月4日(火)	東京都 古美術商 曾我物語図屏風の調査。	井澤 英理子
12月13日(木)	青梅市駒木野遺跡出土植物圧痕調査(青梅市郷土博物館)。	中山誠二
12月13日(木)	甲州市 涌泉寺蔵 木食白道資料調査。	近藤暁子
12月14日(金)	甲州市 地藏堂 木食白道資料調査。	近藤暁子
12月14日(金)	農業生物資源センター・マメ科植物調査。	中山誠二
12月16日(日) ～12月19日(水)	北海道所在 木食白道資料調査。	近藤暁子・沓名貴彦
12月21日(金)	大月市個人蔵 木食白道資料調査。	近藤暁子
平成20年1月16日(水)	甲州市個人蔵・福蔵院蔵 木食白道資料調査。	近藤暁子
1月18日(金)	奈良県大和郡山市 柳沢文庫 「甲州雑記」及び「甲斐国絵図」を調査。	高橋 修
1月18日(金)	東京都 浮世絵太田記念美術館 歌川広重スケッチの調査。	井澤 英理子
1月25日(金)	甲府市個人蔵 「村松家資料」4点を調査し、文字を解説。	高橋 修
1月29日(火)	東京都 個人宅 土屋家伝来槍1口の調査。	西川広平
2月2日(土)	栃木県鹿沼市 柗窪薬師堂諸像調査。	井澤英理子・近藤暁子
2月8日(金)	富士吉田市 個人宅 猿橋模型の調査。	中山誠二・西川広平
2月15日(金)	甲府市 個人宅 木食白道自伝1点の調査。	近藤暁子・西川広平
2月24日(日)	早川町 京ヶ島村絵図(斎藤家資料)に基づく現地景観の調査。	西川広平
3月1日(土)	南巨摩郡身延町個人蔵 「秋山家資料」3点を調査し、文字を解説。	高橋 修
3月9日(日)	甲州市 個人宅 所蔵古文書の調査。	西川広平
3月16日(日)	韮崎市 苗敷山穂見神社の石造物・遺構等の調査(韮崎市教育委員会)。	西川広平

## (4) 調査・研究成果の公表

博物館主催シンポジウム・講演会における職員の発表

第 編第5章(1)51頁参照

博物館職員の調査・研究実績  
論文・調査報告など

氏名	名 称	掲 載 誌 名	学会（発行者）	発行年月日
井澤英理子	甲斐の国ゆかりの浮世絵	『北斎と広重 ふたりの富嶽三十六景』	山梨県立博物館	平成19年10月13日
井澤英理子	『甲州日記』の研究史と原形について、「広重のスケッチとその活用」「甲府道祖神祭幕絵の制作」	『山梨県立博物館調査・研究報告 3 歌川広重の甲州日記と甲府道祖神祭調査研究報告書』	山梨県立博物館	平成20年3月31日
植月 学	動物遺体	『東京都北区 中里峡上遺跡』	大成エンジニアリング株式会社	平成19年6月30日
植月 学	縄文前期の生業、環境と定住性	『日本の美術』 No.496	至文堂	平成19年9月15日
植月 学	甲州周辺における狼信仰 - 笛吹市御坂町に伝わるニホンオオカミ頭骨をめぐって -	『山梨県立博物館研究紀要』2	山梨県立博物館	平成20年3月31日
植月 学	笛吹市石動遺跡より出土した動物遺体	『石動遺跡』	笛吹市教育委員会	予定
植月 学	諏沢河岸跡 8 区出土の動物遺体	『諏沢河岸跡』	山梨県教育委員会	平成20年3月31日
植月 学	間々下遺跡・お舟石古墳出土の馬骨について	『甲斐市文化財調査報告第13集 間々下遺跡・お舟石古墳』	甲斐市教育委員会	予定
高橋 修	近世甲斐国絵図論序説 - 山梨県立博物館収蔵の甲斐国絵図との対話 -	『山梨県立博物館研究紀要』2	山梨県立博物館	平成20年3月31日
高橋 修	江戸時代の甲斐国像と富士山 - 甲斐国絵図についての試論 -	『北斎と広重 ふたりの富嶽三十六景』	山梨県立博物館	平成19年10月13日
高橋 修	『甲州日記』の年代比定について、「甲府道祖神祭礼と歌川広重の関わり」	『山梨県立博物館調査・研究報告 3 歌川広重の甲州日記と甲府道祖神祭調査研究報告書』	山梨県立博物館	平成20年3月31日
高橋 修	山梨県立博物館ジオラマの楽しみ方 8 - 19 (連載)	『まちミュージアムの会報』28 - 39	特定非営利活動法人つなく	平成19年3月 - 平成20年3月
石神孝子 (山梨県埋蔵文化財センター) 高橋 修・西川広平	平成18年度 山梨県地方史研究の動向	『信濃』59 - 6	信濃史学会	平成19年6月1日
中山誠二 他	レプリカ・セム法による圧痕土器の分析 2 - 山梨県上ノ原遺跡、酒呑場遺跡、中谷遺跡 -	『山梨県立博物館研究紀要』2	山梨県立博物館	平成20年3月31日
中山誠二 他	山梨県酒呑場遺跡の縄文時代中期の栽培ダイズGlycine max	『山梨県立考古博物館・埋蔵文化財センター研究紀要』24	山梨県立考古博物館・埋蔵文化財センター	平成20年3月31日
西川広平	幻の川中島合戦	『大河ドラマ特別展 風林火山・信玄・謙信、そして伝説の軍師』	NHK NHKプロモーション	平成19年4月5日
西川広平	「富嶽三十六景」千住宿の三枚の錦絵	『北斎と広重 ふたりの富嶽三十六景』	山梨県立博物館	平成19年10月13日
西川広平	武田氏系図の成立	『中世武家系図の史料論』	高志書院	平成19年10月20日
西川広平	南松院所蔵武田氏系図について - 武田氏系図成立の一考察 -	『山梨県立博物館研究紀要』2	山梨県立博物館	平成20年3月28日
西川広平	新府城の築城と地域社会 城郭普請をめぐって	『新府城の歴史学』	新人物往来社 ( 韮崎市・韮崎市教育委員会編集 )	平成20年3月31日
近藤暁子	山梨の木喰仏	『生誕290年木喰展 庶民の信仰 - 微笑仏』	神戸新聞社	平成19年
沓名貴彦	建築前から博物館を考える	『PASSION』Vol.31	金剛株式会社	平成19年11月
沓名貴彦	中久堰遺跡出土の発泡物質の分析について	『山梨市文化財報告書第11集 中久堰遺跡』	山梨市	平成20年3月28日
沓名貴彦	諏沢河岸跡 8 区出土の元禄 判金ほかの分析について	『諏沢河岸跡』	山梨県教育委員会	平成20年3月31日
沓名貴彦	甲府城下町遺跡出土の土器片の分析について	『甲府市内遺跡』	甲府市教育委員会	平成20年3月31日
沓名貴彦	甲斐市お船石古墳周溝内より出土須恵器短頸壺底部に付着の黒色物質の分析について	『甲斐市文化財報告書第13集 間々下遺跡・お船石古墳』	甲斐市教育委員会	予定

講演・シンポジウムなど

氏名	名 称	シンポジウム名・学会名	場 所	開催年月日
井澤英理子	武田氏関係の絵画作品と武田信廉	歴史と文化を学ぶ会	県立文学館	平成20年1月12日(土)
井澤英理子	北斎と広重の富嶽三十六景 - 二人が描く甲斐の裏富士 -	JR東日本人の休日・ジバング倶楽部「趣味の会」講座	JR東日本人の休日サロン	平成20年2月29日(金)
植月 学・伊藤正彦 (甲府市教育委員会) 大高正之 (甲斐市教育委員会)	山梨県における古代のウマ埋葬	第11回動物考古学研究会	国立歴史民俗博物館	平成19年12月1日(土)
植月 学	縄文人の食生活 - 貝塚出土の動物遺体を中心として	研究発表会『市川の縄文貝塚を考える』	市立市川考古博物館	平成20年3月16日(日)
沓名貴彦	新規薬剤処理装置を導入した燻蒸システム	文化財保存修復学会第29回大会	静岡市民文化会館	平成19年6月16日(土) 17日(日)
沓名貴彦	甲斐金山遺跡における金製錬技術に関する新たな発見	湯之奥金山博物館平成19年度公開講座	湯之奥金山博物館	平成20年1月19日(土)
沓名貴彦	山梨県における博物館ネットワーク活動とその取り組み	第12回中・四国九州保存修復研究会	福岡市埋蔵文化財センター	平成20年2月23日(土) 24日(日)
高橋 修	武田氏関係古文書を通して歴史を探る	すその路郷土研究会	富士吉田市立富士吉田コミュニティセンター	平成19年10月20日(土)
高橋 修	甲府道祖神祭礼の成立と展開 - 甲府道祖神祭礼と歌川広重日記 -	幕藩研究会	マイスペース高田馬場	平成19年11月9日(金)
高橋 修	甲府道祖神祭礼と歌川広重日記	山梨民俗研究会	山梨県立博物館	平成19年11月10日(土)

氏名	名称	シンポジウム名・学会名	場所	開催年月日
高橋 修	甲府道祖神祭礼論 - 再発見された歌川広重「甲州日記」との対話をとおして -	東北近世史研究会	仙台市民会館	平成19年11月17日(土)
高橋 修	江戸時代の甲州旅行 - 歌川広重の甲州旅行を中心に -	山梨再発見講座「甲斐の古道」(山梨県生涯学習推進センター主催)	山梨県生涯学習推進センター	平成19年12月6日(木)
高橋 修	初心者のための古文書解読講座(4回連続)	笛吹市民講座	一宮図書館	平成20年2月1日(金)・8日(金)15日(金)・22日(金)
高橋 修	歌川広重が楽しんだ甲府城下町の文化	J R 東日本大人の休日・ジバング倶楽部「趣味の会」講座	J R 東日本大人の休日サロン	平成20年3月14日(金)
高橋 修	平成19年度J MMA 特別事業「利用者研究のすずめ - ミュージアム分析法の構築を目指して -」パネリスト	日本ミュージアム・マネージメント学会	東京国立博物館	平成20年3月18日(火)
高橋 修	江戸時代の甲州食べ物紀行	J R 東日本大人の休日・ジバング倶楽部「趣味の会」講座	J R 東日本大人の休日サロン	平成20年3月28日(金)
中山誠二	"The beginning and spread of rice cultivation in the Japanese archipelago."	Society for American Archaeology	Austin	平成19年4月26日(木)
中山誠二	中部高地の弥生時代集落とその景観変化	中部弥生研究会	南山大学	平成19年6月17日(日)
中山誠二	山梨県におけるレプリカ・セム法による植物圧痕の事例	九州古代種子研究会	椎葉民俗芸能博物館	平成19年9月23日(日)
中山誠二	関東・中部地方の植物遺存体からみた植物栽培の開始	日本考古学協会	熊本大学	平成19年10月21日(日)
西川広平	武田氏の雑兵たち	甲府城下町を語る記念講演	山梨県立総合女性センター	平成19年4月22日(日)
西川広平	山本勘助	山梨学芸懇話会	甲府市北公民館	平成19年4月28日(土)
西川広平	山本勘助の実像	J R 東日本大人の休日・ジバング倶楽部「趣味の会」講座「風林火山の世界」講座	大人の休日サロン(東京都中央区)	平成19年6月26日(火)
西川広平	戦国大名と足軽たち	栄区テレビセミナー	地球市民かながわプラザ(横浜市栄区)	平成19年7月4日(水)
西川広平	武田二十四将	かふふ歴史倶楽部(甲府市教育委員会主催)	甲府市総合市民会館	平成19年7月5日(木)
西川広平	山本勘助をめぐる	東洋大学交友会	岡島ロイヤル会館	平成19年7月7日(土)
西川広平	信玄と謙信	J R 東日本大人の休日・ジバング倶楽部「趣味の会」講座「風林火山の世界」講座	大人の休日サロン(東京都中央区)	平成19年7月10日(火)
西川広平	市河文書と伝説の軍師山本勘助	歴史と文化を学ぶ会	山梨県立文学館	平成19年7月14日(土)
西川広平	戦国大名と足軽たち	あやせテレビセミナー(綾瀬市教育委員会主催)	綾瀬市役所(神奈川県綾瀬市)	平成19年8月5日(日)
西川広平	川中島合戦を考える	J R 東日本大人の休日・ジバング倶楽部「趣味の会」講座「風林火山の世界」講座	大人の休日サロン(東京都中央区)	平成19年8月7日(火)
西川広平	実力の世紀	J R 東日本大人の休日・ジバング倶楽部「趣味の会」講座「風林火山の世界」講座	大人の休日サロン(東京都中央区)	平成19年9月4日(火)
西川広平	宿場と街道・戦国、江戸時代の交通史 -	山梨再発見講座「甲斐の古道」(山梨県生涯学習推進センター主催)	山梨県生涯学習推進センター	平成19年11月15日(木)
近藤暁子	仏像の見方	武田の里学び塾(韮崎市)	韮崎市民会館	平成19年10月24日(水)
近藤暁子	仏像の見方	山梨県市町村文化財審議会委員研修会	玉穂生涯学習館	平成19年10月26日(金)
近藤暁子	仏像の見方と歴史的価値	文化協会郷土研究部(八代町)	八代総合会館	平成20年2月22日(金)

県立博物館館内研究会

日時	報告者	内容
平成19年7月4日(水)	沓名貴彦	館内の空調システムとその安定性について
8月14日(火)	高橋修	甲府道祖神祭礼論序説 - 歌川広重の甲州日記との対話を通して -
11月15日(木)	中山誠二	植物考古学から見た植物・穀物栽培の起源
12月5日(水)	西川広平	系図は語る - 南松院所蔵武田氏系図の分析 -
平成20年1月30日(水)	沓名貴彦	甲斐金山遺跡における金の製・精錬技術について
2月20日(水)	小畑茂雄	山梨県水害罹災者の北海道団体移住地について

刊行物

名称	発刊日	体裁
『山梨県立博物館研究紀要』第2集	平成20年3月28日	A4版、92頁
『山梨県立博物館調査・研究報告2 古代の交易と道 研究報告書』	平成20年3月31日	A4版、111頁
『山梨県立博物館調査・研究報告3 歌川広重の甲州日記と甲府道祖神祭 調査研究報告書』	平成20年3月31日	A4版、97頁

全て山梨県立博物館編集・発行である。

### 第3章 資料の収集・保管・活用

#### (1) 資料収集の方針

##### 資料収集の方針

山梨県立博物館における資料収集は、博物館の基本テーマである「山梨の自然と人」に関わるものを中心とする（山梨県立博物館の資料収集及び資料・情報の活用に関する要綱）。具体的には、以下の性格を有する資料を収集の対象とする。

絵画、彫刻、工芸品、書籍、典籍、古文書その他の有形の文化的所産で山梨県にとって歴史上または芸術上価値の高いもの並びに考古資料及びその他の学術上価値の高い歴史資料。

衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗慣習、民俗芸能及びこれらに用いられる衣服、器具、その他の物件で県民の生活推移の理解のために欠くことのできないもの。

言葉、音楽、民間伝承、工芸技術等の無形のもので山梨県の文化の理解に欠くことのできないもの。

動物、植物及び地質鉱物で山梨県にとって前の項目と深い関わりのあるもの。

収集の対象とする資料のうち、その収集が困難なものについては、当該資料に係る模型、模造、模写、複製若しくは当該資料に関する図書、文献、調査資料その他必要な資料を収集することとしている。

収集にあたっては、上記要綱のほか「山梨県立博物館の資料収集に関する要領」に従って収集を進めている。

##### 資料・情報委員会

資料の収集の適否等について審議し、収集した資料、情報の活用について協議する「資料・情報委員会」を設置、開催している。

委員会は、7名の委員により構成されており、歴史、考古、民俗、美術工芸、情報工学等に関する高度な専門的知見を有する者の中から、山梨県立博物館長が選任している。

##### 資料・情報委員会委員名簿（五十音順、敬称略）

氏名	勤務先・役職等	専門分野
安達 文夫	国立歴史民俗博物館教授	情報工学
飯田 文彌	山梨県史編さん委員会近世部会長	歴史学
大塚 初重	元山梨県立考古博物館館長	考古学
清雲 俊元	山梨郷土研究会理事長	歴史学
笹本 正治	信州大学教授	歴史学
濱田 隆	元山梨県立美術館長	美術史
堀内 眞	富士吉田市歴史民俗博物館学芸員	民俗学

##### 平成19年度の資料情報委員会開催状況

- ・平成19年8月22日（水） 第3回委員会を開催  
12件の収集候補資料の審議、3件の資料について収集の方針を検討したほか、資料の利用者公開のあり方について検討した。
- ・平成19年9月25日（火） 第4回委員会（書類審議）を開催  
2件の収集候補資料についての審議を行った。
- ・平成20年3月27日（木） 第5回委員会を開催  
18件の収集候補資料の審議、3件の資料について収集の方針を検討したほか、資料の利用者公開のあり方について検討した。

#### (2) 資料の収集

今年度に収集した資料は、次表の通りである。

##### 購入

	資料名	特徴	制作期	員数
1	吾妻鏡（寛永3年版）	鎌倉幕府の歴史を記録した史書。源平の争乱から幕府成立期にかけての甲斐源氏の活躍も数多く記されている。成立以来、各種の写本・版本が流布しているが、本資料は、江戸時代以降の版本としては比較的早い時期のもの。	寛永3年（1626）	25冊
2	甲斐御嶽御坂図（竹邨三陽筆）	天保14年（1843）頃に開鑿された御嶽新道（御嶽昇仙峡）の渓谷風景二幅と、御坂峠から富士と河口湖を望む景観一幅の三幅対。甲府横近習町の南画家で竹邨三陽の筆になる。	嘉永5年（1852）	3幅
3	富士山牛玉	富士山に來迎する阿彌陀三尊像を中心に描いた絵札のことを一般に「富士山牛玉」という。中央の蓮華上に宝珠を含む模様化された「富士山」の文字を配し、その両側を二本の線で区画し、稜線の中央にあるべき山頂の姿が不明瞭であるのは、江戸時代も前期に遡る古い形式に属するものである。	江戸時代	1枚
4	明治40年8月山梨県大水害復旧工事写真	明治四十年の大水害の復旧工事の完成状況を撮影した写真。被写体になっているのは、北巨摩郡方面のうち釜無川右岸の地域の治水施設。	明治40年（1907）以後	12枚

	資料名	特 徴	制作期	員数
5	富嶽百景 (葛飾北斎筆)	「富嶽三十六景」について北斎が手がけた富士のシリーズの初版本。場所や時間、天候などによって多様に変化する富士の姿を中心に、富士講や故事にまつわる画題も交え、100余りの富士図で構成されている。	天保5～6年 (1834～5)	3冊
6	富士見百図 (歌川広重筆)	江戸、武蔵、相模、甲斐、伊豆、駿河、安房、上総、下総、信濃から見える富士の景色を描いた20図の版本。序文に北斎の富士図に対する批判と、自らの描く姿勢が記されている。	嘉永5年 (1852)	1冊

## 寄 託

	資料名	特 徴	制作期	員数
1	南松院文書 (山梨県指定文化財)	穴山信友夫人の菩提寺南松院に伝わる古文書。穴山氏から南松院および末寺に宛てられた、寺領を保證する文書や、京都妙心寺と南松院との末寺関係に関わる文書が中心となっている。	中世～近世	4,626点
2	大般若経 (山梨県指定文化財)	河内与五沢の曹溪庵の聡源、希徳らが書写。穴山信友が修補して天輪寺に奉納。信友の嫡子信君が母の菩提寺南松院に納めた。	中世	
3	法華経 (山梨県指定文化財)	南松院の所持品とされる女性用の小型の経本。	応仁元年 (1467)	
4	古屋家資料	現山梨市の市川村の名主をつとめた古屋家に伝わった資料。近世から近代にかけての村政にかかわるもの	近世～明治	2,190点
5	深沢丈一筆 焼畑農事日記	奈良田居住の故深沢丈一氏が、自らの焼畑耕作の記録を綴った日記。15年周期で焼畑が行われていた様子がわかる。	大正11年 (1922)～ 昭和17年 (1942)	1冊

## (3) 資料の整理・目録(データ)化

平成19年度は、新規収集した資料に加え、平成17年度に県立図書館より移管した資料(約85,000点)の整理と、目録(データ)化する作業を進めている。県立図書館移管資料については、平成23年度までの完了を目標として作業を進めている。また、登録データの公開作業も随時進めている。

## 資料の整理

新規に収集した未整理の資料について、保管容器への収納、ナンバリングを行う作業である。平成19年度は、引き続き職員による作業を進めているほか、10～12月、2～3月の2回整理作業員を雇用し、新規収集資料及び移管資料の整理を実施した。

## 収蔵資料のマイクロ化・デジタル化

県立図書館から移管した資料のうち、利用頻度が高い「甲州文庫」については、利便性を高めるため、平成16～17年度事業としてマイクロフィルムによる撮影、デジタル画像の作成を行い、全体の約9割が完了した。残りの資料については、さらに18～19年度の2ヶ年でマイクロ化・デジタル化を行うこととした。

本事業によって、甲州文庫資料のうち、古文書・図書・新聞雑誌類については、ほぼすべての資料のデジタル画像を公開できる。

作業期間：平成19年12月～平成20年3月 (株)ニチマイに委託

撮影点数：1,073点(25,018コマ)

## 図書資料のデータ登録

収集した図書・雑誌類のデータ登録を、職員により随時行っている。平成20年3月現在の登録件数は22,905点となっている。

## (4) 資料の修復・管理

## 資料の修復

## 修復資料

- ・「甲州道中図屏風」六曲一双 各 縦176.0×横368.0cm

## 資料の重要性

甲州道中図屏風は、江戸から甲州道中、身延道を経て東海道に出て箱根までの旅程を描いた稀少な資料として、県指定文化財に指定されており、様々な活用が可能な資料である。

## 修復者及び修復作業所

(株)墨仁堂 静岡県静岡市葵区大岩1-4-4

## 修復の内容

下地の歪み、蝶番の破損があることから、表貼をすべて除去し、下地の歪みを調整した。本紙の汚損をクリーニングし、絵具の剥落留めを行った。旧状の保存を優先し、金箔押紙、裏貼唐紙、蝶番金紙、下地、縁、縁裂などは、修理して元使いした。また、一部に本紙の表面同士が付着して、反対の面に絵が移っている箇所があったが、高湿にして少しずつ剥がして元に戻すことができ、見えなくなっていた絵が現れた。



修理前



修理後

資料の保存環境管理

博物館では、資料を後世に伝えるために高いレベルで環境管理を行っている。これは、資料の物理的、化学的、生物的な劣化を防ぐためである。以下に、管理項目とその内容について示す。

温湿度管理

山梨県立博物館では文化財の収蔵・展示のため、精度の高い温度・湿度管理を行っている。収蔵庫は24時間空調を行い、展示室については深夜電力による蓄熱時間を除く間（8時～22時）空調を行っている。これらの管理は中央監視室にて監視し、毛髪式自記記録計及びデータロガーによる温度・湿度の計測を行っている。

展示ケースについても、エアタイトケースと呼ばれるケースについては調湿剤を使用して湿度のコントロールを行うとともに、毛髪式自記記録計、データロガーによる温度・湿度の計測を行っている。

空気質管理

空気質については、化学吸着フィルターと呼ばれるフィルターを収蔵庫、展示室の空調設備に設置し、外気及び循環気に含まれる有害ガスの除去を行っている。

照明

館内の照明のうち収蔵庫及び展示室内の照明には紫外線が極力発生しないものを用いている。特に紫外線が多く発生する蛍光灯は、美術・博物館用と呼ばれる紫外線吸収膜付の高演色形の蛍光灯を使用している。また、他の照明では各種ハロゲンランプを用いている。

また、照度は資料の材質や状態に合わせて管理を行っており、浮世絵や染織品のような非常に脆弱なものは80ルクス以下、土器や金属器等あまり注意しなくてよいものは150ルクス程度の照明を行っている。

生物被害管理

燻蒸庫に入らない大型資料のために一次収蔵庫において燻蒸を行った。期間は9月24日から9月28日である。燻蒸ガスにはエキヒュームSを使用した。(財)文化財虫害研究所の判定結果により、虫・菌共に充分効果があったことが示された。資料個別に対する燻蒸については適宜燻蒸庫で行った。

(5) 資料の活用

山梨県立博物館では、収集した貴重な資料を後世に残し、将来を見通した利用を保障することを資料取り扱いの基本と考えている。保存に十分配慮した上で、資料を公開し、県民、博物館利用者の学習や調査研究等に活用するために、資料、情報の提供を行っている。

今年度は、調査研究のための原資料閲覧が、古文書等を中心として34件412点あった。

撮影は展示図録への掲載、調査研究などの目的で23件、130点あり、書籍等への掲載、テレビ番組での使用などの資料写真の貸出は、157件413点となっている。

また、県内外の博物館等での展示利用のために、5件87点の館外貸出を行った。

平成19年度歴史資料等利用状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
歴史資料等閲覧	件数	4件	3件	1件	2件	4件	3件	3件	4件	3件	0件	3件	4件	34件
	点数	81点	24点	2点	13点	29点	8点	17点	20点	19点	0点	84点	115点	412点
歴史資料等撮影	件数	0件	0件	2件	1件	6件	4件	5件	2件	2件	0件	0件	1件	23件
	点数	0点	0点	6点	2点	69点	32点	9点	2点	6点	0点	0点	4点	130点
歴史資料等使用 (フィルム使用等)	件数	12件	19件	15件	7件	11件	9件	17件	12件	14件	13件	11件	17件	157件
	点数	51点	33点	20点	7点	16点	17点	59点	53点	35点	66点	17点	39点	413点
歴史資料等貸出	件数	0件	0件	0件	0件	1件	0件	1件	0件	0件	1件	0件	2件	5件
	点数	0点	0点	0点	0点	13点	0点	2点	0点	0点	3点	0点	69点	87点

## 第4章 展 示

## (1) 常設展示

## 展示資料一覧

## ・ 展示期間

平成19年5月30日(火)から平成19年7月29日(日)まで

平成19年7月31日(火)から平成19年10月8日(月)まで

平成19年10月10日(水)から平成19年12月16日(日)まで

平成19年12月18日(火)から平成20年2月24日(日)まで

平成20年2月26日(火)から平成20年4月21日(月)まで

- ・ 時代については、複製品は原資料の製作年代を記した。
- ・ 所蔵者については、複製品は( )内に原資料所蔵者を記した。
- ・ 指定については、 は国指定重要文化財、 は県指定文化財、 は市町村指定文化財とした。なお、複製品は原資料の指定を記した。
- ・ 絵画・古文書等、脆弱な資料の展示期間が複数にわたる場合は、その都度頁替え、巻替などを行っている。
- ・ 平成19年5月28日(日)以前の展示資料については平成18年度年報参照。

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
自然の森の中で				
桂野遺跡渦巻文土器	縄文中期	笛吹市教育委員会		
釈迦堂遺跡渦巻文土器	縄文中期	釈迦堂遺跡博物館		
縄文土器片、石器	縄文中期	山梨県立考古博物館		
甲斐の誕生				
甲斐国分寺瓦(鬼瓦)	奈良	笛吹市教育委員会		
甲斐国分寺瓦(平瓦・丸瓦)	奈良	笛吹市教育委員会		
甲斐国分尼寺墨書土器	奈良	笛吹市教育委員会		
郷名墨書土器「石木東」	平安	笛吹市教育委員会		
郷名墨書土器「玉井郷長」	平安	笛吹市教育委員会		
刻書土器「甲斐国山梨郡大野郷」(複製)	奈良	山梨県立博物館(佐久市教育委員会)		
刻書土器「甲斐国山梨郡表門」	奈良	甲府市教育委員会		
寺本廃寺 瓦	白鳳	笛吹市教育委員会		
天狗沢瓦窯跡 瓦	白鳳	甲斐市教育委員会		
平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡(複製)	奈良	山梨県立博物館(奈良文化財研究所)		
平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡(複製)	奈良	山梨県立博物館(奈良文化財研究所)		
平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡(複製)	奈良	山梨県立博物館(奈良文化財研究所)		
平城京出土木簡 習書・戯画木簡(複製)	奈良	山梨県立博物館(奈良文化財研究所)		
平城京出土木簡 山梨郡貢進物付札木簡(複製)	奈良	山梨県立博物館(奈良文化財研究所)		
平城京出土木簡 山梨郡貢進物付札木簡(複製)	奈良	山梨県立博物館(奈良文化財研究所)		
平城京出土木簡 山梨郡養物銭荷札木簡(複製)	奈良	山梨県立博物館(奈良文化財研究所)		
甲斐国印(推定復元)	奈良	山梨県立博物館(正倉院宝物)		
正倉院文書「甲斐国司解」(複製)	奈良	山梨県立博物館(正倉院宝物)		
東畑遺跡金銅仏	奈良	甲府市教育委員会		
正倉院文書「駿河国正税帳」(複製)	天平10年(738)	山梨県立博物館(正倉院宝物)		
甲斐の黒駒				
大塚古墳出土横矧板鋸留短甲(複製)	古墳	山梨県立博物館(市川三郷町教育委員会)		
狐原遺跡 焼印	平安	上野原市教育委員会		
古柳塚古墳 馬具	古墳	笛吹市教育委員会		
塩部遺跡 馬下顎骨	古墳	山梨県立考古博物館		
伝豊富村 衝角付冑(複製)	古墳	山梨県立博物館(東京国立博物館)		
伝豊富村 盾庇付冑(複製)	古墳	山梨県立博物館(東京国立博物館)		
中田遺跡 鈴		葦崎市教育委員会		
平林2号墳 馬具	古墳	山梨県立考古博物館		
平林2号墳太刀、鉄鍬一括	古墳	山梨県立考古博物館		
平城京出土木簡 通行証明木簡(過所木簡)(複製)	奈良	山梨県立博物館		
宮間田遺跡「牧」墨書土器	平安	北杜市教育委員会		
湯沢遺跡 鈴	平安	北杜市教育委員会		
正倉院文書「駿河国正税帳」(複製)	天平10年(738)	山梨県立博物館(正倉院宝物)		

第 編 事業・諸活動

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
水に取り組む				
雨乞雨晴祈願の祓詞 下条南割村堤防絵図面（千野家資料） 水盛町見井川除普請等其他種々術書 将棋頭分見絵図 徳島堰筋絵図 徳島堰当辰春定式御普請出来形帳 徳島平左衛門二百遠忌曼荼羅 算法地方大成 甲斐国中首濫鯉書 雨乞いの仏像 塩部遺跡 木製人形 石尊祭の糞束 測量器（複製） 墨書土器「水神」 宮沢中村遺跡網代護岸 御幸祭川除の石	江戸 明治2年（1869）  安政3年（1856） 明治17年（1884） 天保8年（1837） 江戸  平安 平成14年（2002） 江戸 平安 鎌倉 平成15年（2003）	山梨県立博物館 山梨県立博物館 山梨県立博物館 山梨県立博物館 山梨県立博物館 山梨県立博物館 山梨県立博物館 清水寺 山梨県立考古博物館 山梨県立博物館 山梨県立博物館（個人） 忍野村教育委員会 山梨県立考古博物館 山梨県立博物館		
戦国からのメッセージ				
織田信長禁制（三井家資料） 武田信莞判物（三井家資料） 武田晴信感状（三井家資料） 織田信長禁制（今沢家資料） 勝山古記（勝山記写本） 妙法寺記 平成18年度筒粥占標（小室浅間神社） 平成19年度筒粥占標（小室浅間神社） 筒粥神事の道具	天正10年（1582）  弘治3年（1557） 天正10年（1582） 江戸 江戸 平成18年（2006） 平成19年（2007） 昭和	個人 個人 個人 山梨県立博物館 個人 山梨県立博物館 山梨県立博物館 山梨県立博物館		
山に生きる				
田辺家先祖書（田辺家資料） 山の生業の道具を象った小正月のツクリモノ 武田家朱印状（田辺家資料） 材木伐出図巻 江戸城西之丸御用絵板（佐野家資料） 佐野山御小屋見取図（甲州文庫） 穴山信君判物（佐野家資料） 焼畑農事日記 検地帳（斉藤家資料） 新倉山・奈良田山材木運上差出請負願 枅・焼き鋺 大鋸 甲斐叢記 甲州金（一分金）（甲州文庫） 焼畑衣装（再現品）	江戸 現代 天正9年（1581） 江戸 19世紀 天保9年（1838） 江戸 天正8年（1580） 大正 江戸 延宝2年（1674） 近代 昭和 江戸 19世紀 江戸 昭和	山梨県立博物館 山梨県立博物館 山梨県立博物館 山梨県立博物館 個人 山梨県立博物館 個人 個人 山梨県立博物館 山梨県立博物館 山梨県立博物館 山梨県立博物館 山梨県立博物館 山梨県立博物館 山梨県立博物館		
里にくらす				
おかぶと（上野晴朗氏収集資料） おかぶと（上野晴朗氏収集資料） 市川村ボウシャ病流行日記（頼生文庫） 荒物値段書上（甲州文庫） 関流算術乗除開 富札 富仕法書 城古村絵図 煙草包装紙 市川通覧 木綿値段書上控 煙草庖丁 煙草箱（甲州文庫） 千野村絵図（複製） 軍馬帽 馬ブラシ 馬ブラシ 草鞋 草鞋 馬草鞋	江戸 19世紀末    江戸 明治 明治22年（1889） 大正5年（1916） 享保9年（1724） 昭和 明治 江戸 19世紀 昭和	山梨県立博物館 山梨県立博物館 山梨県立博物館 山梨県立博物館 山梨県立博物館 山梨県立博物館 山梨県立博物館 山梨県立博物館 山梨県立博物館 山梨県立博物館 山梨県立博物館 山梨県立博物館 山梨県立博物館 山梨県立博物館 山梨県立博物館 山梨県立博物館 山梨県立博物館		
城下町の賑わい				
満寿屋記録集（甲州文庫） 大黒屋ちらし（上野晴朗氏収集資料） 町中犬改の帳（甲州文庫） 犬子毛色書上（甲州文庫） 馬毛付年付尺付改帳（甲州文庫）	江戸 江戸 江戸 江戸 江戸	山梨県立博物館 山梨県立博物館 山梨県立博物館 山梨県立博物館 山梨県立博物館		



資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
甲府城絵図	江戸	山梨県立博物館		
菓子配合控	文久元年(1861)	山梨県立博物館		
稲荷曲輪出土瓦	17世紀頃	山梨県立博物館		
御免出札詰		山梨県立博物館		
御免突富興行記		山梨県立博物館		
道祖神祭礼の心得につき達	明治4年(1871)	山梨県立博物館		
甲府城平面之図	明治	山梨県立博物館		
甲州道中道法(福島家資料)	江戸	個人		
菓子配合控(甲州文庫)	江戸	山梨県立博物館		
大黒屋ちらし		山梨県立博物館		
盆石の道具(大木家資料)		山梨県立博物館		
馬毛付年付尺付改帳(甲州文庫)	江戸	山梨県立博物館		
犬子毛色書上(甲州文庫)	江戸	山梨県立博物館		
町中犬改の帳(甲州文庫)	江戸	山梨県立博物館		
八日町高札立替につき達(甲州文庫)	明治	山梨県立博物館		
甲府城跡出土鱗瓦	江戸	山梨県立考古博物館		
高札	明治	山梨県立博物館		
甲府上水木簡		甲府市水道資料館		
数寄屋曲輪出土大型円形瓦	安土桃山 16世紀	山梨県立考古博物館		
本丸出土花菱紋瓦	江戸	山梨県立考古博物館		
輪宝	江戸 17世紀	山梨県立考古博物館		
変貌する景観				
堀田本 七十一番職人歌合	江戸	山梨県立博物館		
七十一番職人歌合	江戸	山梨県立博物館		
野口酒造ビールラベル(甲州文庫)		山梨県立博物館		
職人絵尽(大木家資料)	大正	山梨県立博物館		
離縁状	江戸	山梨県立博物館		
大木機織工場写真		山梨県立博物館		
大木機織工場図		山梨県立博物館		
野口酒造ビールちらし	明治	山梨県立博物館		
離縁状之事	万延元年(1860)	山梨県立博物館		
差出申離縁状之事	江戸	山梨県立博物館		
山梨県名勝図	明治	山梨県立博物館		
山梨県甲府各家商業便覧	明治18年(1885)	山梨県立博物館		
ビール醸造開業広告	明治	山梨県立博物館		
絹糸(蘭糸検査事務所資料)	現代	山梨県立博物館		
山蘭の糸(蘭糸検査事務所資料)	現代	山梨県立博物館		
甲府勸業試験場出土ワイン瓶	明治	山梨県立考古博物館		
信仰の足跡				
聖観音菩薩像	鎌倉(頭部)	山梨県立博物館		
役行者像(複製)	平安 12世紀	山梨県立博物館(円楽寺)		
甲斐勝沼柏尾経塚出土経筒(複製)	康和5年(1103)	山梨県立博物館(東京国立博物館)		
金峰山出土品(釘、古銭、鏡、雑鎌)	平安 明治	甲府市教育委員会		
蔵王権現立像	平安 12世紀	山梨県立博物館		
地藏菩薩立像	乾元2年(1303)	個人		
富士山五合五勾経ヶ岳出土経巻(複製)	平安	山梨県立博物館(個人)		
愛染明王坐像(複製)	平安 12世紀	山梨県立博物館(放光寺)		
韋駄天像	南北朝	個人		
甲斐を駆ける武士たち				
小桜韋威鎧 兜・大袖付(楯無鎧) 復元品	平安・鎌倉	山梨県立博物館(菅田天神社)		
源平合戦図屏風	江戸 17世紀	山梨県立博物館		平成19年11月28日 ~12月16日
土佐光起筆 武田信玄・上杉謙信像	江戸	山梨県立博物館		
武田晴信感状(三井家資料)	弘治3年(1557)	個人		
武門便幼	宝暦7年(1757)	山梨県立博物館		
武田晴信(信玄)像(複製)	室町 16世紀	山梨県立博物館		
武田家朱印状	天正2年(1574)	山梨県立博物館		
武田信玄書状	室町 16世紀	山梨県立博物館		
甲陽軍鑑	江戸	山梨県立博物館		
木造 軍船雛形(複製)	正徳4年(1714)	信松院(東京都八王子市)		
木馬(もくば)	江戸	長禅寺(甲府市)		
大般若経	室町	南松院(身延町)		
武田晴信判物(今沢家資料)	弘治3年(1557)	山梨県立博物館		
武田二十四将図	江戸	南松院(身延町)		
恵林寺殿百回忌香語(南松院文書)	寛文12年(1672)	南松院(身延町)		
武田晴信書状	室町 16世紀	山梨県立博物館		
関東下知状(複製)	応長元年(1311)	山梨県立博物館(大善寺)		
長寛勘文写本(複製)	江戸	山梨県立博物館(熊野神社)		
銅製経筒および付属品(複製)	建久8年(1197)	山梨県立博物館(個人)		
諏訪神号旗(複製)	室町 16世紀	山梨県立博物館(恵林寺)		

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
孫子の旗(複製)	室町 16世紀	山梨県立博物館(恵林寺)		
川を彩る高瀬舟				
鯨沢河岸跡出土動物遺体		山梨県立考古博物館		
峡算須知(成島家文書)		山梨県立博物館		
峡算須知(甲州文庫)	寛政5年(1793)	山梨県立博物館		
鯨沢遺跡 ガラス瓶	明治 大正	山梨県立考古博物館		
鯨沢出土動物遺体		山梨県立考古博物館		
鯨沢御蔵台鯨沢河岸遺跡の出土遺物	江戸 明治	山梨県立考古博物館		
鯨沢河岸出土品 泥面子	明治	山梨県立考古博物館		
富士川舟運関係会社印鑑類	明治	山梨県立博物館		
道がつなぐ出会い				
甲州道中分間延絵図写本		山梨県立博物館		
甲斐叢記		山梨県立博物館		
酒折宮連歌図		山梨県立博物館		
不二日記(不二日記写本)		山梨県立博物館		
富士図(英一蝶筆)	江戸 18世紀	山梨県立博物館		
不二日記(賀茂季鷹著)(富士日記写本)	江戸 18世紀	山梨県立博物館		
百富士(河村岨雪筆)	明和4年(1767)	山梨県立博物館		
滑稽富士詣(仮名垣魯文著、歌川芳虎画)	万延元年(1860)	山梨県立博物館		
富士山神宮并麓八海路絵図(藤原治俊筆)	江戸 19世紀	山梨県立博物館		
富士山絶頂之図(中居墨峰筆)	安政6年(1859)	山梨県立博物館		
隔播録(富岳記聞)	江戸 19世紀	山梨県立博物館		
大日本富士山絶頂之図(歌川貞秀筆)	安政4年(1857)	山梨県立博物館		
富士山諸人参詣之図(歌川国輝筆)	江戸 19世紀	山梨県立博物館		
上花咲宿本陣関係資料	江戸	山梨県立博物館		
右左口の人形芝居のかしらほか用具一式	江戸	右左口宿区		
徳川家康朱印状(右左口区有文書及関連資料一括)	天正10年(1582)	右左口宿区		
石櫃(右左口区有文書及関連資料一括)	江戸	右左口宿区		
焼き鏡・鑑札(右左口区有文書及関連資料一括)	江戸	右左口宿区		
右左口村絵図(右左口区有文書及関連資料一括)	天保13年(1842)	右左口宿区		
羽柴秀勝黒印状(右左口区有文書及関連資料一括)	天正18年(1590)	右左口宿区		
武田家朱印状(田辺家資料)	永禄3年(1560)	山梨県立博物館		
八日市場 市場之図	寛政5年(1793)	山梨県立博物館		
古府中絵図	江戸	山梨県立博物館		
渥美短頸壺	平安	個人		
新巻常滑大甕	室町	個人		
駒橋出土埋蔵銭	室町	個人		
青磁碗	室町	個人		
瀬戸焼	鎌倉	山梨県立博物館		
染付皿	室町	個人		
染付碗	室町	個人		
躰躰ヶ崎館跡出土陶磁器	戦国	甲府市教育委員会		
灰釉皿	室町	個人		
東原 常滑甕	鎌倉	山梨県立博物館		
無紋碗	室町	山梨県立博物館		
木喰五行作 弘法大師像	寛政13年(1801)	山梨県立博物館		
江戸文化の往来				
阿弥陀海道宿絵図(森嶋家資料)	文化3年(1806)	山梨県立博物館		
鶴島村絵図(森嶋家資料)	文化3年(1806)	山梨県立博物館		
秋山村絵図(森嶋家資料)	文化3年(1806)	都留市		
塩瀬村絵図(森嶋家資料)	江戸	都留市		平成19年11月28日 ~ 12月16日
八ツ沢村絵図(森嶋家資料)	文化3年(1806)	都留市		場面替え 場面替え
東海道五十三次画稿	江戸 19世紀	個人		
東海道五十三次画卷	江戸 19世紀	個人		
甲州道中記	江戸	山梨県立博物館		
甲斐国志写本	江戸	山梨県立博物館		(頁替え)
甲府道祖神祭幕絵 東都名所 目黒不動之瀧(歌川広重筆)	天保12年(1841)	山梨県立博物館		
甲府道祖神祭幕絵 東都名所 洲崎汐干狩(二代歌川広重筆)	江戸	山梨県立博物館		
山水図屏風(天龍道人筆)	江戸	山梨県立博物館		
葡萄図1(天龍道人筆)	享和元年(1801)	山梨県立博物館		
葡萄図2(天龍道人筆)	享和元年(1801)	山梨県立博物館		
葡萄図3(天龍道人筆)	享和元年(1801)	山梨県立博物館		
源氏物語図屏風(大木コレクション)	江戸 19世紀	山梨県立博物館		
福祿寿像(富岡鉄斎筆)(大木コレクション)	明治23年(1890)	山梨県立博物館		
福助図(小林松鱗筆)(大木コレクション)	昭和12年(1937)	山梨県立博物館		
打出の小槌図(村松雲外筆)(大木コレクション)	大正13年(1924)	山梨県立博物館		
大黒天像(大木コレクション)	近代 20世紀	山梨県立博物館		

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
桃鳩図(狩野派)(大木コレクション)	江戸 17~18世紀	山梨県立博物館		
雛図(源季俊筆)(大木コレクション)	江戸 19世紀	山梨県立博物館		
雛人形	近代	山梨県立博物館		
転換期に向き合う				
新髪致候御用(窪田家資料)	明治	山梨県立博物館		
勝沼駅近藤勇騎勇之図	明治	山梨県立博物館		
近世侠客有名鑑	明治	山梨県立博物館		
天保騒動の瓦版(甲州文庫)	江戸	山梨県立博物館		
オランダ船長崎来航二関スル図	江戸	個人		
海国兵談	江戸	個人		
差出申一礼之事	天保8年(1837)	個人		
乍恐以書付願上候	文久3年(1863)	個人		
天保騒動の一揆進行の絵図(複製)		個人		
巨富を動かす				
神奈川港御貿易場御開地御役屋敷并町々寺院社地二至ル迄明細大絵図にあらわす	江戸	山梨県立博物館		(頁替え)
おもちゃ籠	大正	山梨県立博物館		
相場に関する書状(篠原家文書)	江戸	山梨県立博物館		
電燈及び電力事業許可願	明治	山梨県立博物館		
神名川横浜新開港図	江戸	山梨県立博物館		
甲州産物書上帳	江戸	山梨県立博物館		
若尾逸平扇面	明治	山梨県立博物館		
練絲痕	昭和	山梨県立博物館		
若尾逸平銅像模型	明治	個人		
共生する社会				
スチブナール	昭和	山梨県立博物館		(頁替え)
俺は地方病博士だ	大正	山梨県立博物館		
山梨県下大洪水宮本流壮士かぞえ歌	明治	山梨県立博物館		
明治四十年水害二関スル参考書	明治	山梨県立博物館		
明治四十年八月山梨県下水害地巡視日記	明治	山梨県立博物館		
『少年倶楽部』	昭和	山梨県立博物館		
戦争中のいろはがるた	昭和	山梨県立博物館		
学校防空指針	昭和	山梨県立博物館		
地方病克服に向けて使用された実物道具類	昭和	山梨県立博物館		
地方病予防溝渠プレート	昭和	山梨県立博物館		
『観光』	昭和	山梨県立博物館		
山梨県山林救済意見	明治	山梨県立博物館		
山梨県水害史	明治	山梨県立博物館		
水害時に使用した舟	昭和	山梨県立博物館		
北海道移住者調	大正	山梨県立博物館		
北海道移住民資料	大正	山梨県立博物館		
満蒙開拓団引き揚げ関係書類	昭和	山梨県立博物館		
E46集束焼夷弾(模型)	昭和	山梨県立博物館		
家庭防空の手引き	昭和	山梨県立博物館		

## (2) 企画展・シンボル展

企画展・シンボル展の会場は全て当館企画展示室である。またシンボル展の主催は全て県立博物館である。

### 開催企画展・シンボル展一覧

	展覧会名	会期
企 画 展	i NHK大河ドラマ風林火山特別展 信玄・謙信、そして伝説の軍師	平成19年4月6日(金)から同年5月20日(日)まで
	ii 人と動物の昭和誌	平成19年7月20日(金)から同年9月2日(日)まで
	iii 富士山世界文化遺産 暫定リスト登載記念特別展 北斎と広重 ふたりの富嶽三十六景	平成19年10月13日(土)から同年11月18日(日)まで
	iv 新春特別企画展 かいじあむ とっておきの收藏品	平成20年1月2日(水)から同年2月11日(月)まで
シ ン ボ ル 展	i 縄文王国山梨展 縄文の美とエネルギー - 南アルプス市鋳物師屋遺跡の縄文土器 -	平成19年5月26日(土)から同年6月24日(日)まで
	ii 歌川広重の甲州日記 - 幻のスケッチブック再発見! 166年ぶりに甲斐の国に -	平成19年6月26日(火)から同年7月29日(日)まで
	iii 「米キタ」「アサル」 明治四十年の大水害から百年	平成19年8月21日(火)から同年9月24日(月)まで
	iv レッドデータブックの生き物たち	平成20年2月19日(火)から同年3月23日(日)まで

企画展

- i NHK大河ドラマ風林火山特別展 信玄・謙信、そして伝説の軍師
- 【会 期】平成19年4月6日（金）から同年5月20日（日）まで
- 【主 催】山梨県立博物館、NHK甲府放送局、NHKプロモーション
- 【協 賛】ハウス食品、金精軒製菓
- 【後 援】朝日新聞甲府総局、産経新聞甲府支局、日本経済新聞甲府支局  
毎日新聞甲府支局、山梨新報社、山梨日日新聞社  
読売新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、テレビ山梨  
エフエム甲府、エフエム富士、日本ネットワークサービス  
笛吹農業協同組合、JR東日本八王子支社、山梨中央銀行  
山梨県観光物産連盟・信玄公祭り実行委員会  
山梨県大型観光キャンペーン推進協議会  
甲斐の国 風林火山博実行委員会

【会 場】企画展示室

【入場者数】20,832人

【担 当】学芸員 西川広平、海老沼真治

【概 要】

戦国時代、相次ぐ合戦に勝利し、急速に領土を拡大した武田信玄の傍らには、1人の伝説的な軍師がいたと伝えられている。「風林火山」の主人公山本勘助。華々しい活躍が語り継がれる一方、その実像は深い霧の中につつまれている。約130件の貴重な文化財などをとおして、勘助はどのような人物であったのかを探るとともに、武田信玄、上杉謙信の川中島合戦に至るあゆみや、戦国時代の文化、そして、江戸時代以降、彼らが伝説化するきっかけとなった軍学の成立を紹介した。

【関連イベント】

民俗芸能Live 山梨岡神社太々神楽「四剣の舞」

- ・開催日 平成19年4月8日（日）午前11時～12時、午後2時～3時
- ・会 場 つどいの広場
- ・実 演 山梨岡神社太々神楽舞子

かんすけ君と行く！わくわくクイズツアー

- ・主 催 山梨県立博物館、NHK甲府放送局
- ・開催日 平成19年4月14日（土）、4月21日（土）  
午前9時30分～10時30分、午後3時30分～4時30分
- ・会 場 企画展示室

NHK公開セミナー「大河ドラマ・風林火山」

- ・主 催 山梨県立博物館、NHK甲府放送局、NHK文化センター
- ・開催日 平成19年4月15日（日）午前10時～12時
- ・会 場 山梨県総合教育センター 大研修室
- ・内 容 魅力満載！デジタル放送

講演「戦国の激流を泳ぎぬく 風林火山・山本勘助」 童門冬二（作家）

シンポジウム「風林火山 - 武田・上杉、語り継がれる群像 - 」

- ・主 催 山梨県立博物館、山梨郷土研究会
- ・共 催 武田氏研究会
- ・開催日 平成19年4月15日（日）午後1時15分～5時
- ・会 場 山梨県総合教育センター 大研修室
- ・内 容 報告1「『甲陽軍鑑』の世界」 小和田哲男（静岡大学教授）  
報告2「信玄と謙信、二人の個性」 平山 優（武田氏研究会編集委員）



展示風景

- 報告3「武田氏系図の成立事情」 西川 広平（学芸員）  
 報告4「米沢藩における上杉謙信」 阿部 哲人（米沢市上杉博物館学芸員）  
 報告5「甲越軍学の軌跡 - よみがえる信玄・謙信 - 」  
 高橋 修（茨城大学教授）  
 討論司会 萩原 三雄（山梨郷土研究会事務局長）

かいじあむ子ども信玄公祭り

- ・開催日 平成19年5月4日（金・祝） 5日（土）午前11時～午後3時
- ・会場 体験学習室、つどいの広場
- ・内容 弓技大会、鎧の試着と撮影会、陣中食試食会など

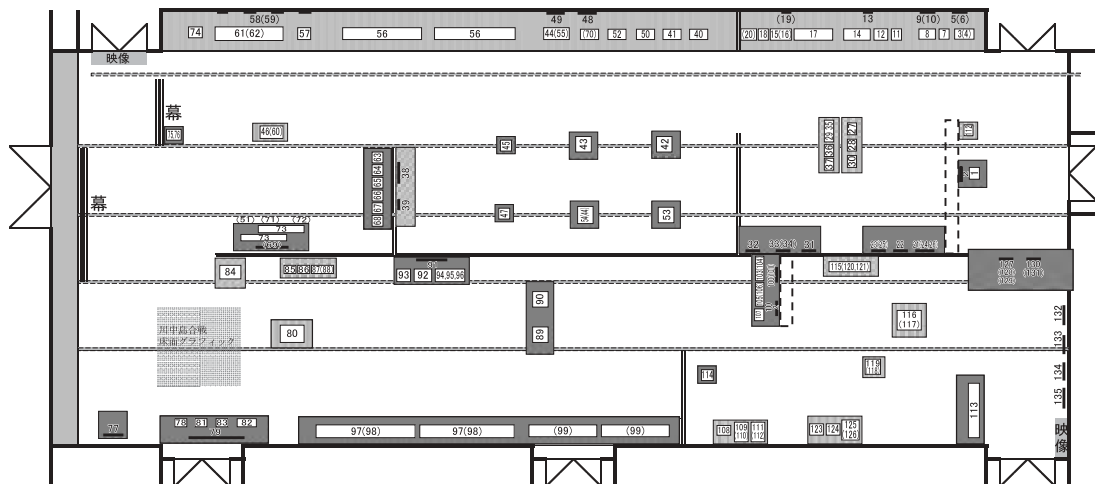
【出品資料一覧】

番号	資料名	所蔵者	点数	指定	展示項目
1	市河文書 武田信玄書状 市河藤若宛	個人蔵	1	釧路市指定文化財	伝説の軍師 山本勘助
2	山本勘助像	当館蔵	1		
3	成就院武田系図	成就院蔵	1		信玄と謙信
4	武田晴信願文	多賀大社蔵	1	滋賀県指定文化財	
5	武田信虎画像	大泉寺蔵	1	重要文化財	
6	武田信虎画像	持明院蔵	1		
7	生島足島神社起請文	生島足島神社蔵	2	重要文化財	
8	武田家奉加帳	大善寺蔵	1	山梨県指定文化財	
9	小山田信有画像	長生寺蔵	1	山梨県指定文化財	
10	穴山梅雪（信君）画像	豊泉寺蔵	1	静岡県指定文化財	
11	謙信公御年譜 巻一	米沢市上杉博物館蔵	1	国宝	
12	長尾為景書状 築地資茂宛	新潟県立歴史博物館蔵	1	重要文化財	
13	柿崎和泉守（景家）夫妻画像	楞嚴寺蔵	1	上越市指定文化財	
14	上杉家家中名字尽	米沢市上杉博物館蔵	1	国宝	
15	武田晴信願文	富士御室浅間神社蔵	1	山梨県指定文化財	
16	武田信玄願文	富士御室浅間神社蔵	1	山梨県指定文化財	
17	関東幕注文	米沢市上杉博物館蔵	1	国宝	
18	徳川家康起請文	米沢市上杉博物館蔵	1	国宝	
19	武田信玄祭目 徳川家康宛	個人蔵	1		
20	武田信玄書状	陽雲寺蔵	1	埼玉県指定文化財	
21	武田信玄画像	高野山成慶院蔵	1	重要文化財	
22	武田晴信画像	高野山持明院蔵	1		
23	吉良頼康画像	寺院蔵	1		
24	武田信玄・陽雲院夫妻画像	陽雲寺蔵	1	埼玉県指定文化財	
25	武田信玄画像	当館蔵	1		
26	武田信玄画像	大泉寺蔵	1		
27	武田晴信書状 小山田虎満宛	陽雲寺蔵	1	埼玉県指定文化財	
28	武田信玄願文	富士山本宮浅間大社蔵	1		
29	武田信玄起請文 築田晴助宛	個人蔵	1		
30	武田信玄書状 高野山成慶院宛	高野山成慶院蔵	1		
31	上杉謙信画像	林泉寺蔵	1		
32	上杉謙信並びに二臣像	常安寺蔵	1	新潟県指定文化財	
33	上杉謙信画像	大阪城天守閣蔵	1		
34	上杉謙信画像	個人蔵	1		
35	上杉政虎起請文 築田晴助宛	個人蔵	1		
36	上杉輝虎起請文	米沢市上杉博物館蔵	1	国宝	
37	上杉家印章	個人蔵	3	重要文化財	
38	孫子の旗	雲峰寺蔵	1	山梨県指定文化財	風林火山の時代 戦国の武と文化
39	諏訪神号旗	雲峰寺蔵	1	山梨県指定文化財	
40	刀 金象嵌銘 永禄三年五月十九日義元討捕刻彼所持刀 織田尾張守信長	建勲神社蔵	1	重要文化財	
41	刀 銘 嶋田広助於甲州作之（花押） 永禄貳年季二月吉日 平朝臣原美濃入道所持之	個人蔵	1	重要美術品	
42	小桜韋威鎧 兜・大袖付（復元品）	当館蔵	1	（原品は国宝）	
43	紅糸威嚴上胴丸	富士山本宮浅間大社蔵	1	静岡県指定文化財	
44	鎧残欠（赤備）	富士山本宮浅間大社蔵	1		
45	六十二間筋兜	寒川神社蔵	1	神奈川県指定文化財	
46	六十二間筋兜 般若心経拓本	寒川神社蔵	1		
47	丸頭巾形兜	高野山成慶院蔵	1		
48	刀八毘沙門天の旗	佐藤博物館蔵	1		
49	日の丸紺地の旗	佐藤博物館蔵	1		
50	刀 銘 長船 長光（号 高瀬長光）	米沢市上杉博物館蔵	1	重要美術品	
51	刀 銘 長船 長光 鞘（号 高瀬長光）	米沢市上杉博物館蔵	1	重要美術品	

番号	資料名	所蔵者	点数	指 定	展 示 項 目
52	瓜実御剣 無銘 伝後奈良天皇拝領	上杉神社蔵	1		
53	鉄黒漆塗紺糸威異製最上胴具足	新潟県立歴史博物館蔵	1		
54	紙衣陣羽織	上杉神社蔵	1	重要文化財	
55	白綾桐紋胴服	上杉神社蔵	1	重要文化財	
56	麻図屏風	米沢市上杉博物館蔵	1双	山形県指定文化財	
57	五鈷鈴（松虫の鈴）	高野山成慶院蔵	1		
58	十二天像	高野山成慶院蔵	4		
59	十王像	高野山成慶院蔵	1		
60	紺紙金泥妙法蓮華経	佐藤博物館蔵	8		
61	濃茶地金襴七条袷裳	慈眼寺蔵	1		
62	濃茶平絹萌黄銀入黄緞袷裳	上杉神社蔵	1	重要文化財	
63	青磁牡丹文大花瓶	国立歴史民俗博物館蔵	1		
64	天目茶碗	国立歴史民俗博物館蔵	1		
65	青磁袴腰香炉	国立歴史民俗博物館蔵	1		
66	青白磁渦文梅瓶	国立歴史民俗博物館蔵	1		
67	青磁鑄文酒海壺	国立歴史民俗博物館蔵	1		
68	青磁鳳凰耳花生	国立歴史民俗博物館蔵	1		
69	松梅図	大泉寺蔵	1	重要文化財	
70	後奈良天皇女房奉書	米沢市上杉博物館蔵	1	国宝	
71	近衛種家書状 知恩院宛	米沢市上杉博物館蔵	1	国宝	
72	倭漢連句	積翠寺蔵	1	甲府市指定文化財	
73	箏	富士山本宮浅間大社蔵	2		
74	梨子地花菱蒔絵文箱	高野山成慶院蔵	1		
75	二疋獅子目貫 無銘 宗乗作	個人蔵	1		
76	俱利伽羅龍弁 無銘 乘真作	個人蔵	1		
77	甲州古城勝頼以前図	恵林寺蔵	1	甲州市指定文化財	決戦 川中島
78	武田氏館跡および周辺出土遺物	甲府市教育委員会蔵	1		
79	駿河国田中城絵図	藤枝市郷土博物館蔵	1	藤枝市指定文化財	
80	松代居城絵図	真田宝物館蔵	1	長野県指定文化財	
81	新府城跡出土遺物	韭崎市教育委員会蔵	1		
82	春日山城絵図	新潟県立図書館蔵	1		
83	春日山城跡出土遺物	上越市教育委員会蔵	1		
84	村上要害模型	村上市郷土資料館蔵	1		
85	上杉政虎感状 色部勝長宛	新潟県立歴史博物館蔵	1	重要文化財	
86	市河文書 武田家朱印状 市河新六郎宛	個人蔵	1	釧路市指定文化財	
87	武田晴信感状 大須賀久兵衛尉宛 (天文二十二年第一回合戦)	個人蔵	2		
88	武田晴信感状 大須賀久兵衛尉宛 (天文二十四年第二回合戦)	個人蔵	2		
89	本田善光坐像	甲斐善光寺蔵	1	甲府市指定文化財	
90	本田善光夫人坐像	甲斐善光寺蔵	1	甲府市指定文化財	
91	善光寺古伽藍図	甲斐善光寺蔵	1		
92	金銅華鬘	熊野神社蔵	1	南陽市指定文化財	
93	泥足毘沙門天立像	法音寺蔵	1		
94	金銅五鈷鈴	法音寺蔵	1	山形県指定文化財	
95	金銅五鈷杵	法音寺蔵	1	山形県指定文化財	
96	金銅舍利塔	法音寺蔵	1	山形県指定文化財	
97	武田信玄配陣図屏風	個人蔵	8曲1双		
98	川中島合戦図屏風	ミュージアム中仙道蔵	1双		
99	川中島合戦図屏風	勝山城博物館蔵	1双		
100	武田勝頼・妻子画像	高野山持明院蔵	1		軍師伝説の誕生
101	武田勝頼画像	法泉寺蔵	1		
102	上杉景勝画像	米沢市上杉博物館蔵	1		
103	結城晴朝書状 北条弥五郎宛	米沢市上杉博物館蔵	1	国宝	
104	武田勝頼書状 高野山成慶院宛	高野山成慶院蔵	1		
105	武田勝頼書状 春日山宛	米沢市上杉博物館蔵	1	国宝	
106	武田勝頼書状 上杉景勝宛	米沢市上杉博物館蔵	1	国宝	
107	市河文書 上杉景勝朱印状 市河信房宛	個人蔵	1	釧路市指定文化財	
108	甲陽軍鑑（土井忠生博士蔵本）	個人蔵	20		
109	甲陽軍鑑（片仮名付訓無刊記十行本）	個人蔵	23		
110	甲陽軍鑑（明暦二年版）	当館蔵	23		
111	甲陽軍鑑（平仮名付訓無刊記十一行本）	個人蔵	22		
112	甲陽軍鑑（万治二年版版）	当館蔵	23		
113	甲陽軍鑑攻戦地理図	武田神社蔵	1隻		
114	小幡景憲像（頭部）	蓮生寺蔵	1		
115	御旗本備押立図	武田神社蔵	1		
116	信州川中島図	東北大学附属図書館蔵	1		
117	三州長篠合戦図	東北大学附属図書館蔵	1		
118	信州高遠城之図	東北大学附属図書館蔵	1		

番号	資料名	所蔵者	点数	指 定	展 示 項 目
119	縄張稽古図	東北大学附属図書館蔵	21		
120	真ノ丸馬出図	東北大学附属図書館蔵	1		
121	信州石戸城の図	東北大学附属図書館蔵	1		
122	信州松城（松代）之図	東北大学附属図書館蔵	1		
123	北越太平記（北越軍記）	新潟県立図書館蔵	17		
124	宇佐美家文書	個人蔵	1		
125	武門要鑑抄	名古屋市蓬左文庫蔵	14		
126	要門之伝授免許状	名古屋市蓬左文庫蔵	1		
127	武田二十四将図	医王寺蔵	1		
128	武田二十四将図	武田神社蔵	1		
129	武田二十四将図	当館蔵	1		
130	上杉九将図	医王寺蔵	1		
131	上杉九将図	米沢市上杉博物館蔵	1		
132	永禄四年九月信州川中島大合戦のとき朝霧ふかく立ちむかうの図	当館蔵	1		語り継がれる山本勘助
133	川中島大合戦組打討	当館蔵	6		
134	永禄四年九月信州川中島大合戦山本勘助入道晴行小高き丘にて馬蹄をやすむの図	当館蔵	1		
135	歌舞伎役者絵	当館蔵	1		

【展示平面図】



ii 人と動物の昭和誌

【会 期】平成19年7月20日（金）から同年9月2日（日）まで

【主 催】山梨県立博物館

【後 援】朝日新聞甲府総局、NHK甲府放送局、エフエム甲府、エフエム富士、産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、テレビ山梨、日本経済新聞甲府支局、日本ネットワークサービス、毎日新聞甲府支局、山梨新報社、山梨日日新聞社・山梨放送、読売新聞甲府支局

【入場者数】5,946人

【担 当】学芸員 丸尾依子、植月 学

【概 要】

かつて農業において家畜は欠かせない労働力であるとともに、財産でもあった。また、農村の生活では犬や猫、羊、山羊、蚕など様々な生きものが身近に存在し、人々の生活を支えてきた。本展では、山梨の昭和初期～半ばまでの写真から「動物」をキーワードに当時の暮らしとその移り変わりを読み解いた。人の生活を支え共に生きた動物たちを展示の中心にとりあげることで、人と動物とが密接に関わっていた昭和時代の農村の日常を浮き彫りにした。

【関連イベント】

ギャラリートーク



・開催日 平成19年7月22日(日) 8月13日(日) 26日(日) いずれも午後1時30分～

・会場 企画展示室

・講師 丸尾依子、植月 学

かいじあむ講座「写真を『読む』？」

・開催日 平成19年8月4日(土) 午後1時30分～午後3時

・会場 生涯学習室

・講師 丸尾依子(学芸員)

「ピンホールカメラを作ろう！」

・開催日 平成19年8月18日(土) 午前10時30分～、午後1時30分～

・会場 体験学習室



展示風景

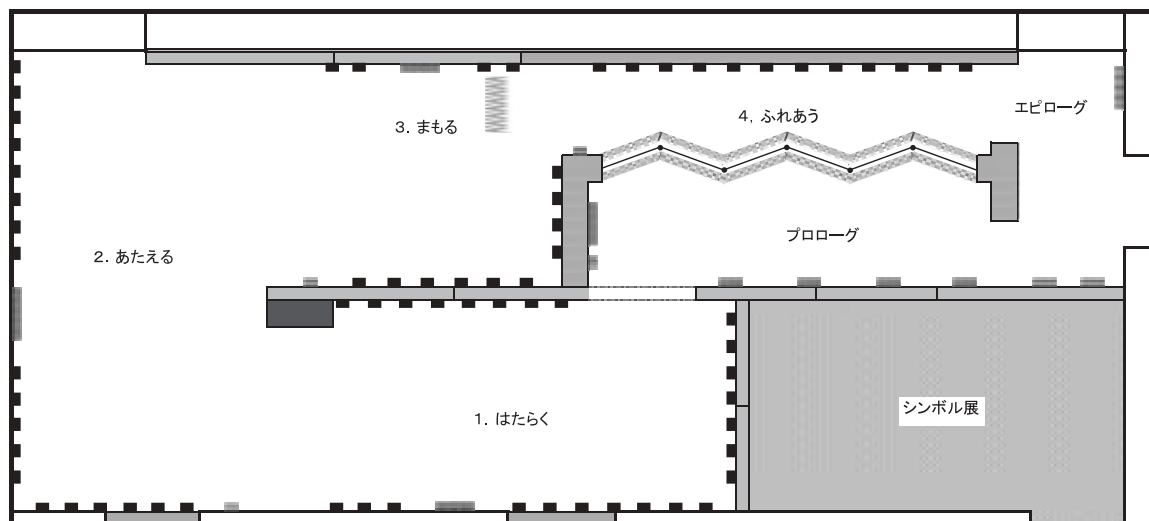
【出品資料一覧】

番号	タイトル	撮影者	撮影年	撮影地	所蔵者
1	代掻き	植松 波雄	昭和26年	北杜市大泉村谷戸	北杜市長坂郷土資料館蔵
2	代掻き	植松 波雄	昭和26年	北杜市高根町西割付近	北杜市長坂郷土資料館蔵
3	代掻き	中山 梅三	昭和30年頃	甲斐市(旧敷島町)	中澤京子蔵
4	代掻き	中山 梅三	昭和30年頃	甲斐市(旧敷島町)	中澤京子蔵
5	代掻き	内田 宏	昭和33年	笛吹市芦川町鶯宿	内田宏蔵
6	代掻き	植松 波雄	昭和30年頃	北杜市長坂町	北杜市長坂郷土資料館蔵
7	代かきの開始	中山 梅三	昭和30年頃	山梨県内	中澤京子蔵
8	一休み	植松 波雄	昭和30年頃	北杜市長坂町	北杜市長坂郷土資料館蔵
9	麦秋 大麦を運ぶ馬	植松 波雄	昭和26年	北杜市長坂町	北杜市長坂郷土資料館蔵
10	帰り道	植松 波雄	昭和30年頃	北杜市大泉町	北杜市長坂郷土資料館蔵
11	井出商店前	撮影者不明	昭和2年	北杜市長坂町	北杜市長坂郷土資料館蔵
12	藁運び	内田 宏	昭和42年	北杜市須玉町	内田宏蔵
13	長運送馬車を引く浅川敏夫さん	撮影者不明	昭和30年代	北杜市長坂町	北杜市長坂郷土資料館蔵
14	牛池(長坂湖)の溜池工事	植松 波雄	昭和14年頃	北杜市長坂町長坂上条 牛池(長坂湖)	北杜市長坂郷土資料館蔵
15	戸川改修工事	村田 一夫	昭和28年	南巨摩郡皷沢町 戸川流域	富士川写真美術館
16	日除けのある荷馬車(戸川改修工事)	村田 一夫	昭和27年	南巨摩郡皷沢町 戸川流域	富士川写真美術館
17	早川渓谷のトロッコ馬車	村田 一夫	昭和9年	南巨摩郡早川町	富士川写真美術館
18	温泉客を運ぶトロッコ馬車	村田 一夫	昭和9年	南巨摩郡早川町	富士川写真美術館
19	材木を運び出すトロッコ馬車	村田 一夫	昭和9年	南巨摩郡早川町	富士川写真美術館
20	麦秋 牛で大麦を運ぶ	植松 波雄	昭和30年	北杜市長坂町	北杜市長坂郷土資料館蔵
21	荷車を引く牛	中山 梅三	昭和30年頃	山梨県内	中澤京子蔵
22	第3回畜力利用簡易整地競技会	内田 宏	昭和26年	笛吹市石和町	内田宏蔵
23	畜力利用技術発表会	内田 宏	昭和28年	撮影地不明	内田宏蔵
24	新しいお寺の鐘	植松 波雄	昭和26年	北杜市長坂町	北杜市長坂郷土資料館蔵
25	蹄鉄の具合を見る	内田 宏	昭和40年	河口湖畔	内田宏蔵
26	装蹄	内田 宏	昭和40年	高根町清里	内田宏蔵
27	客待ち	内田 宏	昭和39年	河口湖畔	内田宏蔵
28	厩	内田 宏	昭和33年	南巨摩郡身延町	内田宏蔵
29	馬の世話	中山 梅三	昭和30年頃	山梨県内	中澤京子蔵
30	牛舎	内田 宏	昭和31年	甲斐市(旧敷島町・清川)	内田宏蔵
31	庭先の牛	内田 宏	昭和34年	甲府市	内田宏蔵
32	牛舎の中	中山 梅三	昭和30年頃	山梨県内	中澤京子蔵
33	山羊と牛の散歩	内田 宏	昭和30年	甲府市	内田宏蔵
34	検査のために校庭に集まった農耕馬	村田 一夫	昭和13年	南巨摩郡皷沢町	富士川写真美術館
35	馬市(1)	中山 梅三	昭和30年頃	北杜市高根町清里	中澤京子蔵
36	馬市(2)	中山 梅三	昭和30年頃	北杜市高根町清里	中澤京子蔵
37	乳運び	植松 波雄	昭和30年頃	北杜市長坂町小荒間	北杜市長坂郷土資料館蔵
38	酪農農家	植松 波雄	昭和30年頃	北杜市長坂町小荒間	北杜市長坂郷土資料館蔵
39	小荒間地区の酪農	植松 波雄	昭和30年頃	北杜市長坂町小荒間	北杜市長坂郷土資料館蔵
40	牛乳の集荷	中山 梅三	昭和30年頃	南都留郡富士河口湖町西湖根場	北杜市長坂郷土資料館蔵
41	集乳缶運び	内田 宏	昭和32年	北杜市小淵沢町	内田宏蔵
42	ジャージー牛がやってきた(1)	植松 波雄	昭和30年頃	J R 小淵沢駅	北杜市長坂郷土資料館蔵
43	ジャージー牛がやってきた(2)	植松 波雄	昭和30年頃	享保区農業高等学校校庭か	北杜市長坂郷土資料館蔵
44	庭先の山羊	内田 宏	昭和39年	北杜市須玉町	内田宏蔵
45	庭の山羊小屋	内田 宏	昭和42年	北杜市高根町	内田宏蔵
46	山羊親子の散歩	中山 梅三	昭和30年頃	南巨摩郡皷沢町入町	中澤京子蔵
47	山羊の散歩	内田 宏	昭和35年	甲州市塩山	内田宏蔵
48	売られるまたは買われてきた子山羊	中山 梅三	昭和30年	南巨摩郡皷沢町入町	中澤京子蔵
49	豚の子を育てる	内田 宏	昭和27年	甲府市または笛吹市石和町	内田宏蔵
50	豚の飼育	内田 宏	昭和28年	北杜市長坂町	北杜市長坂郷土資料館蔵
51	豚の出荷	植松 波雄	昭和33年	北杜市長坂町	北杜市長坂郷土資料館蔵
52	放し飼いの鶏	植松 波雄	昭和30年頃	北杜市長坂町	北杜市長坂郷土資料館蔵
53	室内での雛飼育	内田 宏	昭和27年	甲府市	内田宏蔵
54	室内に上がり込んだ鶏	中山 梅三	昭和30年頃	南巨摩郡身延町(旧西八代郡下部町)	中澤京子蔵
55	鶏を捌く	内田 宏	昭和26年	甲府市	内田宏蔵
56	鶏を捌く	内田 宏	昭和26年	甲府市	内田宏蔵



番号	タイトル	撮影者	撮影年	撮 影 地	所 蔵 者
57	鶏を捌く	内田 宏	昭和26年	甲府市	内田宏蔵
58	鶏を捌く	内田 宏	昭和26年	甲府市	内田宏蔵
59	家中を使つての養蚕	内田 宏	昭和41年	甲斐市（旧中巨摩郡双葉町）	内田宏蔵
60	給桑	内田 宏	昭和41年	甲斐市（中巨摩郡双葉町）	内田宏蔵
61	ヒキ拾い	内田 宏	昭和45年	北杜市須玉町増富	内田宏蔵
62	回転モズ（まがし）に入る蚕	内田 宏	昭和45年	北杜市須玉町増富	内田宏蔵
63	繭	内田 宏	昭和32年	甲府市	内田宏蔵
64	繭かき	内田 宏	昭和31年	甲府市	内田宏蔵
65	蠶モズ造り	村田 一夫	昭和13年	西八代郡市川三郷町（旧三珠町）	富士川写真美術館
66	投網を打つ	内田 宏	昭和29年	北杜市長坂町	内田宏蔵
67	もじり漁	村田 一夫	昭和 8 年	南巨摩郡鯉沢町	富士川写真美術館
68	富士川で投網を打つ	村田 一夫	昭和13年	南巨摩郡鯉沢町	富士川写真美術館
69	船上の釣人	村田 一夫	昭和10年	南巨摩郡鯉沢町	富士川写真美術館
70	うなぎ捕り	村田 一夫	昭和12年	南巨摩郡鯉沢町	富士川写真美術館
71	ウサギ飼育をする農家の子どもたち	村田 一夫	昭和10年	南巨摩郡鯉沢町	富士川写真美術館
72	牧場の山羊	植松 波雄	昭和30年頃	山梨県酪農試験場	北杜市長坂郷土資料館蔵
73	牧場の羊	植松 波雄	昭和28年頃	山梨県酪農試験場	北杜市長坂郷土資料館蔵
74	牧場の牛	植松 波雄	昭和30年頃	八ヶ岳牧場	北杜市長坂郷土資料館蔵
75	牧場の馬	植松 波雄	昭和30年頃	八ヶ岳牧場	北杜市長坂郷土資料館蔵
76	山羊を抱き上げる子	内田 宏	昭和34年	北杜市高根町清里	内田宏蔵
77	田植えを見に来た	内田 宏	昭和42年	北杜市高根町	内田宏蔵
78	野良帰りの一休み	内田 宏	昭和35年	西八代郡市川三郷町（旧六郷町）	内田宏蔵
79	放し飼いの犬たち	撮影者不明	昭和34年	北杜市長坂町	北杜市長坂郷土資料館蔵
80	ハレの日の犬たち	内田 宏	昭和32年	甲府市	内田宏蔵
81	飛び入り！	内田 宏	昭和38年	西八代郡市川三郷町（旧三珠町）	内田宏蔵
82	雪の日のおでかけ	中山 梅三	昭和30年頃	甲府市湯村温泉郷付近	中澤京子蔵
83	犬と一緒に登山	植松 波雄	昭和30年頃	八ヶ岳	北杜市長坂郷土資料館蔵
84	ジャガイモの収穫	植松 波雄	昭和30年頃	北杜市高根町北割付近	北杜市長坂郷土資料館蔵
85	温かくなって眠くなる	内田 宏	昭和41年	山梨県内	内田宏蔵
86	もじりで遊ぶ	中山 梅三	昭和30年頃	山梨県内	中澤京子蔵
87	縁日のヒヨコ売り	内田 宏	昭和44年	西八代郡市川三郷町（旧三珠町）	内田宏蔵
88	ウサギ売り	内田 宏	昭和56年	山梨県内	内田宏蔵
89	ハヤ捕り	村田 一夫	昭和10年	南巨摩郡鯉沢町	富士川写真美術館
90	お寺でセミ捕り	村田 一夫	昭和13年	南巨摩郡鯉沢町	富士川写真美術館
91	土手で虫捕り	村田 一夫	昭和10年	南巨摩郡鯉沢町	富士川写真美術館
92	おどし鉄砲で鳥追い	村田 一夫	昭和12年	南巨摩郡鯉沢町	富士川写真美術館
93	サーカスの馬	植松 波雄	昭和30年頃	甲府市	中澤京子蔵
94	日野春競馬	撮影者不明	昭和 3 年	北杜市長坂町	北杜市長坂郷土資料館蔵
95	日野春競馬の競走馬	撮影者不明	昭和 8 年以前	撮影地不明	北杜市長坂郷土資料館蔵
96	長坂駅前祭り	撮影者不明	昭和30年頃	北杜市長坂町	北杜市長坂郷土資料館蔵
97	武田神社祭り	内田 宏	昭和42年	甲府市	内田宏蔵
98	神馬と少年	中山 梅三	昭和30年頃	富士吉田市下吉田小室浅間神社	中澤京子蔵
99	誇りを胸に祭りに挑む	中山 梅三	昭和30年頃	富士吉田市下吉田小室浅間神社	中澤京子蔵
100	馬蹄占い	中山 梅三	昭和30年頃	富士吉田市下吉田小室浅間神社	中澤京子蔵
101	世界動物博（1）ラクダが来た！	内田 宏	昭和34年	甲府市	内田宏蔵
102	世界動物博（1）蔵も来た！	内田 宏	昭和34年	甲府市	内田宏蔵
103	世界動物博（3）会場の人ばかり	中山 梅三	昭和34年	甲府市	中澤京子蔵
104	世界動物博（4）キリンもシマウマも	中山 梅三	昭和34年	甲府市	中澤京子蔵
105	一服	内田 宏	昭和42年		内田宏蔵

【展示平面図】



iii 富士山世界文化遺産 暫定リスト掲載記念特別展

北斎と広重 ふたりの富嶽三十六景

【会 期】平成19年10月13日（土）から同年11月18日（日）まで  
臨時開館11月20日（火・県民の日）

【主 催】山梨県立博物館

【後 援】朝日新聞甲府総局、NHK甲府放送局、エフエム甲府、エフエム富士、産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、テレビ山梨、日本経済新聞甲府支局、日本ネットワークサービス、毎日新聞甲府支局、山梨新報社、山梨日日新聞社・山梨放送、読売新聞甲府支局、JR東日本八王子支社、笛吹農業協同組合、山梨中央銀行、NPO法人 富士山を世界遺産にする国民会議、「富士山世界文化遺産登録」山梨県推進協議会、社団法人 山梨県観光物産連盟、山梨県大型観光キャンペーン推進協議会



【入場者数】9,776人

【担 当】学芸員 井澤英理子、西川広平、高橋 修

【概 要】

浮世絵師、葛飾北斎と歌川広重、ふたりの富士図の連作を比較して、それぞれの個性と富士に対する思いやイメージを浮き彫りにした。また、ふたりの作品によって、時間と場所によって移り変わる富士の姿、当時の人々が富士山をどのような存在と生きてきたかを紹介するとともに、描き込まれた名所旧跡、村落の暮らし、旅の風俗、季節感などから、江戸時代の文化やくらしを探った。

【関連イベント】

かいじあむ講座「北斎と広重の富士」

- ・開催日 平成19年10月21日（日） 午後1時30分～午後3時
- ・会 場 生涯学習室
- ・講 師 井澤英理子（学芸員）

かいじあむこども工房「浮世絵をすってみよう！」

- ・開催日 平成19年10月13日（土）、11月17日（土）  
午前10時30分～午後3時、午後1時30分
- ・会 場 体験学習室

特別展おもしろ講座「飛び出す浮世絵を作って、特別展の隠れた秘密を探る」

- ・開催日 平成19年11月3日（土） 午前10時～午後3時
- ・会 場 体験学習室周辺
- ・講 師 山本育夫氏（武蔵野美術大学非常勤講師）

ギャラリー・トーク

- ・開催日 平成19年10月20日（土）、10月28日（日）、11月4日（日）、11月11日（日） 午後1時30分～午後2時30分



展示風景

【出品資料一覧】

番号	作者	作 品 名	材質・技法	員数
第一章 北斎の富士				
1	葛飾北斎	富嶽三十六景 凱風快晴	木版、多色摺、横大判	1枚
2	葛飾北斎	富嶽三十六景 山下白雨	木版、多色摺、横大判	1枚
3	葛飾北斎	富嶽三十六景 神奈川沖浪裏	木版、多色摺、横大判	1枚
4	葛飾北斎	富嶽三十六景 深川万年橋下	木版、多色摺、横大判	1枚
5	葛飾北斎	富嶽三十六景 尾州不二見原	木版、多色摺、横大判	1枚
6	葛飾北斎	富嶽三十六景 遠江山中	木版、多色摺、横大判	1枚
7	葛飾北斎	富嶽三十六景 常州牛堀	木版、多色摺、横大判	1枚
8	葛飾北斎	富嶽三十六景 東都浅草本願寺	木版、多色摺、横大判	1枚
9	葛飾北斎	富嶽三十六景 駿州江尻	木版、多色摺、横大判	1枚

番号	作者	作 品 名	材質・技法	員数
10	葛飾北斎	富嶽三十六景 隅田川関屋の里	木版、多色摺、横中判	1 枚
11	葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道程ヶ谷	木版、多色摺、横中判	1 枚
12	葛飾北斎	富嶽三十六景 五百らかん寺さざみどう	木版、多色摺、横中判	1 枚
13	葛飾北斎	富嶽三十六景 本所立川	木版、多色摺、横中判	1 枚
第二章 広重の富士				
14	歌川広重	不二三十六景 大江戸市中七夕祭	木版、多色摺、横中判	1 枚
15	歌川広重	不二三十六景 神名川海上	木版、多色摺、横中判	1 枚
16	歌川広重	不二三十六景 駿河富士沼	木版、多色摺、横中判	1 枚
17	歌川広重	不二三十六景 上総天神山海岸	木版、多色摺、横中判	1 枚
18	歌川広重	富士三十六景 雑司かや不二見茶や	木版、多色摺、縦大判	1 枚
19	歌川広重	富士三十六景 さがみ川	木版、多色摺、縦大判	1 枚
20	歌川広重	富士三十六景 武蔵野毛横はま	木版、多色摺、縦大判	1 枚
21	歌川広重	富士三十六景 駿河三保之松原	木版、多色摺、縦大判	1 枚
22	歌川広重	不二三十六景 駿河薩岳嶺	木版、多色摺、横中判	1 枚
23	歌川広重	富士三十六景 駿河薩夕之海上	木版、多色摺、縦大判	1 枚
24	歌川広重	不二三十六景 武蔵小金井堤	木版、多色摺、横中判	1 枚
25	歌川広重	富士三十六景 武蔵小金井	木版、多色摺、縦大判	1 枚
26	歌川広重	不二三十六景 東都目黒千代が崎	木版、多色摺、横中判	1 枚
27	歌川広重	富士三十六景 東都目黒夕日か岡	木版、多色摺、縦大判	1 枚
28	歌川広重	富士三十六景 上総鹿楚山	木版、多色摺、縦大判	1 枚
第三章 それぞれの富士				
29	葛飾北斎	富嶽百景 初編、二編、三編	木版、墨摺、和綴	3 冊
30	歌川広重	富士見百図 初編	木版、多色摺、和綴	1 冊
31	葛飾北斎	富嶽三十六景 江戸日本橋	木版、多色摺、横中判	1 枚
32	歌川広重	不二三十六景 東都江戸橋日本橋	木版、多色摺、横中判	1 枚
33	歌川広重	富士三十六景 東都一石ばし	木版、多色摺、縦大判	1 枚
34	歌川広重	富士三十六景 東都佃沖	木版、多色摺、縦大判	1 枚
35	歌川広重	不二三十六景 東都永代橋佃島	木版、多色摺、横中判	1 枚
36	葛飾北斎	富嶽三十六景 武陽佃島	木版、多色摺、横中判	1 枚
37	歌川広重	不二三十六景 東都兩國橋下	木版、多色摺、横中判	1 枚
38	葛飾北斎	富嶽三十六景 御厩川岸より兩國橋夕陽見	木版、多色摺、横中判	1 枚
39	歌川広重	富士三十六景 東都両ごく	木版、多色摺、縦大判	1 枚
40	歌川広重	不二三十六景 武蔵多満川	木版、多色摺、横中判	1 枚
41	葛飾北斎	富嶽三十六景 武州玉川	木版、多色摺、横中判	1 枚
42	歌川広重	富士三十六景 武蔵多満川	木版、多色摺、縦大判	1 枚
43	歌川広重	富士三十六景 相模江之島入口	木版、多色摺、縦大判	1 枚
44	葛飾北斎	富嶽三十六景 相州江の島	木版、多色摺、横中判	1 枚
45	歌川広重	不二三十六景 相模七里か濱風波	木版、多色摺、横中判	1 枚
46	葛飾北斎	富嶽三十六景 相州七里濱	木版、多色摺、横中判	1 枚
47	歌川広重	富士三十六景 相模七里か濱	木版、多色摺、縦大判	1 枚
48	歌川広重	富士三十六景 上総黒戸の浦	木版、多色摺、縦大判	1 枚
49	歌川広重	不二三十六景 上総木更津海上	木版、多色摺、横中判	1 枚
50	葛飾北斎	富嶽三十六景 上総ノ海路	木版、多色摺、横中判	1 枚
51	河村岷雪	百富士	木版、墨摺、和綴	5 冊
第四章 江戸から見る富士				
52	歌川広重	不二三十六景 東都山下町河岸	木版、多色摺、横中判	1 枚
53	歌川広重	富士三十六景 東都数寄屋河岸	木版、多色摺、縦大判	1 枚
54	葛飾北斎	富嶽三十六景 江都駿河町三井見世略圖	木版、多色摺、横中判	1 枚
55	歌川広重	富士三十六景 東都駿河町	木版、多色摺、縦大判	1 枚
56	歌川広重	不二三十六景 東都駿河臺	木版、多色摺、横中判	1 枚
57	葛飾北斎	富嶽三十六景 東都駿臺	木版、多色摺、横中判	1 枚
58	歌川広重	不二三十六景 東都水道橋	木版、多色摺、横中判	1 枚
59	歌川広重	富士三十六景 東都御茶の水	木版、多色摺、縦大判	1 枚
60	歌川広重	不二三十六景 東都隅田堤	木版、多色摺、横中判	1 枚
61	歌川広重	富士三十六景 東都隅田堤	木版、多色摺、縦大判	1 枚
62	歌川広重	富士三十六景 東都飛鳥山	木版、多色摺、縦大判	1 枚
63	歌川広重	不二三十六景 東都飛鳥山	木版、多色摺、横中判	1 枚
64	葛飾北斎	富嶽三十六景 礪川雪ノ旦	木版、多色摺、横中判	1 枚
65	葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道品川御殿山ノ不二	木版、多色摺、横中判	1 枚

番号	作者	作 品 名	材質・技法	員数
66	葛飾北斎	富嶽三十六景 武州千住	木版、多色摺、横大判	1枚
67	葛飾北斎	富嶽三十六景 從千住花街眺望ノ不二	木版、多色摺、横大判	1枚
68	葛飾北斎	富嶽三十六景 下目黒	木版、多色摺、横大判	1枚
69	葛飾北斎	富嶽三十六景 隠田の水車	木版、多色摺、横大判	1枚
70	歌川広重	不二三十六景 東都青山	木版、多色摺、横中判	1枚
71	葛飾北斎	富嶽三十六景 青山圓座忝	木版、多色摺、横大判	1枚
72	歌川広重	不二三十六景 東都木下川田甫	木版、多色摺、横中判	1枚

第五章 甲斐の裏富士

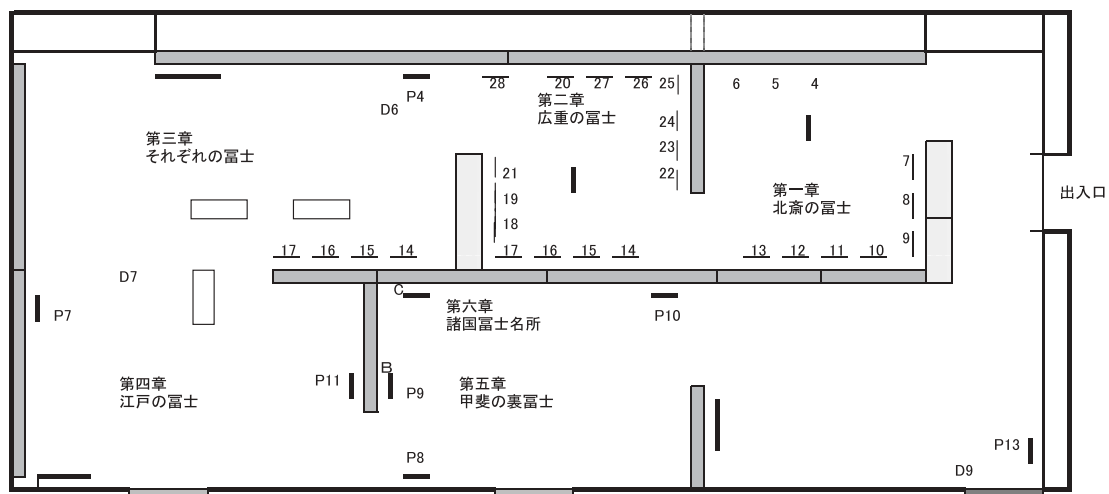
73	葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州石班澤	木版、多色摺、横大判	1枚
74	葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州三鳥越	木版、多色摺、横大判	1枚
75	歌川広重	富士三十六景 甲斐御坂越	木版、多色摺、縦大判	1枚
76	葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州三坂水面	木版、多色摺、横大判	1枚
77	葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州犬目峠	木版、多色摺、横大判	1枚
78	歌川広重	富士三十六景 甲斐犬目峠	木版、多色摺、縦大判	1枚
79	歌川広重	不二三十六景 甲斐犬目峠	木版、多色摺、横中判	1枚
80	歌川広重	不二三十六景 甲斐大月原	木版、多色摺、横中判	1枚
81	歌川広重	富士三十六景 甲斐大月の原	木版、多色摺、縦大判	1枚
82	葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州伊沢暁	木版、多色摺、横大判	1枚
83	葛飾北斎	富嶽三十六景 身延川裏不二	木版、多色摺、横大判	1枚
84	歌川広重	不二三十六景 甲斐夢山裏富士	木版、多色摺、横中判	1枚

第六章 諸国富士名所

85	歌川広重	不二三十六景 安房鋸山	木版、多色摺、横中判	1枚
86	歌川広重	富士三十六景 房州保田ノ海岸	木版、多色摺、縦大判	1枚
87	歌川広重	不二三十六景 上総鹿楚山鳥居崎	木版、多色摺、横中判	1枚
88	葛飾北斎	富嶽三十六景 登戸浦	木版、多色摺、横大判	1枚
89	歌川広重	富士三十六景 鴻之臺とね川	木版、多色摺、縦大判	1枚
90	歌川広重	不二三十六景 下総鴻の臺	木版、多色摺、横中判	1枚
91	歌川広重	富士三十六景 下総小金原	木版、多色摺、縦大判	1枚
92	歌川広重	富士三十六景 武蔵越かや在	木版、多色摺、縦大判	1枚
93	歌川広重	不二三十六景 武蔵野	木版、多色摺、横中判	1枚
94	歌川広重	不二三十六景 東海道大森縄手	木版、多色摺、横中判	1枚
95	歌川広重	富士三十六景 武蔵本牧のはな	木版、多色摺、縦大判	1枚
96	歌川広重	不二三十六景 武蔵本牧海上	木版、多色摺、横中判	1枚
97	葛飾北斎	富嶽三十六景 相州仲原	木版、多色摺、横大判	1枚
98	歌川広重	不二三十六景 相模川	木版、多色摺、横中判	1枚
99	歌川広重	富士三十六景 相州三浦之海上	木版、多色摺、縦大判	1枚
100	歌川広重	富士三十六景 伊豆の山中	木版、多色摺、縦大判	1枚
101	歌川広重	不二三十六景 伊豆の海濱	木版、多色摺、横中判	1枚
102	歌川広重	不二三十六景 駿河不二川	木版、多色摺、横中判	1枚
103	葛飾北斎	富嶽三十六景 駿州大野新田	木版、多色摺、横大判	1枚
104	葛飾北斎	富嶽三十六景 駿州片倉茶園ノ不二	木版、多色摺、横大判	1枚
105	歌川広重	不二三十六景 駿河田子の浦	木版、多色摺、横中判	1枚
106	葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道江尻田子の浦略圖	木版、多色摺、横大判	1枚
107	葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道金谷ノ不二	木版、多色摺、横大判	1枚
108	歌川広重	富士三十六景 駿遠大井川	木版、多色摺、縦大判	1枚
109	歌川広重	富士三十六景 東海堂左り不二	木版、多色摺、縦大判	1枚
110	葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道吉田	木版、多色摺、横大判	1枚
111	歌川広重	不二三十六景 信濃諏訪湖	木版、多色摺、横中判	1枚
112	葛飾北斎	富嶽三十六景 信州諏訪湖	木版、多色摺、横大判	1枚
113	歌川広重	富士三十六景 信州諏訪之湖	木版、多色摺、縦大判	1枚
114	歌川広重	富士三十六景 信濃塩尻峠	木版、多色摺、縦大判	1枚
115	歌川広重	不二三十六景 箱根山中湖水	木版、多色摺、横中判	1枚
116	歌川広重	富士三十六景 はこねの湖すい	木版、多色摺、縦大判	1枚
117	葛飾北斎	富嶽三十六景 相州箱根湖水	木版、多色摺、横大判	1枚
118	葛飾北斎	富嶽三十六景 相州梅澤左	木版、多色摺、横大判	1枚
119	歌川広重	不二三十六景 相模大山来迎谷	木版、多色摺、横中判	1枚
120	歌川広重	富士三十六景 伊勢二見か浦	木版、多色摺、縦大判	1枚
121	葛飾北斎	富嶽三十六景 諸人登山	木版、多色摺、横大判	1枚
参考	歌川広重	富士三十六景 目録	木版、多色摺、縦大判	1枚

\* 所蔵は何れも山梨県立博物館

## 【展示平面図】



## iv 新春特別企画展 かいじあむ とっておきの收藏品

【会 期】平成20年1月2日(水)から同年2月11日(月・祝)まで

【主 催】山梨県立博物館

【後 援】朝日新聞甲府総局、NHK甲府放送局、産経新聞甲府支局、エフエム甲府、エフエム富士、テレビ朝日甲府支局、テレビ山梨、日本ネットワークサービス、毎日新聞甲府支局、山梨新報社、山梨日日新聞社・山梨放送、読売新聞社甲府支局、笛吹農業協同組合、山梨中央銀行

【入場者数】4,613人

【担 当】学芸員 海老沼真治、小畑茂雄

## 【概 要】

山梨県立博物館では、博物館建設の準備段階であった平成13年度から資料の収集を始め、博物館の基本テーマ「山梨の自然と人」にそって、山梨における自然と人との関わりの歴史を語る資料、山梨と他地域との交流の歴史を示す資料を広く収集している。

現在、博物館に収蔵されている資料は20万点を越え、一部は常設展・企画展で紹介しているが、未公開の資料も数多くある。

本展では、そうした未公開の資料を中心に、「山梨の自然と人」にかかわる5つのテーマを設け展示し、山梨の多様な自然のもとでくらししてきた人々の歴史を紹介した。

## 【関連イベント】

## 講演会「アンティークミシンの魅力」

- ・開催日 平成20年1月13日(日)午後1時30分～
- ・会 場 生涯学習室
- ・講 師 増澤昌司氏(マスザワミシン)

## ギャラリートーク

- ・開催日 平成20年1月2日(水)、3日(木)、6日(日)、26日(土)、2月2日(土)、11日(月・祝) いずれも午後1時30分～

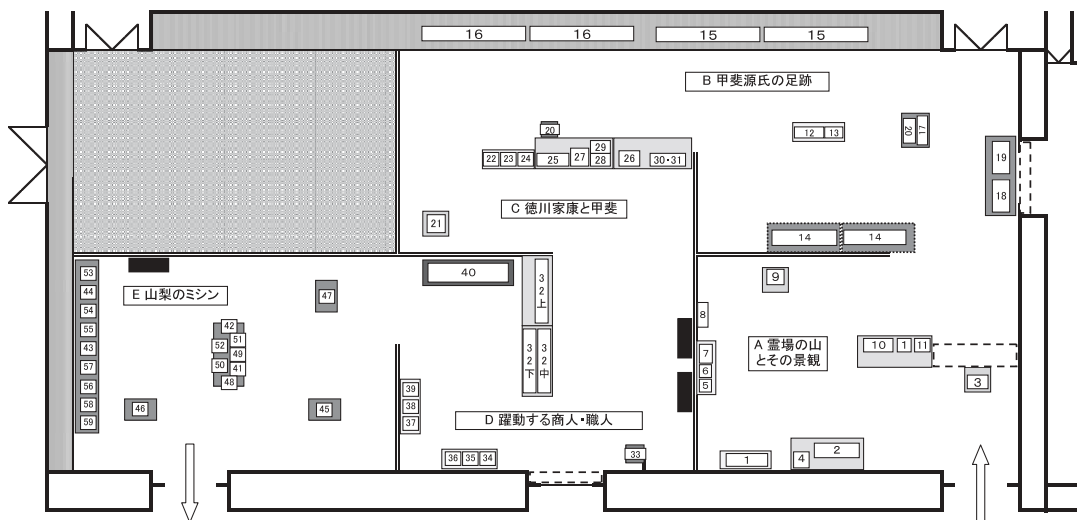


展示風景

【出品資料一覧】

番号	資料名	年代又は時代	員数	形態又は材質技法	寄贈者・寄託者名
霊場の山とその景観					
1	日本社寺名鑑 甲斐国之部	明治36～7年(1903～4)	10枚	銅版画	
2	御嶽道絵巻	弘化4年(1847)	1巻	絹本着色	
3	金峯山曼荼羅	室町時代	1幅	絹本着色	
4	甲斐国金峰山金桜神社御嶽山晩春之図	江戸時代	1点	木版墨摺 手彩色	
5	身延鑑	宝暦12年(1762)	3冊	木版墨摺	
6	身延山図経	江戸時代	3冊	木版墨摺	
7	甲州身延山図	江戸時代	2枚続	木版多色摺	
8	山梨県下甲斐国巨摩郡身延山従七面山一覽之真図	明治14年(1881)	3枚続	木版多色摺	
9	曼荼羅本尊	慶長19年(1614)	1幅	紙本墨書	三科政永氏寄贈
10	富士講経巻 村上派四世藤原月旺御見抜写本 藤浄土大願御成就之巻 公事之巻	天和3年(1683) 元禄4年(1691) 享保10年(1723)	3巻	紙本着色	
11	富士山北口全図 鎮火大祭	明治30年(1897)	2枚続	木版多色摺	
甲斐源氏の足跡					
12	大般若波羅密多経 卷第四百五十八	貞治4年(1365)	1巻	折本経巻	
13	小笠原家譜	安永7年(1778)	1冊	竖帳	
14	曾我物語図屏風	江戸時代	一双	紙本着色	
15	曾我物語図屏風	江戸時代	一双	紙本着色	坂本安子氏寄贈
16	源平合戦図屏風	江戸時代	一双	紙本着色	
17	驥毛図解	江戸時代	1巻	紙本着色	坂本安子氏寄贈
18	飾馬図	江戸時代	1冊	紙本着色	坂本安子氏寄贈
19	馬百態図	江戸時代	1巻	紙本着色	坂本安子氏寄贈
20	吾妻鏡	寛永3年(1626)	2冊	木版墨摺	
徳川家康と甲斐					
21	徳川十六将図	江戸時代	1幅	紙本着色	
22	徳川家朱印状	天正10年(1582)	1点	折紙	
23	徳川家康朱印状	天正11年(1583)	1点	竖紙	堀内亨氏寄託
24	伊奈家次社領証文	天正17年(1589)	1点	竖紙	坂本史郎氏寄贈
25	徳川家郷中定書写	天正17年(1589)	1点	継紙	
26	徳川家郷中定書写	天正17年(1589)	1点	継紙	
27	甲州古府中古城之図	江戸時代	1点	紙本着色	
28	慶長六年検地帳	慶長6年(1601)	10冊	竖帳	
29	甲斐国四郡古高帳	慶長9年(1604)	1冊	横半帳	三井啓策氏寄贈
30	綱豊卿より松平美濃守へ引渡目録写	文化11年(1814)	1冊	竖帳	
31	伊奈忠次・大久保長安連署状	江戸時代	1点	現切紙	
32	江戸幕府奉行人連署状	慶長8年(1603)	1点	現切紙	
躍動する商人・職人					
33	七十一番職人歌合	江戸時代	3巻	紙本着色	
34	職人尽歌合	文政9年(1826)	1冊	木版墨摺	
35	武田家朱印状	永禄3年(1560)	1点	竖紙	
36	武田家朱印状	天正4年(1576)	1点	折紙	
37	穴山信君判物	天正8年(1580)	1点	元折紙か	佐野弘児氏寄託
38	葛山氏元判物	永禄13年(1570)	1点	折紙	森敏子氏寄託
39	穴山信君判物	天正4年(1576)	1点	折紙	森敏子氏寄託
40	穴山信君朱印状	天正8年(1580)	1点	折紙	森敏子氏寄託
41	北中原遺跡鑄跡レプリカ	鎌倉時代	1点		笛吹市教育委員会蔵
山梨のミシン					
42	GRAPE(グレープ)	昭和28年(1953)頃	1点	ミシン	加々美高氏寄贈
43	PARTNER(パートナー)	昭和20年(1945)頃	1点	ミシン	加々美高氏寄贈
44	JONES HAND MACHINE(ジョーンズハンドマシン)	19世紀頃	1点	ミシン	加々美高氏寄贈
45	JUNIOR(ジュニア)	20世紀	1点	ミシン	加々美高氏寄贈
46	SINGER(シンガー)	1920年頃	1点	ミシン	加々美高氏寄贈
47	SINGER(シンガーキャビネット)	1920年頃	1点	ミシン	加々美高氏寄贈
48	GRAPE(グレープ)	20世紀	1点	ミシン	加々美高氏寄贈
49	GRAPE(グレープ)	昭和29年(1954)頃	1点	ミシン	加々美高氏寄贈
50	CRYSTAL(クリスター)	20世紀	1点	ミシン	加々美高氏寄贈
51	PINE(パイン)	20世紀	1点	ミシン	加々美高氏寄贈
52	CRYSTAL(クリスター)	20世紀	1点	ミシン	加々美高氏寄贈
53	JANOME(ジャノメ)	20世紀	1点	ミシン	加々美高氏寄贈
54	SINGER(シンガー)	20世紀	1点	ミシン	加々美高氏寄贈
55	UNIVERSAL(ユニバーサル)	19世紀	1点	ミシン	加々美高氏寄贈
56	THE CHALLENGE(ザ チャレンジ)	20世紀頃	1点	ミシン	加々美高氏寄贈
57	Floreat	19世紀頃	1点	ミシン	加々美高氏寄贈
58	SINGER(シンガー)	19世紀	1点	ミシン	加々美高氏寄贈
59	Pegasus(ペガサス)	20世紀	1点	ミシン	加々美高氏寄贈
60	SINGER(シンガー)	20世紀	1点	ミシン	加々美高氏寄贈

【展示平面図】



シンボル展

i 縄文王国山梨 縄文の美とエネルギー

【会 期】平成19年5月26日(土)から同年6月24日(日)まで

【主 催】山梨県立博物館

【会 場】シンボル展示室

【担 当】学芸課長 中山誠二、学芸員 近藤暁子

【概 要】

本シンボル展は、「縄文の美とエネルギー」というテーマで、南アルプス市鋳物師屋遺跡から出土した重要文化財を紹介する中で、山梨に花開いた縄文文化のすばらしさを県内外に示すことを目的とした。

踊っている人物像をモチーフとしたような縄文土器、幾何学的な文様をもつ縄文土器、子どもを宿した母親を表現した大型土偶など、さまざまな表情をもつ土器や土偶は国内外から高い評価を得ている。

展示では、山梨の縄文土器の持つ美しさとエネルギー、豊かな森の中で生きた縄文人の独特の感性や世界観を感じ取ってもらうことを目指し、12点の土器を単独ケースで360度から観覧できるような工夫をおこなった。

なお、このシンボル展は県内7館と共同開催する「縄文王国山梨」展の一環として実施した。

【関連イベント】

- ・学芸員によるギャラリー・トーク  
実施日：6月3日(日)、9日(土)、17日(日)、23日(土)
- ・博物館協力員によるガイドツアー  
実施日 会期中の午前と午後を実施
- ・縄文王国スタンラリーの開催  
3月21日(水)～5月31日(木)  
6月1日(金)～8月31日(金)

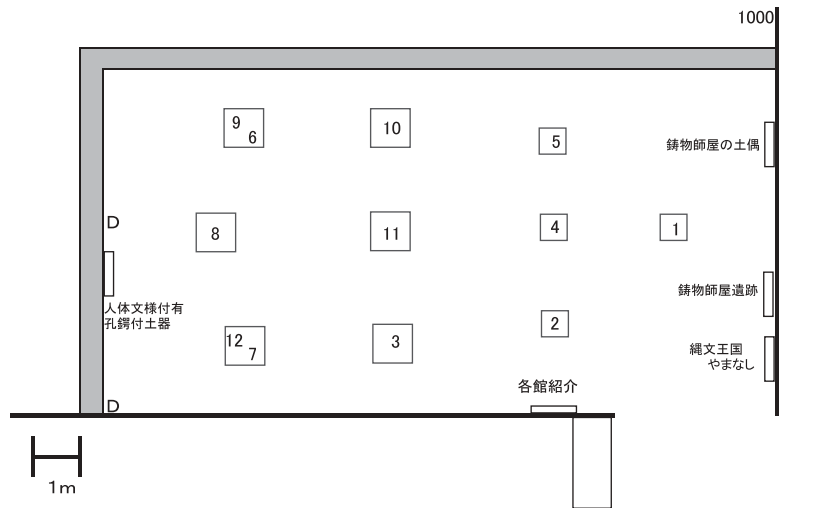
【出品資料】重要文化財 南アルプス市鋳物師屋遺跡出土 縄文土器・土偶 計12点



番号	指 定	資 料 名	員数	法量 (cm)	時 代	所蔵者
1	重要文化財	円錐形土偶	1	高25.2	縄文時代中期	南アルプス市
2	重要文化財	人体文様付有孔罅付土器	1	高54.4	縄文時代中期	南アルプス市
3	重要文化財	鉢形土器	1	高13.5	縄文時代中期	南アルプス市
4	重要文化財	浅鉢形土器	1	高7.5	縄文時代中期	南アルプス市
5	重要文化財	深鉢形土器	1	高40.5	縄文時代中期	南アルプス市
6	重要文化財	深鉢形土器	1	高28.5	縄文時代中期	南アルプス市
7	重要文化財	深鉢形土器	1	高23.0	縄文時代中期	南アルプス市

番号	指定	資料名	員数	法量 (cm)	時代	所蔵者
8	重要文化財	把手付深鉢形土器	1	高18.0	縄文時代中期	南アルプス市
9	重要文化財	有孔罎付土器	1	高19.0	縄文時代中期	南アルプス市
10	重要文化財	深鉢形土器	1	高37.5	縄文時代中期	南アルプス市
11	重要文化財	深鉢形土器	1	高42.5	縄文時代中期	南アルプス市
12	重要文化財	深鉢形土器	1	高39.5	縄文時代中期	南アルプス市

【展示平面図】



ii 歌川広重の甲州日記 - 幻のスケッチブック再発見！166年ぶりに甲斐の国に -

【会 期】平成19年6月26日（火）から同年7月29日（日）まで

【担 当】学芸員 井澤英理子、小畑茂雄

【概 要】

歌川広重が、天保12年（1841）に甲府道祖神祭の幕絵を描くために甲府に滞在した折、旅路や甲斐の人々との交流、制作活動について綴った「甲州日記」。行方不明となっていた後半部分の「甲州日記写生帳」が三年前にアメリカで再発見された。甲州道中や御岳道、身延道の風景を描いたこの「写生帳」を中心に、広重が甲斐で制作した作品や、旅で目にした甲斐の風景を描いた作品によって、広重の甲斐における制作活動と交流を紹介した。

【関連イベント】

かいじあむ講座「歌川広重の甲州旅行」

・ 開催日 平成19年7月8日（日） 午後1時30分～3時

・ 会 場 生涯学習室

・ 講 師 井澤英理子（学芸員）

ギャラリートーク

・ 開催日 平成19年7月4日（水）、15日（日）、29日（日） 午後1時30分～

【出品資料一覧】

番号	資料名	員数	材質技法	制作年	寸法cm	所蔵者
1	甲州日記写生帳「旅中心おぼへ」	和綴本 一冊	紙本墨書	天保12年頃	19.6×13.1	アメリカ 個人
2	歌川広重像（三代歌川豊国筆）	大判一枚	紙、木版多色刷	安政5年	36.1×24.2	山梨県立博物館
3	甲陽猿橋之図	大判竪二枚継	紙、木版多色刷	天保12年頃	72.524.6	山梨県立博物館
4	富士川雪景図	大判竪二枚継	紙、木版多色刷	天保12年頃	74.625.0	山梨県立博物館
5	鴻ノ台図屏風	六曲一隻	紙本着色	天保12年頃	138.2×332.4	山梨県立博物館
6	鴻ノ台図屏風下絵	めくり 一枚	紙本墨画	天保12年頃	28.1×58.4	山梨県立博物館
7	五代目大木喜右衛門夫妻像	二幅対	絹本着色	天保12年頃	各98.7×35.1	山梨県立博物館

\* 2 以外は歌川広重筆

\* 1 は毎週ページ替えを行った





また、常設展示の「江戸文化の往来」コーナーにおいて、関連展示として、以下の資料の展示を行った。

歌川広重「甲府道祖神祭幕絵 東都名所 目黒不動之瀧」、「東海道五十三次画稿」、「東海道五十三次画卷」、「甲州道中記」

【展示平面図】



展示風景

iii 「米キタ」「アスヤル」 明治四十年の大水害から百年

【会 期】平成19年8月21日（火）から同年9月24日（月）まで

【主 催】山梨県立博物館

【会 場】シンボル展示室

【担 当】学芸員 小畑茂雄、海老沼真治

【概 要】

平成19年（2007）は、山梨県における近代史上最大級の大水害である明治40年の大水害から100年を迎える年であることから、山梨の自然と人との関係を振り返る展示会として企画した。

展示内容は、明治40年の大水害に関する資料として、「米キタ」「アスヤル」と大書された障子紙（現在は軸装。笛吹市教育委員会蔵）など、罹災者の北海道移住に関する資料などの実物資料のほか、災害地や北海道移住地の写真をパネルやプロジェクターにより投影して紹介した。

展示の反響も高く、大水害や北海道移住に関する証言情報などが寄せられるなど、今後の災害史・移住史研究に向けての掘り起こしの第一歩となった。

【関連イベント】

ギャラリートーク

- ・開催日：平成19年8月25日（土） 9月15日（土） 22日（土） 24日（月） 22日は午後2時30分～、それ以外は午後1時30分～

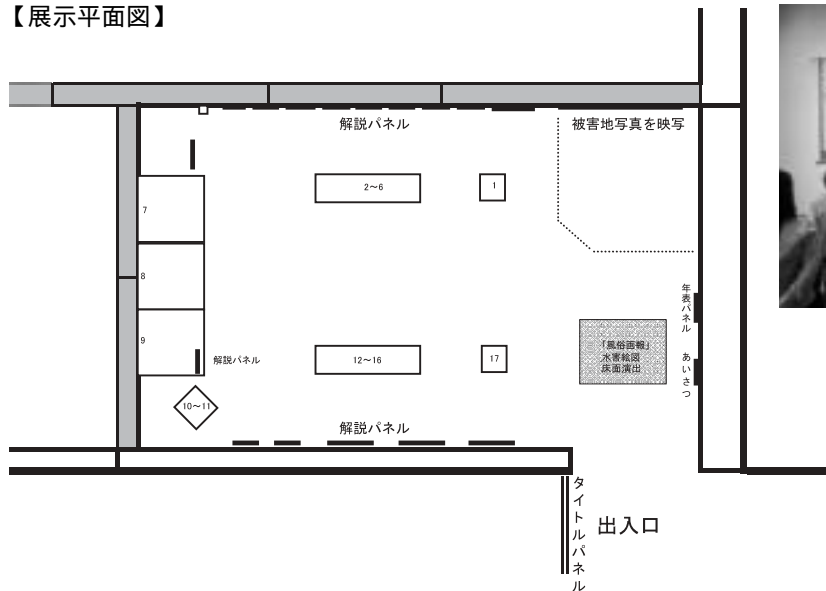
【出品資料一覧】

番号	資 料 名	員数	時 代	所蔵者
1	明治四十年八月山梨県水害地巡視日誌	1	明治40年（1907）	山梨県立博物館
2	『山梨県水害史』	1	明治44年（1911）	山梨県立博物館
3	『山梨県下二起レル山地ノ水害調査書』	1	明治41年（1908）	山梨県立博物館
4	山梨県下大洪水宮本流壯士かぞえ歌	1	明治40年（1907）	山梨県立博物館
5	災害復旧予算関係資料	1	明治40年（1907）	山梨県立博物館
6	『山梨県山林救済意見』	1	明治35年（1902）	山梨県立博物館
7	「米キタ」	1	明治40年（1907）	笛吹市教育委員会
8	「アスヤル」	1	明治40年（1907）	笛吹市教育委員会
9	「船クルアスヤル」	1	明治40年（1907）	笛吹市教育委員会
10	絵はがき（甲運亭）	1	明治末～大正時代	個人蔵
11	写真（巡查）	1	明治末～大正時代	個人蔵
12	北海道移住者調	1	明治41年（1908）	山梨県立博物館
13	北海道移住民資料	1	大正8年（1919）	山梨県立博物館



番号	資料名	員数	時代	所蔵者
14	『観光 北海道山梨村慰問特輯号』	1	昭和18年(1943)	個人蔵
15	山梨歌舞伎台本「仮名手本忠臣蔵 由良之助の段 平工門書抜」	1	大正時代	北海道開拓記念館
16	山梨歌舞伎台本「奥州安達原袖萩祭文の段 八幡太郎書抜」	1	大正時代	北海道開拓記念館
17	山梨歌舞伎台本「妹背山女庭訓 久我之助 朝顔日記 駒沢書抜」	1	大正時代	北海道開拓記念館

【展示平面図】



展示風景

iv レッドデータブックの生き物たち

【会 期】平成20年2月19日(火)から同年3月23日(日)まで

【担 当】学芸員 植月 学

【概 要】

平成17年に「2005山梨県レッドデータブック」が刊行されたのを受け、絶滅に瀕する生き物たちの現状を伝えることを目的とした。展示にあたっては、乱獲、開発など人の関与により危機に瀕している種のみでなく、逆に水田や里山の荒廃のように人が関わらなくなったことによる環境変化の影響を受けている種を取り上げることで、我々の暮らしの変化と自然環境の変化の関わりについて考えてもらうことを目指した。

【関連イベント】

講座&講演会 「人と動物の過去、現在、未来」

・開催日 平成20年3月2日(日) 午後1時30分～

・会 場 生涯学習室

・内 容 「ツキノワグマと共存するには」 吉田 洋氏(山梨県環境科学研究所)  
「生物多様性とレッドリスト/レッドデータブック」

植原 彰氏(乙女高原ファンクラブ代表世話人)

「ニホンオオカミと人のかかわり」 植月 学 (当館学芸員)

ギャラリー・トーク

・開催日 平成20年2月24日(日)午後1時30分～、3月9日(日)午前11時～

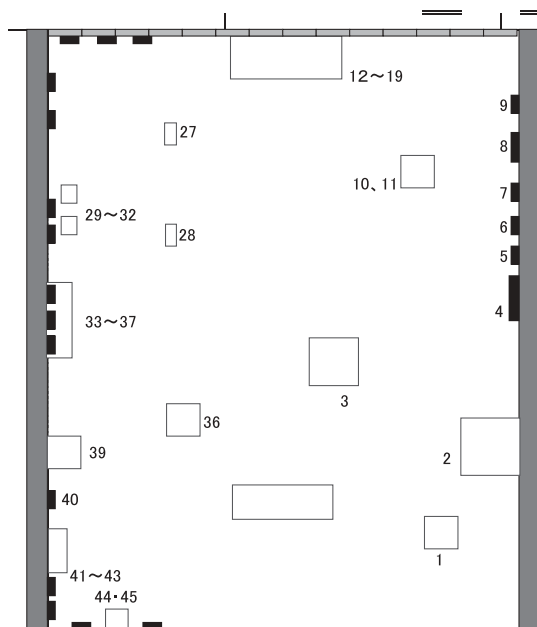
【出品資料一覧】

番号	資料名	産地	員数	種別	時代	所蔵者/撮影者
1	トキ	新潟県	1	はく製	現代	環境省生物多様性センター
2	イヌワシ	山梨県	1	はく製	現代	山梨県鳥獣センター
3	クマタカ	山梨県	1	はく製	現代	山梨県鳥獣センター
4	間の岳とキタダケソウ群落	山梨県	1	写真	現代	宮下重晴氏
5	キタダケソウ	山梨県	1	写真	現代	村松正文氏



番号	資料名	産地	員数	種別	時代	所蔵者/撮影者
6	キタダケトリカブト	山梨県	1	写真	現代	村松正文氏
7	ホテイラン	山梨県	1	写真	現代	村松正文氏
8	サル食害	山梨県	1	写真	現代	三宅八郎氏
9	シカ食害	山梨県	1	写真	現代	樋口直人氏
10	ライチョウ(夏羽)	長野県	1	はく製	現代	大町山岳博物館
11	ライチョウ(冬羽)	山梨県	2	写真	現代	村山 力氏
12	アカショウビン	山梨県	1	はく製	現代	山梨県鳥獣センター
13	コノハズク	山梨県	1	はく製	現代	山梨県鳥獣センター
14	ブッポウソウ	山梨県	1	はく製	現代	山梨県鳥獣センター
15	ヨタカ	山梨県	1	はく製	現代	山梨県鳥獣センター
16	アカモズ	山梨県	1	はく製	現代	山梨県鳥獣センター
17	チゴモズ	山梨県	1	はく製	現代	山梨県鳥獣センター
18	サンコウチョウ	山梨県	1	はく製	現代	山梨県鳥獣センター
19	ミゾゴイ	山梨県	1	はく製	現代	山梨県鳥獣センター
22	キキョウ	山梨県	1	写真	現代	村松正文氏
23	フジバカマ	山梨県	1	写真	現代	村松正文氏
24	セイタカアワダチソウ	山梨県	1	写真	現代	村松正文氏
25	トノサマガエル	山梨県	1	写真	現代	村松正文氏
26	ブルーギル	山梨県	1	写真	現代	村松正文氏
27	ホトケドジョウ	山梨県	30	実物	現代	山梨県立富士湧水の里水族館
28	メダカ	山梨県	30	実物	現代	勝俣源一氏
29	里山の昆虫	山梨県	12	標本	現代	環境省生物多様性センター
30	トンボ類	山梨県	8	標本	現代	環境省生物多様性センター
31	メダカの学校	山梨県	1	写真	現代	
32	ピオトープ	山梨県	1	写真	現代	富士吉田市立富士小学校
33	県内で見られる蝶類	山梨県	130	標本	現代	早見正一氏
34	チョウから見えること	山梨県	1	写真	現代	北原正彦氏
35	火入れ	山梨県	1	写真	現代	富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産保護組合
36	雑木林の下草刈り	山梨県	1	写真	昭和38年	内田 宏氏
37	乙女高原のスミレたち	山梨県	1	写真	現代	植原 彰氏
38	ツシマヤマネコ	長崎県	1	はく製	現代	多様性センター
39	ニホンオオカミ	山梨県	1	頭骨	江戸～明治	笛吹市・個人
40	ニホンカワウソ		1	写真	現代	羽村市動物公園
41	ツキノワグマ	山梨県	1	はく製	現代	山梨県立博物館
42	ツキノワグマによる食害	山梨県	1	写真	現代	吉田 洋氏
43	ツキノワグマの学習放獣	山梨県	1	写真	現代	吉田 洋氏
44	ヤマネ	山梨県	1	はく製	現代	ヤマネミュージアム
45	アニマル・パスウェイ	山梨県	1	写真2点	現代	ヤマネミュージアム

## 【展示平面図】



展示風景

(3) 刊行物

	名 称	発刊日	体 裁
1	『大河ドラマ特別展「信玄・謙信、そして伝説の軍師」図録』	平成19年4月5日	A4版、240頁
2	「縄文の美とエネルギー 南アルプス市鋳物師屋遺跡の縄文土器」展解説リーフレット	平成19年5月26日	A4版、4頁
3	「歌川広重の甲州日記」展解説リーフレット	平成19年6月26日	A4版、4頁
4	『人と動物の昭和誌』図録	平成19年7月20日	B5変形版、153頁
5	『『米キタ』『アスヤル』』展解説リーフレット	平成19年8月21日	A4版、4頁
6	『北斎と広重 二人の富嶽三十六景』図録	平成19年10月13日	A4版、172頁
7	『かいじあむ とっておきの収蔵品』図録	平成20年1月2日	A4版、32頁
8	「レッドデータブック」展解説リーフレット	平成20年2月19日	A4版、4頁

1はNHK・NHKプロモーション編集・発行、それ以外は全て山梨県立博物館編集・発行である。



1



2



3



4



5



6



7



8

## 第 5 章 企画交流事業

### (1) 生涯学習サービス事業

平成19年度における各種生涯学習サービス事業の結果は次のとおりである。多種多様な生涯学習サービス事業の提供を行ったが、とりわけ昨年の特徴として、「博物館コンサート」をはじめ子ども達に親しまれる博物館となるべく体験型の事業をこれまで以上に多く導入したことが挙げられる。今後も様々な利用者に活用される博物館を目指すこととしたい。

#### 講演会・講座・シンポジウム等

##### 講演会

開催年月日	講演者	タイトル	開催場所	参加者 人
平成19年 4月 7日(土)	佐々木 満(甲府市教育委員会) 林 陽一郎(山梨郷土研究会)	甲州寺子屋 武田城下町と甲府城下町	恩賜林記念館	80
平成20年 1月13日(日)	増澤 昌司(マサザワマシン)	アンティークマシンの魅力	県立博物館	30
3月 2日(日)	吉田 洋(山梨県環境科学研究所) 植原 彰(乙女高原ファンクラブ代表世話人) 植月 学(当館学芸員)	人と動物の過去、現在、未来	県立博物館	70

##### 講座

開催年月日	講演者	タイトル	開催場所	参加者 人
平成19年 5月20日(日)	平川 南(当館館長)	館長トーク 古代国家と稲	県立博物館	59
7月15日(日)	平川 南(当館館長)	館長トーク 都と村の信仰	県立博物館	50
9月16日(日)	平川 南(当館館長)	館長トーク 技術から古代・中世を読む	県立博物館	40
11月25日(日)	平川 南(当館館長)	館長トーク 古代の村の姿	県立博物館	32
平成20年 1月20日(日)	平川 南(当館館長)	館長トーク 地名を探る	県立博物館	41
3月 9日(日)	平川 南(当館館長)	館長トーク 列島の東と西	県立博物館	39
平成19年 5月26日(土)	沓名 貴彦(当館学芸員)	かいじあむ講座 親子で探る文化財	県立博物館	20
7月 8日(日)	井澤英理子(当館学芸員)	かいじあむ講座 歌川広重の甲州旅行	県立博物館	40
8月 4日(土)	丸尾 依子(当館学芸員)	かいじあむ講座 写真を『読む』?	県立博物館	20
10月21日(日)	井澤英理子(当館学芸員)	かいじあむ講座 北斎と広重の富士	県立博物館	54
11月 4日(日)	中山 誠二(当館学芸課長)	かいじあむ講座 栽培植物の起源を探る	県立博物館	32
平成20年 2月10日(日)	近藤 暁子(当館学芸員)	かいじあむ講座 山のホトケ 蔵王権現	県立博物館	28
平成19年 4月28日(土)	高橋 修(当館学芸員)	かいじあむ古文書講座 古文書の読み方の基礎の基礎	県立博物館	103
5月12日(土)	海老沼真治(当館学芸員)	かいじあむ古文書講座 「NHK大河ドラマ風林火山特別展」関係古文書を読む	県立博物館	90
6月 2日(土)	西川 広平(当館学芸員)	かいじあむ古文書講座 「風林火山」関係古文書を読む	県立博物館	110
6月30日(土)	小畑 茂雄(当館学芸員)	かいじあむ古文書講座 かいじあむ収蔵の武田関係古文書を読む	県立博物館	99
9月 1日(土)	高橋 修(当館学芸員)	かいじあむ古文書講座 中級編 1	県立博物館	40
10月20日(土)	海老沼真治(当館学芸員)	かいじあむ古文書講座 初級編 1	県立博物館	58
11月10日(土)	小畑 茂雄(当館学芸員)	かいじあむ古文書講座 初級編 2	県立博物館	42
平成20年 1月12日(土)	西川 広平(当館学芸員)	かいじあむ古文書講座 中級編 2	県立博物館	38

##### シンポジウム・共催セミナー

開催年月日	講演者	開催場所	参加者 人
平成19年 4月15日(日)	県立博物館・山梨郷土研究会シンポジウム/NHK公開セミナー 「風林火山-武田・上杉、語り継がれる群像-」 NHK公開セミナー講演会：重門冬二(作家)「戦国の激流を泳ぎぬく-風林火山・山本勘助-」 シンポジウム 報告：小和田哲男(静岡大学教授)「甲陽軍鑑の世界について」 平山 優(山梨県史編さん室主査)「信玄と謙信、二人の個性について」 西川 広平(当館学芸員)「武田氏系図の伝承について」 阿部 哲人(米沢市上杉博物館学芸員)「米沢藩主上杉氏への道について」 高橋 修(茨城大学教授)「甲越軍学の軌跡について」	県総合教育センター	200
平成20年 1月27日(日)	帝京大学山梨文化財研究所・山梨県立博物館主催、古代甲斐国官衙研究会協力「古代地域社会の衝(チマタ)をめぐる諸問題」 笹本正治(信州大学文学部)「古代と中世の衝」 小嶋芳孝(金沢学院大学美術文化学部)「官衙からみた古代の衝-古代能登国の事例から」 荒井健治(府中市教育委員会)「武蔵国府域における古代の衝」 田中広明(7 埼玉県埋蔵文化財調査事業団)「土器の交流からみた古代の衝」 平野 修(帝京大学山梨文化財研究所)「信仰関連遺構・遺物からみた古代の衝」	県立博物館	100

講演会・講座・シンポジウム等参加者数合計

1,515

体験プログラム

日 時	内 容	開催場所	参加者 人
平成19年 4月 8日(日)	民俗芸能Live四剣の舞	県立博物館エントランス	700
平成20年 3月20日(日)	民俗芸能Live 笹子追分人形芝居	県立博物館ロビー	100
平成19年 4月22日(日)	ボランティアによるお庭の見どころガイド	県立博物館庭	10
5月19日(土)	ボランティアによるお庭の見どころガイド	県立博物館庭	15
6月10日(日)	ボランティアによるお庭の見どころガイド	県立博物館庭	10
7月 7日(土)	ボランティアによるお庭の見どころガイド	県立博物館庭	5
8月25日(土)	ボランティアによるお庭の見どころガイド	県立博物館庭	8
10月28日(日)	ボランティアによるお庭の見どころガイド	県立博物館庭	5
11月17日(土)	ボランティアによるお庭の見どころガイド	県立博物館庭	9
12月 9日(日)	ボランティアによるお庭の見どころガイド	県立博物館庭	3
平成20年 1月27日(日)	ボランティアによるお庭の見どころガイド	県立博物館庭	11
3月23日(日)	ボランティアによるお庭の見どころガイド	県立博物館庭	10
平成19年 4月14日(土)	かいじあむ子ども工房 昔のおもちゃを作って遊ぼう！(紙とんぼ作り)	県立博物館	30
5月 3日(水)	かいじあむ子ども工房 昔のおもちゃを作って遊ぼう！(子どもの日イベント)	県立博物館	240
5月 6日(日)	かいじあむ子ども工房 昔のおもちゃを作って遊ぼう！(子どもの日イベント)	県立博物館	370
5月12日(土)	かいじあむ子ども工房 昔のおもちゃを作って遊ぼう！(びゅんびゅんごま作り)	県立博物館	60
6月 9日(土)	かいじあむ子ども工房 昔のおもちゃを作って遊ぼう！(ペーパークラフト作り)	県立博物館	30
6月30日(土) ・ 7月 1日(日)	かいじあむ子ども工房 昔のおもちゃを作って遊ぼう！(七夕飾り作り)	県立博物館	100
7月28日(土)	かいじあむ子ども工房 昔のおもちゃを作って遊ぼう！(竹の水鉄砲作り)	県立博物館	60
8月18日(土)	かいじあむ子ども工房 昔のおもちゃを作って遊ぼう！(ピンホールカメラ作り)	県立博物館	60
9月 8日(土)	かいじあむ子ども工房 昔のおもちゃを作って遊ぼう！(昔のおもちゃで遊ぼう)	県立博物館	40
10月13日(土)	かいじあむ子ども工房 浮世絵をすってみよう！	県立博物館	45
11月17日(土)	かいじあむ子ども工房 浮世絵をすってみよう！	県立博物館	70
12月22日(土)	かいじあむ子ども工房 むかしのおもちゃで遊んでみよう！	県立博物館	15
平成20年 1月19日(土)	かいじあむ子ども工房 作ってあそぼう お手玉を作ってあそぼう！	県立博物館	40
2月16日(土)	かいじあむ子ども工房 作ってあそぼう たこあげをしてあそぼう！	県立博物館	30
3月15日(土)	かいじあむ子ども工房 作ってあそぼう お茶の実で笛を作ろう！	県立博物館	40
平成19年 5月 4日(金) ・ 5月 5日(土)	かいじあむ子ども信玄まつり	県立博物館ウッドデッキ	1000
9月17日(月)	県立博物館コンサート(マリナーズ)	県立博物館エントランス	100
11月 3日(土)	特別展おもしろ講座 飛び出す浮世絵を作って、特別展のかくれた秘密を探る	県立博物館	245
11月23日(金)	かいじあむ収穫祭	県立博物館古代の甕	200
平成20年 1月 5日(土)	かいじあむ餅つき大会	県立博物館体験学習室	200

体験プログラム参加者数合計

3,861

(2) 博学連携事業

教育課程による学校利用の促進、定着を図れるよう、総合教育センターや義務教育課、高校教育課が主催する各種研修等において教職員に対し、博物館活用の手だてを紹介してきた。より学校の実態に則し、教育活動に資することができるよう努めていきたい。

かいじあむティーチャーズクラブ

i 活動の目的

平成17年度まで『博物館活用研究会』として、指導主事、教育センター、各教育事務所より推薦のあった学校教員の中から博学連携の方策を検討する委員会を組織していた。

平成17年10月に開館し多くの来館者を受け入れる態勢が整い、博学連携も今まで以上に幅広く呼びかける必要性がでてきた。そこで平成18年度より広く(公募で)学校教員を募集し、名称も新たに『かいじあむティーチャーズクラブ』として研究会の運営を行った。このクラブでは、教員の博物館を活用した授業実践を主とし、その蓄積を図り、学校現場でのこれからの活用の参考事例としての役割を果たすことを目的とする。

ii 会員数

校 種	会員数(人)
小学校	11
中学校	9
高等学校、その他	28
総計	48

## iii 活動実績

- ・平成19年6月8日(金) 第1回研究会 実践研究の進め方の提案等
- ・ 8月21日(火) 夏季研修会 展示の教材化について
- ・平成20年2月14日(木) 第2回研究会 実践研究発表、意見交換等
- ・ 3月28日(金) 『博物館活用事例集』発行

授業の一環としての博物館利用

授業の一環としての博物館利用一覧

来館日時	学校名	人数(人)		来館日時	学校名	人数(人)	
		児童・生徒	引率			児童・生徒	引率
平成19年4月12日(木)	早川北小学校	14	7	7月10日(火)	敷島中学校	2	1
4月12日(木)	早川中学校	6	3	7月10日(火)	目黒区立第三中学校	12	8
4月18日(水)	笛川中学校	72	6	7月12日(木)	豊富小学校	53	2
4月18日(水)	身延中学校	49	3	7月13日(金)	吉田高等学校	21	2
4月18日(水)	増穂中学校	14	1	7月13日(金)	富士見支援学校旭分校	6	8
4月19日(木)	増穂中学校	26	0	7月13日(金)	目黒区立目黒中央中学校	196	18
4月20日(金)	勝沼中学校	108	6	7月18日(水)	増穂西小学校	5	1
4月22日(日)	七保中学校	58	6	7月27日(金)	都留児童相談所	15	15
5月1日(火)	石和中学校	221	12	8月22日(水)	富士吉田市教育委員会	34	7
5月8日(火)	葦崎西中学校	68	3	8月30日(木)	御坂西小学校	111	4
5月9日(水)	泉中学校	32	5	8月30日(木)	山梨園芸高等学校	20	2
5月10日(木)	双葉中学校	147	7	9月12日(水)	山梨学院大学附属小学校	7	2
5月10日(木)	小菅中学校	11	3	9月12日(水)	山梨学院大学附属小学校	17	1
5月11日(金)	浅川中学校	141	10	9月13日(木)	山梨学院大学附属小学校	15	1
5月11日(金)	若草中学校	2	0	9月20日(木)	かえで支援学校	18	9
5月11日(金)	白根巨摩中学校	12	0	9月20日(木)	かえで支援学校	11	5
5月15日(火)	都留第二小学校	162	9	9月21日(金)	下吉田第二小学校	113	6
5月16日(水)	忍野小学校	94	4	9月21日(金)	大里小学校	115	5
5月17日(木)	駿台甲府小学校	66	5	10月2日(火)	加納岩小学校	72	5
5月17日(木)	白根百田小学校	65	3	10月2日(火)	富士小学校	54	4
5月18日(金)	吉田高等学校	21	2	10月2日(火)	白根源小学校	31	2
5月19日(土)	都留第一中学校	102	6	10月2日(火)	島田小学校	23	4
5月19日(土)	都留高等学校	30	4	10月3日(水)	羽黒小学校	96	6
5月22日(火)	富竹中学校	103	7	10月3日(水)	大月東小学校	43	4
5月22日(火)	敷島中学校	20	1	10月3日(水)	菱山小学校	15	2
5月24日(木)	小立小学校	61	4	10月4日(木)	大里小学校	130	6
5月25日(金)	島田中学校	22	3	10月4日(木)	若草小学校	80	4
5月25日(金)	江戸川女子高等学校	185	6	10月4日(木)	山梨大学人間教育学部附属小学校	109	4
5月29日(火)	下吉田東小学校	51	4	10月4日(木)	八田小学校	84	5
5月30日(水)	下山中学校	8	1	10月5日(金)	山中小学校	30	3
5月30日(水)	石和高等学校	129	10	10月5日(金)	吉田西小学校	95	4
5月31日(木)	山梨学院大学附属小学校	64	4	10月5日(金)	吉田小学校	136	5
6月7日(木)	勝山中学校	40	5	10月5日(金)	吉田高等学校	22	2
6月7日(木)	ろう学校	12	12	10月10日(水)	朝日小学校	53	3
6月8日(金)	竜王北中学校	2	1	10月10日(水)	山中小学校	42	3
6月8日(金)	石和高等学校	150	10	10月10日(水)	石田小学校	86	4
6月15日(金)	石和高等学校	150	11	10月11日(木)	富士川小学校	20	2
6月20日(水)	鯨沢小学校	30	2	10月11日(木)	栄小学校	37	4
6月20日(水)	鯨沢中部小学校	2	2	10月11日(木)	甲府東小学校	75	4
6月20日(水)	五開小学校	2	1	10月12日(金)	中央区立阪本小学校	19	6
6月20日(水)	わかば支援学校	21	7	10月12日(金)	玉諸小学校	85	7
6月21日(木)	高根中学校	102	7	10月12日(金)	国母小学校	103	7
6月23日(土)	西浜中学校	41	9	10月12日(金)	伊勢小学校	90	7
6月29日(金)	梁川小学校	19	4	10月16日(火)	朝日小学校	31	1
7月1日(日)	江戸川学園取手中学校	334	14	10月16日(火)	八幡小学校	21	3
7月4日(水)	目黒区立第九中学校	69	10	10月16日(火)	禾生第一小学校	73	4
7月5日(木)	中富中学校	36	4	10月17日(水)	都留文科大学附属学校	32	3

第 編 事業・諸活動

来館日時	学 校 名	人数(人)		来館日時	学 校 名	人数(人)	
		児童・生徒	引率			児童・生徒	引率
10月17日(水)	八幡小学校	21	3	11月23日(金)	山梨園芸高等学校	14	6
10月18日(木)	南湖小学校	62	4	11月29日(木)	牧丘第二小学校	11	2
10月18日(木)	増穂小学校	116	6	11月30日(金)	鵜沢小学校	30	1
10月19日(金)	舞鶴小学校	62	5	11月30日(金)	鵜沢中部小学校	2	1
10月23日(火)	竜王北小学校	69	4	11月30日(金)	五開小学校	4	1
10月25日(木)	湯田高等学校	34	2	11月30日(金)	大河内小学校	21	2
10月26日(金)	原小学校	14	2	11月30日(金)	上野原中学校	146	9
10月26日(金)	静川小学校	7	1	12月4日(火)	富士河口湖高等学校	118	7
10月26日(金)	西嶋小学校	17	2	12月5日(水)	富士河口湖高等学校	146	8
10月26日(金)	豊小学校	64	3	12月5日(水)	やまびこ支援学校	30	21
10月26日(金)	畑倉小学校	10	2	12月11日(火)	秋山中学校	14	2
10月26日(金)	日川高等学校	22	5	12月13日(木)	武川小学校	27	2
10月30日(火)	須玉小学校	64	3	12月14日(金)	一宮北小学校	18	3
10月30日(火)	わかば支援学校	30	11	12月18日(火)	猿橋小学校	53	3
10月31日(水)	東雲小学校	39	2	12月18日(火)	田富南小学校	52	4
11月1日(木)	上野小学校	27	2	平成20年1月22日(火)	田富北小学校	60	3
11月2日(金)	八幡小学校	31	3	2月1日(金)	押原小学校	48	3
11月2日(金)	甲陵中学校	40	2	2月8日(金)	石和東小学校	50	2
11月7日(水)	常永小学校	54	4	2月13日(水)	農林高等学校	24	3
11月8日(木)	竜王西小学校	60	4	2月14日(木)	明野小学校	49	3
11月8日(木)	上条中学校	120	11	2月14日(木)	葎崎小学校	62	3
11月9日(金)	葎崎北東小学校	86	6	2月26日(火)	中道北小学校	5	1
11月13日(火)	境川小学校	41	3	2月27日(水)	増穂中学校	5	3
11月14日(水)	山梨高等学校	182	7	3月4日(火)	朝日小学校	56	3
11月15日(木)	三村小学校	60	4	3月7日(金)	甲西中学校	13	2
11月15日(木)	春日居小学校	69	3	3月13日(木)	中道南小学校	23	2
11月15日(木)	芦安中学校	1	0	3月14日(金)	玉幡中学校	77	5
11月16日(金)	長坂小学校	34	3	3月15日(土)	玉幡中学校	8	0
11月16日(金)	猿橋中学校	45	3	3月18日(火)	大月東中学校	94	6
11月21日(水)	小泉小学校	13	3	3月19日(水)	石和北小学校	40	2
11月21日(水)	芦川小学校	2	2		小 計	8,586	692
11月21日(水)	下山小学校	15	2		總 計		9,278
11月21日(水)	田富南小学校	43	3				

出前授業

出前授業実施一覧

年月日	学校名	学年	内 容	担当者	受講人数(人)
平成19年4月27日(金)	吉田高等学校	3年	富士北麓地域の産業の昔と今。博物館を見る上でのポイント。	小畑 茂雄 望月 淳也	21
5月16日(水)	塩山高等学校	1年	地域を知る。	高橋 修	25
6月1日(金)	石和高等学校	1年	博物館を利用した調査への導入授業。	望月 淳也	150
7月6日(金)	吉田高等学校	3年	富士北麓地域の産業の昔と今。博物館を見る上でのポイント。	小畑 茂雄 望月 淳也	21
7月11日(水)	石和高等学校	3年	生涯学習の拠点として活用するために。	出月 洋文	145
9月21日(金)	吉田高等学校	3年	富士北麓地域の産業の昔と今。博物館を見る上でのポイント。	出月 洋文 望月 淳也	22
10月29日(月)	明野中学校	1～3年	地域に息づく武田の歴史	出月 洋文	129
11月1日(木)	上条中学校	1年	博物館を利用した調査への導入授業。社会科の学習にどう生かすか。	望月 淳也	120
11月8日(木)	山梨南中学校	2年	山梨と京都の寺院について	平山 智英	79
11月9日(金)	山梨南中学校	2年	山梨と京都の寺院について	平山 智英	79
平成20年1月11日(金)	吉田高等学校	3年	北斎と広重が描いた富士山 - 近世の人々に受け入れられた霊峰の姿について -	出月 洋文	160
1月30日(水)	日川高等学校	3年	古文書に見る甲斐の歴史	高橋 修	275
2月29日(金)	伊勢小学校	5年	江戸時代の稲のリサイクルと米の遺物から考える稲作の歴史	高橋 修	91
總 計					1,317



## 職場体験

## 職場体験実施一覧

年 月 日	学校名	学年	人数(人)
平成19年5月31日(木)・6月1日(金)	丹波中学校	2	1
7月29日(日)・31日(火)	山梨高等学校	2	6
7月29日(日)・31日(火)8月1日(水)	峡南高等学校	2	2
8月7日(火)・8日(水)	勝沼中学校	2	5
8月10日(金)	増穂中学校	2	1
10月25日(木)	若草中学校	2	1
11月1日(木)	塩山中学校	2	3
12月7日(金)	御坂中学校	1	8
小計(中学校)			19
小計(高等学校)			8
総計			27

## 「未来の山梨を描こう！」募集

常設展示「共生する社会」には子ども達による「未来の山梨」の絵を紹介するコーナーがある。県内の子ども達に絵の募集をしたところ、次の応募があった。

	応募学校数	応募人数
小学校	20	211
中学校	5	27
小計	25	238

## 大学教育との連携

## i 学芸員実習

【期 間】平成19年8月13日(月)から23日(木)まで(計10日間)

【受け入れ人数】13名(男6名、女7名)

## 【実習生所属大学】

- ・山梨県内：都留文科大学(2名)
- ・山梨県外：専修大学大学院(1名)、金沢大学(1名)、川村学園女子大学(1名)、学習院大学(1名)、国土館大学(2名)、実践女子大学(1名)、中央大学(1名)、筑波大学(1名)、同志社大学(1名)、苫小牧駒澤大学(1名)

## 【実習内容】

- ・県立博物館の概要と役割などについての概説と施設見学
- ・学芸員の行う調査研究・展示・資料保存などの各業務についての分野別講義および実習
- ・企画交流事業についての講義・実習
- ・日常的な学芸業務の実習(展示室の開閉、展示室・資料の点検)
- ・博物館職員との意見交換会

## ii 大学非常勤講師の受託

担当職員	大 学 名	期 間
植 月 学	早稲田大学教育学部非常勤講師(博物館実習H)	平成19年4月16日～平成20年1月21日

## 発行物

「博物館活用研究会」を発展させ、「かいじあむティーチャーズクラブ」として会員を県内の教職員より広く一般公募した。その会員が実践した事例を報告としてまとめ、県内の小中高特別支援学校全校に配布し、学校現場の利用促進を図った。

名 称	発刊日	体裁
『博物館活用事例集 山梨県立博物館を活用したティーチャーズクラブの先生による学習活動事例集』	平成20年3月31日	C Dデータ

## (3) 博物館同士のネットワーク

## ミュージアム甲斐・ネットワーク

県内の博物館等が連携を強化して集客向上を図るとともに、“やまなし学”の推進と県民文化の更なる

向上を目指して、従来の「ハブ博物館ネットワーク」に替え、それよりさらに充実・発展させた「ミュージアム甲斐・ネットワーク」(以下「ネットワーク」)事業を新たに構築することとした。平成19年9月14日現在でネットワーク参加館は103館である。

ネットワーク事業の体系は次のとおりである。

- 1 ミュージアム甲斐・ネットワーク会議(普及・啓発事業の実施)
- 2 ミュージアム甲斐・ネットワーク調査研究(共同調査・研究)
- 3 アートミュージアム・ネットワーク(県内美術館コレクションの貸借促進)
- 4 「ミュージアム甲斐in(会員)」募集(割引制度の導入促進)

平成19年度の活動としてはネットワーク会議を実施したほかPR用リーフレットの作成、スタンプラリーの実施(平成19年10月から)等を行った。

また県立博物館が主体となって実施する事業である「博物館を活用した夏休み自由研究プロジェクト」も昨年度に引き続き実施された。

ミュージアム甲斐・ネットワーク会議開催一覧

開催日時	名称	開催場所	参加館数 館
平成19年8月30日(木)	第1回ミュージアム甲斐・ネットワーク会議	県立博物館	57

博物館を活用した夏休み自由研究プロジェクト

開催日時	開催場所	参加者数 人	参加館数 館
平成19年7月16日(月)	アイメッセ山梨	1,000	28
8月2日(木)～8月7日(火)	岡島	2,350	

博物館を活用した夏休み自由研究プロジェクト参加者数 3,350

縄文王国山梨

縄文王国山梨は山梨県内の縄文時代の出土品を収蔵・展示する県内7館が連携し、共同企画の展示・イベント等を実施するネットワークである。構成館は県立博物館の他に北杜市長坂郷土館、北杜市埋蔵文化財センター、韮崎市民俗資料館、南アルプス市教育委員会、笛吹市・甲州市組合立釈迦堂遺跡博物館、山梨県立考古博物館である。

平成19年度における活動は第4章にある「縄文王国山梨 縄文の美とエネルギー」展の項目を参照(45頁)。

#### (4) 広報

年4回の「かいじあむ通信 Kai(交い)」の発行や、常設展チラシ・ポスター・パンフレット、企画展・シンボル展のチラシ・ポスター、県政だより「ふれあい」、県教育委員会広報誌「教育やまなし」、県政テレビ放送、県政ラジオ放送等の各種媒体を用いて広報に努めてきた。

今後とも広報活動の充実に努め、県立博物館のPRを積極的に実施する。

各種だより、リーフレット類一覧

上述のとおり、広報には各種媒体を用いてきたが、多岐にわたるため、紙媒体で県立博物館が主体となって作成したものを中心に掲載する。

誌名	発行期日
「かいじあむ通信 Kai(交い)」 夏休み特別号	平成19年6月
「かいじあむ通信 Kai(交い)」 第6号	平成19年6月
「かいじあむ通信 Kai(交い)」 第7号	平成19年9月
「かいじあむ通信 Kai(交い)」 第8号	平成19年12月

## 第 6 章 施設の整備・管理

### (1) 安全快適な施設づくり

県立博物館では、山梨の歴史や文化について、人々が快適に学ぶ環境を整えるために、安全かつ快適な施設・整備の管理に努めている。

#### 防災訓練等非常時における対応訓練の実施

県立博物館では、来館者の安全を守るための避難誘導や初期消火等を円滑に進めるため職員を対象に実施している。

#### ・防災訓練

	開催日時	内 容
第 1 回	平成19年 6 月29日 (金)	・ 消火器・消火栓設置場所及び非常口・誘導灯設置場所の確認
		・ 非常口解錠操作方法の確認
		・ 避難誘導経路の確認
第 2 回	平成19年 7 月12日 (木)	・ 第 1 回目と同内容を実施
第 3 回	平成19年 9 月 7 日 (金)	・ 避難経路・消防設備等の確認
		・ 火災を想定した常設展示室からの避難誘導訓練
		・ 休日夜間における非常時連絡体制の確認
第 4 回	平成20年 3 月21日 (金)	・ 避難場所・非常口・避難経路の事前確認
		・ 非常口解錠操作方法の確認
		・ 火災を想定した展示室からの障害者等(車いす使用者)を避難場所への誘導訓練

#### ・その他の訓練

	開催日時	内 容
	平成19年 9 月28日 (金)	・ 来館者の緊急時における A E D 操作法研修 ( 笛吹市消防本部職員講師 )

### (2) 施設開放

県立博物館は開かれた博物館を目指し、施設の一部を一般に開放している。その利用状況は次のとおりである。

	生涯学習室		交 流 室	
	利用人数 人	利用金額 円	利用人数 人	利用金額 円
4 月	40	900		
5 月	145	10,640	18	440
6 月	150	9,120		
7 月	349	31,920		
8 月	336	23,560		
9 月	215	13,370		
10月	296	21,720	8	440
11月	257	12,270	6	
12月	187	17,000		
1 月	125	34,200		
2 月	234	21,420	10	330
3 月	173			
計	2,507	196,120	42	1,210

なお、上記部屋については、学校利用の折にも開放し、平成18年度実績は567人であった。よって、生涯学習室等利用者の総計は、3,116人である。

## 第 7 章 情報の発信と公開

### (1) 資料閲覧室の利用状況

資料閲覧室は、博物館展示を通して利用者が持った歴史等に対する探求心や日常の学習意欲に応えるための資料・情報を提供するとともに、研究者、学芸員等の調査研究に必要な文献を的確に収集、整備し、その研究活動を支援する役割を担う。

#### 利用時間

午前 9 時30分から午後 5 時まで

( 書庫内資料の請求、複写申込は午後 4 時30分まで )

入室は無料。

#### 資料検索

資料閲覧室内の利用者端末 ( 2 台 ) により収蔵資料、図書・雑誌等の書誌情報の検索が可能となっている。フリーワード検索では、資料名、作者名、発行者名などの一部からも検索ができる。

ホームページの収蔵資料案内からも同様に検索が行える。

#### 資料閲覧

- ・ 図書、雑誌は来館者が自由に閲覧できる。室内には各分野の辞典類や歴史に関する書籍、郷土研究についての資料、山梨県史や県内の市町村史誌類、逐次刊行物など約2,400冊が配架されている。書庫内の図書資料も職員に請求することにより、閲覧が可能である。
- ・ 歴史資料等のうち「甲州文庫」の画像データは資料閲覧室内の端末で閲覧できる。
- ・ 「甲州文庫」及び古文書のデジタル・マイクロフィルムは即日閲覧可能で、コピーもできる。
- ・ 原資料については、「歴史資料等閲覧申請書」または「歴史資料等撮影申請書」により事前に申し込み博物館職員の立会いのもと所定の日時・場所で閲覧、撮影を行う。

#### レファレンスサービス

質問や調査事項に応じて、参考資料や文献を紹介し、利用者の調査・研究活動の援助を行っている。専門的な質問については、必要に応じて学芸員が調査研究の成果に基づき回答している。

#### コピーサービス ( 有料 )

著作権法に基づき、博物館所蔵の図書・雑誌等の活字資料、甲州文庫等のマイクロ・デジタル化資料の複写サービスを行っている。

#### 展示関連資料紹介

当館で開催する企画展、シンボル展への関心や理解を更に深めてもらうために、期間中資料閲覧室内に関連資料の紹介コーナーを設けた。

#### キッズライブラリー

山梨発見エリア内のキッズライブラリーには、小・中学生向けの歴史の調べ方や自然観察の本、幼児のための絵本などを揃えている。

#### ビデオライブラリー

山梨発見エリア内のビデオブース ( 3 台 ) では、歴史、文化財に関するビデオ、DVDなどを視聴することができる。

#### 平成19年度資料閲覧室利用状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
入	室 者	959人	1,241人	455人	583件	874人	586人	562人	674人	242人	415人	342人	373人	7,306人
ビ	デ オ 利 用	93件	98件	82件	83件	86件	74件	90件	79件	57件	86件	76件	78件	982件
レファレンス	レ ファ レ ン ス	67件	58件	42件	38件	64件	68件	70件	61件	18件	62件	52件	48件	659件
	利 用 相 談	55件	68件	27件	45件	42件	41件	42件	53件	29件	44件	47件	39件	543件
	小 計	122件	126件	69件	83件	117件	109件	112件	114件	58件	106件	99件	87件	1,202件

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
複写	件数	63件	69件	39件	51件	62件	33件	32件	31件	23件	33件	33件	27件	496件
	電子式	1,564枚	1,734枚	2,701枚	4,573枚	1,625枚	744枚	1,339枚	368枚	641枚	647枚	214枚	443枚	16,593枚
	マイクロ、デジタル	496枚	558枚	208枚	445枚	975枚	1,306枚	98枚	188枚	242枚	258枚	781枚	367枚	5,922枚
	小計	2,060枚	2,292枚	2,909枚	5,018枚	2,600枚	2,050枚	1,437枚	556枚	883枚	905枚	995枚	810枚	22,515枚



展示関連資料紹介「レッドデータブックの生き物たち」  
期間：平成20年2月19日（火）から3月23日（日）まで

## （2）博物館総合情報システム

山梨県立博物館は、山梨の歴史や文化・産業など広範な分野にわたる膨大な資料情報を一元的に管理し、効率的な博物館運営を行うため、博物館総合情報システムを導入している。このシステムの活用によって広く館内外に情報発信を行い、県民の山梨の歴史に関する興味を喚起し、多くの人に親しまれる「開かれた博物館」が実現することを目的としている。

このシステムは、以下の4つのシステムから構成される。

### 活動支援システム

活動支援システムは、博物館の管理運営を支援するシステムである。チケット発券や来館者数管理のシステム化や自動化、団体・施設の予約管理等の支援を行う。また、これらの情報をグループウェアにより共有化し、効率的な運営の補助を行う。

### データベースシステム

博物館資料の管理システムとして、収蔵資料、図書資料等に関する各種情報を一元的に管理するためのシステムである。資料の受入情報から収蔵情報、付随する資料のメディアファイル類も、一元的に管理が可能となる。そして、データベースから常設展示情報端末への資料情報連携を行う展示システムも含まれる。

### 利用者公開システム

データベースシステムで管理されている情報を、利用者の必要に応じて加工し、館内外で情報発信を行うシステムである。館内では、資料閲覧室における収蔵資料・図書情報検索や地域インデックスにおける各種県内情報等の発信がある。館外では、博物館ホームページにおける情報発信や、その中での収蔵資料・図書情報検索がある。

### ネットワークシステム

情報処理室には各種サーバが設置され、そこを拠点に館内にはLANが張り巡らされている。そして、インターネットへは情報処理室から隣接する総合教育センターを経由して接続されている。館内におけるセキュリティは、山梨県情報セキュリティに準じている。

### (3) 博物館ホームページ

平成17年10月1日より現ホームページの公開を開始し、展示案内・イベント案内等を公開しているほか、随時ページの増設、更新を行っている。

#### 【ホームページの主な更新履歴】

平成19年4月10日 みんなでつくる博物館協議会議事の概要（平成15～18年）を掲載。

7月3日 施設案内「資料閲覧室」のページに「利用者端末の使い方」を追加。

9月23日 8月19日に開催した「通信簿ツアー」の結果報告を掲載。

10月16日 特別展「北斎と広重 二人の富嶽三十六景」開催にあわせ、「富士山特集ページ」を開設。

平成20年2月15日 トップページに「企画展情報」欄を追加。

「収蔵資料案内」ページの更新：収蔵資料・図書の検索を行うことができるページを、随時更新している。

検索可能件数（平成20年3月現在） ・収蔵資料 70,018件

・図書類 22,325件

PC向けURL：<http://www.museum.pref.yamanashi.jp/>

携帯電話向けURL：<http://www.museum.pref.yamanashi.jp/mb>



#### アクセス件数（アクセスカウンタによる数値）

年 月	件数 / 月	1日平均	昨年度件数
平成19年4月	9,273	309	6,720
5月	8,812	284	6,670
6月	5,463	182	5,360
7月	6,185	196	5,152
8月	6,655	215	5,688
9月	5,415	181	4,906
10月	6,657	215	6,161
11月	5,976	199	6,149
12月	3,493	113	3,974
平成20年1月	4,690	151	5,891
2月	4,706	162	6,088
3月	5,048	162	7,643
合 計	72,373	198	70,402

## 第 8 章 県民参画

### (1) NPOとの連携

平成19年度に実施したNPOとの連携事業の一覧は次のとおりである。平成18年度まで行われた「交流拠点形成事業」と「わいわいミュージアム」は終了し、代わりに「かいじあむ検定」と「わいわいミュージアム・エバリュエーションツアー」を新規事業として実施した点に大きな特徴がある。

かいじあむ検定は、山梨の歴史や文化への興味・関心を喚起することを目的になされる山梨県の歴史や文化についての検定試験である。割合、難しめの問題であっても正答する割合が高く、歴史や文化に深い造詣を有する利用者が多いことが判明したのは大きな成果であった。反面、新しい事業であることから全体的に認知度が低く、その定着化が課題として残された。

わいわいミュージアム・エバリュエーションツアーは平成18年にわいわいミュージアム事業の枠の中で実施した博物館評価に関するイベントを特出させたものである。その詳細は第 編第 2 章を参照。

収蔵品ゆかりの地ツアーは、平成20年度に実施される食文化展に向けての広報効果を高めること、また、食文化に関する資料調査を兼ねて甲州の食を巡る旅として内容を統一させた。また、平成18年に引き続き、観光バスを用い、県立博物館企画展を観覧してから現地を巡るというツアーコースを設定することで、参加者に歴史の持つ生の迫力をより実感していただけるよう工夫を施した。

#### かいじあむ検定

実施日	事業名	開催場所	参加者数(人)
平成19年7月28日(土)	古文書解読編	県立博物館	40
9月23日(土)	山梨県内編(笛吹市)	県立博物館	19
11月20日(火)	古文書編	県立博物館	11
平成20年2月17日(日)	笛吹市編	県立博物館	150
参加者数合計			220

#### わいわいミュージアム・エバリュエーションツアー

実施日	事業名	開催場所	参加者数(人)
平成19年8月19日(日)	通信簿ツアー	県立博物館	120
10月14日(日)	改善ワークショップ	県立博物館	120
参加者数合計			240

#### 収蔵品ゆかりの地ツアー

実施日	事業名	開催場所	参加者数(人)
平成18年6月17日(日)	甲府城下町に広重ゆかりの地を訪ね、「魚の道」を歩く	甲府市	70
10月27日(土)	北斎と舟運ゆかりの鯉沢・蔵づくりのまちツアー	鯉沢町	46
11月25日(土)	長寿村ゆずり原、坂道のまちを歩き、むかし話を聞くツアー	上野原市	50
参加者数合計			166

委託先のNPOについては、平成19年5月10日(木)に県民参画事業実施先NPO審査会を開催し、その結果、各事業ともNPO法人「つなぐ」に委託することとなった。



平成19年8月19日(日)実施の通信簿ツアーの様子。NPOと共に利用者の皆さんから当館の通信簿をつけていただいた。



平成20年2月17日(日)実施のかいじあむ検定の様子。大勢の利用者が県立博物館が立地する笛吹市のことについてどれだけ御存知なのか、腕試しとし実施した。

## (2) 博物館協力会（ボランティア）との連携

当館におけるボランティア活動は、原則として山梨県立博物館協力員によるものである。会員数は若干の変動があるが、概ね70名ほどの協力員が館の主催する様々な活動を支援してきた。

県立博物館協力員の主たる活動は次のとおりである。

- ・来館者の鑑賞・学習のための助言及び相談
- ・来館者の誘導・案内、及び体験型展示の利用の補助
- ・館蔵の図書、資料、写真などの整理
- ・ミュージアムショップの運営
- ・館が行うイベントなどの補助や畠など野外施設の管理

平成19年度の協力会の主な活動

平成19年 5月29日（水） 運営委員会

6月6日（水） 協力会総会

（委嘱状の交付、平成18年度事業・決算報告、19年度事業計画・予算の決定）

7月5日（木） 運営委員会

9月9日・10日（日・月） 県外研修（新潟・長野方面）

10月 広報誌「かいじあむプレス」の刊行（2号まで）

11月23日（木） イベント「かいじあむ収穫祭」の補助

平成20年 1月18日（金） 県外研修（国立科学博物館・東京国立博物館）

2月20日（水） 県立博物館周辺史跡等の散策ツアーについての意見交換会

3月8日（土） 県立博物館周辺ガイドの現地練習

3月13日（木） 県立博物館周辺ガイドの現地練習

3月22日（土） 木喰展関係ツアーガイドの現地練習

平成19年度から協力会の活動強化を図り、次の事業を新規に実施した。

- ・「ボランティアによる企画展の見どころガイド」と題し、企画展ごとに利用者に対して企画展の見どころ解説ガイドを実施
- ・「かいじあむ子ども工房」と題して行った工作などの体験プログラムの補助
- ・「ボランティアによるお庭の見どころガイド」と題し、お庭の見どころを利用者と共に散策しながら案内する事業を原則的に毎月1回実施（第5章（1）参照）
- ・協力会広報誌「かいじあむプレス」の編集・発行（2号まで）
- ・一般利用者に対し、博物館ボランティアであることを識別させるためにスタッフ・ジャケットを制作し、協会員は活動時に同ジャケットを常時、着用することとした。

常時実施したのは次の活動である。

・ショップ運営...ミュージアムショップ当番

・資料整理補助...「萩原家資料」956点、「小澤家資料」98点、「向山家資料」283点、「内藤家資料」559点の整理については、資料専用封筒詰め、ナンバリング、目録のパソコン入力等の作業で協力を得た。



平成19年4月28日（土）に実施された「ボランティアによる企画展の見どころガイド」の様子。大勢の利用者から好評を得た。



平成19年5月19日（土）実施の「ボランティアによるお庭の見どころガイド」の様子。四季折々に違った表情を見せる県立博物館の庭の魅力を利用者に伝えた。



## 第9章 組織・人員

### (1) 職員の資質向上

県立博物館ではより良いミュージアムサービスの提供を目指して、職員各自の資質向上に資する環境整備に努めている。各職員が受講した研修は次のとおりである。

#### 職員参加研修一覧

氏名	研修名	主催	場所	期間	研修内容
小畑茂雄	平成19年度歴史民俗資料館等専門職員研修会	文化庁・大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館	平成19年11月26日(月)～11月30日(金) (2箇年のうち)	歴史・考古・民俗資料等の保存活用を担当する職員の、調査・収集・保存及び公開等に関する必要な専門的知識と技能の研修を行い、歴史民俗資料館等の活動の充実に資する。

#### 展示交流員研修一覧

展示交流員は、利用者と博物館の橋渡しの役割を担い、日々、総合受付・館内案内・監視などの業務を担当している。こうした展示交流員については、サービス向上や利用者の満足度の確保のため、適宜種々の研修を進めている。

日 時	内 容
平成19年9月28日(金)	自衛消防訓練ならびにAED操作を主とした救急救命法講習を行い、安全・安心の確保に努めることなど幅広い研修を実施 接遇の心得について専門の講師を招き、講習会を実施

### (2) 第三者委員会

県立博物館では第三者からなる外部委員会を設けて、それぞれ客観的立場から博物館の運営等について議論・検討をいただいている。

第三者委員会での検討結果に基づいた運営を実施することにより、県内外の利用者から高く評価され、県民により親しまれる博物館の実現を絶えず目指していく。

#### 山梨県立博物館運営委員会

##### i 運営委員会委員名簿

平成19年12月22日(土)に運営委員会委員の任期替となり、次のとおり委員が代わった。委員の互選により、委員長は清雲俊元委員、副委員長は小澤龍一委員となった。

平成19年12月21日まで

氏 名	勤務先・役職等
小澤 龍一	元7やまなし文化学習協会生涯学習センター所長 みんつく委員長
数野 強	ことぶき勸学院学院長
清雲 俊元	山梨郷土研究会理事長 資料・情報委員会委員長
五味 文彦	放送大学教授
萩原 三雄	7帝京大学 山梨文化財研究所所長
田中 収	元大月短期大学教授

平成19年12月22日から

氏 名	勤務先・役職等
小澤 龍一	元7やまなし文化学習協会生涯学習センター所長 みんつく委員長
清雲 俊元	山梨郷土研究会理事長 資料・情報委員会委員長
五味 文彦	放送大学教授
萩原 三雄	7帝京大学 山梨文化財研究所所長
古屋 栄和	社会福祉法人山梨県社会福祉協議会会長
守屋 正彦	筑波大学教授

##### ii 運営委員会の検討状況

#### 第7回運営委員会

日時：平成19年5月31日(木)

検討内容：

- ・平成19年度の事業について

・今後の事業・運営についてについて

・平成20年度以降の企画展について

#### 第8回運営委員会

日時：平成19年9月19日(水)

検討内容：

- ・企画展、調査・研究、資料閲覧サービスについて
- ・県立博物館の評価制度について

第9回運営委員会

日時：平成19年12月20日（木）

検討内容：

- ・開館時間延長について
- ・開館5周年記念特別展について

- ・富士山世界文化遺産登録に向けた共同研究について
- ・事業報告・今後の予定等について

第10回運営委員会

日時：平成20年3月5日（水）

検討内容：

- ・資料閲覧の即日対応について
- ・平成21年度以降の企画展計画について
- ・事業報告・今後の予定等について

山梨県立博物館資料・情報委員会

第 編第3章（1）で詳述。

みんなでつくる博物館協議会

i みんつく委員名簿

平成19年9月1日（土）にみんつく委員の任期替となり、次のとおり委員が代わった。委員の互選により、委員長は小澤龍一委員、副委員長は中村德行委員となった。

みんつく委員名簿（平成19年9月1日から）

氏名	勤務先・役職等
数野 妙子	甲府市立伊勢小学校教諭
土橋 一彦	甲府市校長会事務局長
植松 光宏	なまよみ文庫館長
小澤 龍一	元財団法人山梨文化学習協会生涯学習推進センター所長
出澤 忠利	印伝博物館総務部長
齋藤 康彦	山梨郷土研究会理事
谷口 一夫	甲斐黄金村湯之奥金山博物館長
新海 一男	山梨県中小企業団体中央会専務理事
三枝 正文	山梨県農業協同中央会専務理事
中村 德行	富士五湖観光連盟副会長
八田 知子	石和温泉観光協会副理事
早川 源	地域シンクタンク 山梨総合研究所 専務理事
長沢 宏昌	石和温泉活性化研究会 副理事長
山本 育夫	特定非営利活動法人つなぐ理事長
柴田 彩子	元長期計画審議会委員、特定非営利活動法人 日本上流文化圏研究所研究員

ii みんつく検討状況（平成19年9月1日以降）

第 編第1章で述べたとおり、第1回委員会において、みんつくの中心議題であった県立博物館の評価制度の内容が決定した。

そのため任期替のあった平成19年9月1日以降においては、地域に根付いた、県民に親しまれる博物館を実現させるために、地域連携のあり方に重点を置いて検討をすることとした。これは平成18・19年度に実施した通信簿ツアーにより、いまだ県立博物館は一般県民の間における認知度が不足しているという結果が出たことを踏まえてのことである。地域とより緊密な連携を図ることで、利用者と県立博物館との距離を埋めていくことが今後の運営課題として浮き彫りにされ、みんつくにおける中心議題として据えられることとなった。

第2回みんつく協議会

日時：平成19年9月20日（木）

検討内容：

- ・これまでの経緯について
- ・平成19年度以降の活動について

第3回みんつく協議会

日時：平成19年12月12日（水）

検討内容：

- ・地元連携の在り方（開館日等の変更、ガイド養成）について

- ・博学連携について

- ・甲州食べもの紀行について

第4回みんつく協議会

日時：平成20年3月26日（水）

検討内容：

- ・県立博物館協力会による周辺ガイドについて
- ・文化財レスキューについて
- ・平成20年度夏休み企画展について

## 第10章 外部支援と連携

県立博物館では、継続的に質の高い博物館活動に資するよう、外部資金助成や広報等の協力をあおぐなどの外部支援体制の導入を行っている。

また、地域に根付いた博物館であるために、様々な分野において地域に貢献することに努めている。

### (1) 外部支援

職員の受けた研究助成

- ・助成団体：財団法人日本科学協会 笹川科学研究助成
- ・助成を受けた職員：学芸員 沓名貴彦
- ・助成研究：研究課題「燻蒸による文化財資料の構成材料に対する影響に関する研究」

### (2) 外部との連携

文化財レスキュー活動

平成20年2月24日(日)に笛吹市大蔵経寺山で山林火災が発生。同山に近接する長谷寺への延焼の危険性があり、同25日(月)、笛吹市教育委員会から寺院内の文化財の避難について県立博物館に協力の要請があった。

それを受けて県立博物館職員、峡東地域の市町村教育委員会、真言宗寺院関係者と共に寺院内の仏像等の文化財の梱包及び搬送を行い、県立博物館一時収蔵庫に避難させた。

火災鎮火後しばらく経った平成20年3月7日(金)、避難させた文化財を長谷寺に返却した。

今後、火災、地震などの災害によって損壊、消滅する危険性のある地域の文化財を保護するため、県立博物館では地元教育委員会からの要請があれば、今後も文化財レスキューを実施することとする。また、緊急時の避難などに対応する基本的な指針とマニュアルなどを整備したい。

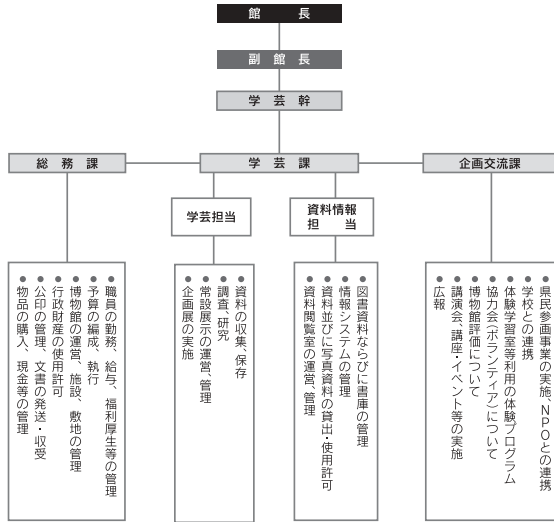


平成20年2月25日(月)の文化財レスキューの様子。長谷寺から資料を避難させ、県立博物館一次収蔵庫に搬入しているところ。

# 第 編 各種資料

## 1 組織・職員等名簿

### 組織図



### 関係委員会

#### 運営委員会

- 博物館運営全般の専門的指導
- 企画展テーマ等に関する協議
- 共同調査、研究テーマ等に関する協議

#### 資料・情報委員会

- 資料収集の適否の審議
- 資料・情報の収集方針の検討
- 資料・情報の活用計画検討

#### みんなで作る博物館協議会

- 利用者の立場からの博物館運営の検討
- 博物館評価制度の検討

### 関係委員及び職員名簿

- 山梨県立博物館運営委員会委員  
第 編第 9 章 ( 2 ) 参照
- 山梨県立博物館資料・情報委員会委員  
第 編第 3 章 ( 1 ) 参照
- みんなで作る博物館協議会  
第 編第 1 章 ( 1 ) 及び第 編第 9 章 ( 2 ) 参照

#### 博物館職員

館長	平川 南
副館長	桜井 宗
総務課	
課長	穂坂 芳朗
副主任	渡邊 潤一
主任業務員	稲田 正徳
非常勤嘱託	白倉 政富
非常勤嘱託	小泉 節子
非常勤嘱託	高屋 恵里子
非常勤嘱託	名取 美穂
非常勤嘱託	野田 恵
非常勤嘱託	黒羽 るり子
非常勤嘱託	宮澤 真央
非常勤嘱託	近藤 博文
非常勤嘱託	岡田 昌也
非常勤嘱託	網倉 春美
非常勤嘱託	伊藤 茜
非常勤嘱託	小林 弘
非常勤嘱託	白倉 喜夫
非常勤嘱託	成島 由季子
非常勤嘱託	飯沼 美奈子
非常勤嘱託	小幡 理美
非常勤嘱託	山本 史
非常勤嘱託	渡辺 礼子

#### 学芸課

課長	中山 誠二	考古学
学芸担当		
学芸員	井澤 英理子	美術
学芸員	西川 広平	歴史
学芸員	近藤 暁子	美術
学芸員	小畑 茂雄	歴史
学芸員	丸尾 依子	民俗

#### 資料情報担当

副主幹	三澤 麻須美	
学芸員	沓名 貴彦	保存科学
学芸員	海老沼 真治	歴史
非常勤嘱託	小澤 史葉	
非常勤嘱託	早川 聖子	

#### 企画交流課

課長	出月 洋文	
学芸員	高橋 修	歴史
学芸員	植月 学	古環境
教育主事	望月 淳也	
教育主事	平山 智英	
非常勤嘱託	村松	

## 2 平成19年度改正分の関連法規

### 山梨県立博物館設置及び管理条例の一部を改正する条例

山梨県立博物館設置及び管理条例（平成十七年山梨県条例第八号）一部を次のように改正する。

第5条第1項第1号中「月曜日」を「火曜日」に改める。

附 則

この条例は、平成20年4月1日から施行する。

### 山梨県立博物館設置及び管理条例施行規則

（趣旨）

第一条 この規則は、山梨県立博物館設置及び管理条例（平成十七年山梨県条例第八号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（開館時間等）

第二条 山梨県立博物館（以下「博物館」という。）の開館時間は、午前九時から午後五時までとする。ただし、展示室への入室時間は、午後四時三十分までとする。

2 前項の規定にかかわらず、生涯学習室及び交流室の利用時間は、午前九時から午後九時までとする。

3 博物館の館長（以下「館長」という。）は、必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、前二項に規定する開館時間等を変更することができる。

（観覧の承認）

第三条 条例第六条第一項の規定による承認は、観覧券（第一号様式）、定期観覧券（第一号様式の二）、常設展・企画展共通観覧券（第一号様式の三）又は前売り観覧券（第一号様式の四）の交付があったときに行われたものとする。

（観覧料の納入）

第四条 観覧料の納入は、観覧券の交付の際現金をもって行うものとする。

（歴史資料等の閲覧等の承認）

第五条 条例第七条第一項の規定による歴史資料等の閲覧の承認を受けようとする者は、歴史資料等閲覧申請書（第二号様式）を館長に提出しなければならない。

2 館長は、歴史資料等の閲覧を承認したときは、当該閲覧に係る申請をした者に対し、歴史資料等閲覧決定通知書（第三号様式）を交付するものとする。

3 条例第七条第二項の規定による歴史資料等の撮影の承認を受けようとする者は、歴史資料等撮影申請書（第四号様式）を館長に提出しなければならない。

4 館長は、歴史資料等の撮影を承認したときは、当該撮影に係る申請をした者に対し、歴史資料等撮影決定通知書（第五号様式）を交付するものとする。

（生涯学習室等の使用の承認）

第六条 条例第八条第一項の規定による生涯学習室又は交流室の使用の承認を受けようとする者は、県立博物館施設等使用申請書（第六号様式）を館長に提出しなければならない。

2 館長は、生涯学習室又は交流室の使用の承認又は承認の拒否の決定をしたときは、当該使用に係る申請をした者に対し、県立博物館施設等使用決定通知書（第七号様式）を交付して当該決定の内容を通知するものとする。

（利用又は使用の内容の変更等）

第七条 条例第七条第一項若しくは第二項又は第八条第一項の規定により承認を受けた者が当該承認に係る内容を変更し、又は承認に係る行為を中止しようとするときは、承認内容変更等申請書（第八号様式）を館長に提出しなければならない。

2 館長は、前項の規定による申請に係る承認内容の変更等を承認したときは、第五条第二項若しくは第四項又は前条第二項の例により当該変更等に係る申請をした者に対し、当該承認の内容を通知するものとする。

（利用料及び使用料の納入）

第八条 条例第七条第三項又は第八条第二項の規定による利用料又は使用料は、前納しなければならない。ただし、官公署にあっては、撮影又は使用の後に納入させることができる。

（観覧料等の還付）

第九条 条例第九条ただし書の特別の理由は次の各号に掲げる場合に該当することとし、還付する額は当該各号に定めるとおりとする。

一 観覧、撮影又は使用の承認を受けた者の責に帰することのできない理由により観覧、撮影又は使用をすることができなくなったとき。 観覧料、利用料又は使用料の全額

二 撮影又は使用をしようとする日の三日前までに撮影又は使用の中止に係る承認内容変更等申請書を提出したとき。 利用料又は使用料の二分の一に相当する額

2 条例第九条ただし書の規定による観覧料、利用料又は使用料の還付を受けようとする者は、観覧料等還付申請書（第九号様式）を館長に提出しなければならない。

（観覧料等の免除）

第十条 条例第十条の特別の理由は次の各号のいずれかに掲げる場合に該当することとし、免除の額は当該各号に

定めるとおりとする。

- 一 土曜日において、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特殊教育諸学校の児童又は生徒が観覧するとき。 条例別表第一に定める観覧料の全額
  - 二 県内の小学校、中学校、高等学校及び特殊教育諸学校の児童又は生徒及びこれらの引率者が、教育課程に基づく教育活動として観覧するとき（常設の展示に限る。）。 条例別表第一に定める観覧料の全額
  - 三 六十五歳以上の者が観覧するとき（県内に住所を有しない者にあつては、常設の展示に限る。）。 条例別表第一に定める観覧料の全額
  - 四 障害者基本法（昭和四十五年法律第八十四号）第二条に規定する障害者及びその介護を行う者が観覧するとき。 条例別表第一に定める観覧料の全額
  - 五 同一の日において、常設の展示及び特別な企画による展示を観覧しようとする者（団体により観覧する者を除く。）が、常設展・企画展共通観覧券の交付を受けて観覧するとき。 条例別表第一第一号に定める個人の観覧料と団体の観覧料との差額及び同表第二号においてそれぞれの展示ごとに知事が定める個人の観覧料と団体の観覧料との差額
  - 六 特別な企画による展示を観覧しようとする者（団体により観覧する者を除く。）が、当該展示に係る開催期間の初日の前日までに前売り観覧券の交付を受けて観覧するとき。 条例別表第一第二号においてそれぞれの展示ごとに知事が定める個人の観覧料と団体の観覧料との差額
  - 七 同一の日において、常設の展示及び特別な企画による展示を観覧しようとする者（団体により観覧する者を除く。）が、当該特別な企画による展示に係る開催期間の初日の前日までに常設展・企画展共通前売り観覧券の交付を受けて観覧するとき。  
条例別表第一第一号に定める個人の観覧料と団体の観覧料との差額及び同表第二号においてそれぞれの展示ごとに知事が定める個人の観覧料と団体の観覧料との差額
  - 八 山梨県内に所在する宿泊施設に宿泊する者（団体により観覧する者を除く。）が当該宿泊施設に宿泊した日又はその翌日に観覧するとき。 条例別表第一第一号に定める個人と団体の観覧料との差額又は同表第二号においてそれぞれの展示ごとに知事が定める個人の観覧料と団体の観覧料との差額
  - 九 山梨県内に所在する美術館、博物館等で相互に個人の観覧料の免除を実施することとしたものに係る定期利用券（一定期間の利用の許可、承認等を受けたものをいう。）を有する者が観覧するとき。 条例別表第一第一号に定める個人の観覧料と団体の観覧料との差額又は同表第二号においてそれぞれの展示ごとに知事が定める個人の観覧料と団体の観覧料との差額
  - 十 前各号に掲げるもののほか、館長が特に必要と認めるとき。観覧料等のうち館長が相当と認める額
- 2 前項第二号又は第十号に該当する場合において、条例第十条の規定による観覧料等の免除を受けようとする者は、観覧の承認の申請の際、観覧料等免除申請書（第十号様式）を館長に提出しなければならない。
  - 3 館長は、観覧料等の免除の決定をしたときは、当該免除に係る申請をした者に対し、観覧料等免除決定通知書（第十一号様式）を交付するものとする。
  - 4 第一項第一号、第三号、第四号、第八号又は第九号に該当する場合において、条例第十条の規定による観覧料等の免除を受けようとする者は、第一項第一号、第三号、第四号、第八号又は第九号に該当することを証する書類を館長に提示しなければならない。
  - 5 第三項の規定にかかわらず、前項の規定により提示された書類により観覧料等の免除に係る事実を確認したときは、免除後の観覧料の額を記載した観覧券をもって第三項の観覧料等免除決定通知書に代えるものとする。

（館長への委任）

第十一条 教育委員会は、館長に次の事項を委任する。

- 一 条例第六条第一項の規定による観覧の承認に関すること。
- 二 条例第七条第一項の規定による閲覧の承認に関すること。
- 三 条例第七条第二項の規定による撮影の承認に関すること。
- 四 条例第八条第一項の規定による生涯学習室及び交流室の使用の承認に関すること。
- 五 条例第九条ただし書の規定による観覧料等の還付に関すること。
- 六 条例第十条の規定による観覧料等の免除に関すること。
- 七 条例第十一条の規定による利用の制限に関すること。

（補則）

第十二条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理に関し必要な事項は、教育委員会の承認を得て館長が定める。

附 則

（施行期日）

- 1 この規則は、平成十七年十月十五日から施行する。

（経過措置）

- 2 条例（条例附則ただし書に係る部分に限る。）の施行後に歴史資料等を観覧し、閲覧し、若しくは撮影し、又は博物館の生涯学習室等を使用しようとする者は、この規則の施行前において、この規則の例により観覧、閲覧若しくは撮影又は使用に係る承認の申請及びこれらの行為に係る観覧料等の免除の申請をすることができる。
- 3 館長は、前項の規定により申請があったときは、この規則の施行前において、この規則の例により承認、承認の拒否その他の決定をし、当該決定の内容を通知するものとする。

附 則（平成一八年教委規則第一〇号）

この規則は、平成一八年四月一日から施行する。

附 則（平成一八年教委規則第二二号）

この規則は、交付の日から施行する。

附 則（平成一九年教委規則第一号）

この規則は、交付の日から施行する。

附 則（平成一九年教委規則第三号）

この規則は、平成十九年四月一日から施行する。

附 則（平成二 年教委規則第一三号）

この規則は、平成二十年四月一日から施行する。

### 3 平成19年度予算額

単位：千円

事業名	予算額	事業内容
博物館事業費	71,483	企画展運営、調査・研究事業、運営委員会・みんつく運営経費
歴史資料等収集費	20,203	歴史資料等の収集・保存・管理・修復、図書資料の整備
博物館運営費	229,020	施設管理、常設展示機器管理、非常勤職員人件費
合 計	320,706	

職員給与費を除く

### 4 年間日誌

主な出来事

平成19年5月28日（月）東京建築賞受賞式。県立博物館の建物が第33回建築作品コンクール一般建築第二類部門最優秀賞受賞

平成19年6月29日（金）6月定例県議会において条例改正可決  
平成20年4月から休館日が月曜日から火曜日に変更

平成19年7月10日（火）4館定期観覧券（ミュージアム甲斐in券）発売開始

平成19年7月20日（金）秋篠宮殿下・同妃殿下・眞子内親王県内視察のため御来館

平成19年7月31日（火）県政ひざづめ談義 県立博物館について知事とボランティア・みんつく委員とで意見交換会

平成20年3月28日（金）開館時間改正の規則改正公布  
平成20年4月から開館が午前9時30分から午前9時に変更



秋篠宮殿下・同妃殿下・眞子内親王が県立博物館を御視察された際の様子

新聞記事から抄

平成19年10月18日（木）「日本最古 縄文の大豆」県立博物館職員をはじめとした研究グループが日本最古の縄文の大豆を発見（山梨日日新聞）

平成20年1月11日（金）「戦国の金山遺跡高度な精錬技術」県立博物館職員もメンバーの一員である甲斐金山研究会の調査により、鉛を用いて金を精製していたことを明らかにした（朝日新聞、読売新聞、山梨日日新聞）

---

---

**平成19年度 山梨県立博物館年報**

発行日 2009(平成21)年3月31日  
編集・発行 山梨県立博物館  
〒406 - 0801  
山梨県笛吹市御坂町成田1501 - 1  
TEL 055(261)2631  
印刷 株式会社 少国民社

---

---